



Junior
ジュニアの部

平成28年度(第18回) **NHK**

全国短歌俳句大会

NHK Zenkoku Tanka Haiku taikai

入選作品集



「NHK全国短歌・俳句大会」ジュニアの部は、NHK学園が平成元年から開催してきた大会を前身とします。平成十一年からはNHKも主催者に加わり、今回で十八回目を迎えました。今回も多くのみなさまからご投稿いただき、ありがとうございます。全国から寄せられた作品は、幼児、小・中学生あわせて短歌は一九、四八四首、俳句は四五、六一六句を数えました。

ジュニアの部では、日々の暮らしのなかでの小さな発見や感動を、自分の言葉で素直に表現した作品が数多く見られました。また、友人や家族を詠んだ作品や、ジュニア世代ならではの視点で平和への祈りを表現した作品も多く寄せられました。全国の小学校、中学校では、短歌・俳句を詠む機会を増やす取り組みが増えています。

熱意をもって子どもたちの感性を大切に育もうと努める先生方や、保護者の皆様の姿勢に、心から敬意を表します。

NHKとNHK学園では、新しい時代を生きるみなさまが、伝統的な短詩型文芸に取り組むことで、日本語の持つ美しさや定型のリズムをしつかりと受け継ぎ、新たな文化を創造していくことを心から願っています。

NHKでは、Eテレで毎月第四日曜に放送している「短歌de胸キュン」「俳句さく咲く！」など、若い世代の方々に短歌・俳句を通じて日本語の魅力に触れていただける番組をお届けしています。これからもNHKのさまざまな放送番組を活用し、短歌・俳句に親しんでいただければ幸いです。

最後になりましたが、全国の学校関係者や保護者のみなさま、そして、大会の開催にあたり、ご尽力くださいました選者のみなさま、そしてご支援を賜りました各団体のみなさまに厚く御礼申し上げます。

平成二十九年一月吉日

N H K 会 長 靱 井 勝 人

N H K 学 園 理 事 長 浜 田 泰 人



平成28年度

NHK全国短歌大会

ジュニアの部

もくじ

| | |
|----------------------|-----|
| ごあいさつ | 1 |
| ジュニア大賞 | 4 |
| 学校大賞・学校優秀賞・特別賞 | 5 |
| ●幼児・小学生の部 | 7 |
| 選者のことば 大松 達知 | 9 |
| 特選・秀作 | 10 |
| 入選 | 14 |
| ●中学生の部 | 25 |
| 選者のことば 栗木 京子 | 27 |
| 特選・秀作 | 28 |
| 入選 | 32 |
| 審査について | 97 |
| 学校の取り組み | 98 |
| 参加校名・団体一覧 | 100 |

ジュニア大賞

小学生の部

行けるかな今日も学校行けるかなまい朝ゆうき出して行ってる

佐賀県 嬉野市立嬉野小学校 2年 渡邊航太郎

妹と学校帰りけんかして後ろを見たら一人歩いてた

岡山県 倉敷市立乙島小学校 6年 内田 愛莉

亡き母と私がクッキー食べているケータイ動画に「ゆいちゃん」の声

岡山県 倉敷市立乙島小学校 6年 樋口 優衣

ジュニア大賞

中学生の部

何思う水族館の箱の中ナガクビガメが遠くながめる

東京都 葛飾区立金町中学校 1年 矢内 麻尋

ゆっくりと楽器構えて弓持てば体は楽器に心は音に

愛知県 東海学園東海中学校 1年 小中 祐希

ちっぼけな等身大の筈の影夕陽に伸びて校舎突き刺す

富山県 南砺市立井口中学校 3年 上田 倫弘

学校大賞



福岡県

麻生学園小学校

鹿児島県

鹿児島市立吉野中学校

特別賞



岐阜県

郡上市立大和西小学校

富山県

南砺市立井口中学校

学校優秀賞



東京都

渋谷区立神南小学校

岐阜県

郡上市立那留小学校

東京都

海城中学校

短歌

幼児・小学生の部

学年順都道府県別の掲載です

選者のことば

子どもだからこそ

大松 達知

特選に選んだ歌を改めて読むと、結果的に〈命〉というキーワードでくくられるようだ。「子どもなりに」という言葉はすいぶんと子どもを軽んじた言葉かもしれない。応募作品は、子どもだからこそ、生きるそして死ぬという事実をひりひりと正面からとらえている。子どもたちは言葉にする機会があればどんどんと言葉を汲み出してゆく。短歌大会という機会の貴重さを思う。

短歌とは究極的に言えば、生きていることの尊さや不可思議さに辿り着くものだ。それは自分の命だけではなく、亡くなった家族や食べてしまう魚にも共通する。ジュニアの部という枠を超えた、秀作を共有できるのは幸せだ。

「秀作」として選んだ中にも、

- ・ 平泳ぎ泳がたしゆん間ほんのりと心も水も暖かくなった 荒井 美咲
- ・ 雪の手中がためたくて赤くなる母の手の中私の手がある 義家可南笑

などに、生きる時間の暖かさを心と体で感じ取った作品がある。「水も暖かく」とは大人でもなかなか言えない。(大人でも、というセリフがそもそもダメなのだ。) 義家さんの歌のリズムにも生きることをしっかりと見つけた切実さがある。

・ カレンダーめくり進めたその瞬間北風すつと近づいてくる

三浦 聖尊

などには、寂しさを敏感に感じ取る心が見えた。「瞬間」もキーワードのひとつだろう。今を見つめるほんの一瞬。それを写真を撮るようにして記録する。「子どもなりに」でなくて「子どもだからこそ」切りとれる瞬間。短歌は子どもたちが持つ言葉の底力を大切にすくい取れる場なのだと改めて思ったのである。



大松 達知

おおまつ たつはる

昭和四十五年生まれ。

東京都在住。

「コスモス」選者・編集委員。

「COCCOON」発行人。

歌集「フリカティブ」「アスタ

リスク」「ゆりかごのうた」(若

山牧水賞) など。

特選



行けるかな今日も学校行けるかなまい朝ゆうき出して行ってる

佐賀県 嬉野市立嬉野小学校 2年 渡邊航太郎

「勇気」って不思議ですね。大人だって毎日、小さな勇気を出して生活しています。いろいろと考えてしまうかもしれません。でも、実際に体を動かせばうまくゆくことが多いですよ。この歌のようなりズムがあればきつと大丈夫です。

じびきあみ引いた重さがいのちかな心をこめてさあいいただきます

埼玉県 西武学園文理小学校 3年 清水 善亘

魚は何を考えているのでしょうか。人間の大きな力で小さな魚ちゃんたちを陸地に上げてしまう。それはひどいことなのか。でも、その命をたいせつに思う限り悩むことはありませんね。「さあ」の元気がいいですね。

ひがん花二本ふわりとさいている神様見つけたあそこにいたぞ

宮崎県 日向市立坪谷小学校 4年 那須信太郎

見えないものに目を凝らして見る。それも言葉の力ですね。神様なんてふだんは意識しないかもしれませんが、しかし、ひそかに咲いていた曼珠沙華の雰囲気を見て感じたのでしょうか。そういう心の目、大切にしてください。

つりあげた魚のはらさくゆびさきに重みがつたわる命のリレー

千葉県 佐倉市立小竹小学校 5年 久保木 直

命が命を獲って食べる。その重さに気づいたのです。その魚との出会いは偶然です。しかし食べるために内臓を掻き出します。自分のお腹にむずむずしたものを感じたのかもしれない。

汗がダー顔はくしゃくしゃいやになるそこに風鈴チリンと鳴った

岐阜県 郡上市立大和西小学校 6年 富田 桃花

体は不思議です。自分の思うようにならないことはたくさんあります。でも、昔の人たちから受け継いだ知恵でなんとかしのぎますね。「ダー」の勢いと「チリン」の落ち着きの対比がいいです。

妹と学校帰りけんかして後ろを見たら一人歩いてた

岡山県 倉敷市立乙島小学校 6年 内田 愛莉

生きていれば喧嘩もするし仲直りもしますよね。小さな妹だとばかり思っていたら、ちゃんと自分の足で歩いている。でも自分を頼っているところもある。別の生き物だけど繋がっている。そんな感覚をとらえた歌でしょうか。

亡き母と私がクッキー食べているケータイ動画に「ゆいちゃん」の声

岡山県 倉敷市立乙島小学校 6年 樋口 優衣

技術の進歩は人間を不思議な場面に連れて行きます。亡くなった母親の声が手の中の機械から聞こえる。そのあと泣いたり笑ったりしたことでしょう。永遠のような一瞬を思いました。

夜の空輝き放つ大輪を見えない祖父と共にがめる

福岡県 麻生学園小学校 6年 吉國 瑛亮

人は死んでも生きている人の心の中にある限り生き続けます。お祖父さんと花火を見たことは一生消えない思い出です。花火の大輪がお祖父さんの大きさのように感じられたのかもしれない。

秀作



あさがおのはなのなかをのぞいたらシャンデリアがひかっていたよ

神奈川県横浜市立田奈小学校 1年 荒井 清花

おんなのこぼくのうんていみているよはりきりすぎててのかわむけた

静岡県静岡大学教育学部附属浜松小学校 1年 櫻井純之介

すかいつりーみたいけれどもみれませんなぜかというとおいからです

滋賀県大津市立唐崎小学校 1年 林 久遠

くらい空花火があがるあかるくなるこうもり二ひきとんでったんだよ

岐阜県郡上市立大和南小学校 2年 山内 悠生

海へ行き貝がらひろいしてみたよ帰りに全部海になげたよ

山形県上市市立南小学校 3年 横戸 悠貴

きれいだなカラフル光る花火がね見ている人も光っているよ

広島県ぎんがの郷小学校 3年 山本 響子

夏休みおわりかんじるきゅうくつさ足も体も大きくなった

広島県広島大学附属小学校 3年 大久保果澄

花火だよ光のあめがふってくる光のジュースだったら飲もう

福岡県麻生学園小学校 3年 岩熊 陸

山の中どこかの城と思いきや葉っぱの少ない杉の木だった

岐阜県郡上市立那留小学校 4年 池田 陽太

せんぷうき毎日回転おつかれさんわが家の中心家族かな

千葉県千葉市立扇田小学校 5年 上原 将瑛

お母さん最近ごはんをよく食べる食べるすがたはライオンのよう

東京都にしみたか学園三鷹市立井口小学校 5年 作道 草太

さくらもちみんなでたべると桜さくおなかの中でまんかいになる

東京都八王子市立鹿島小学校 5年 山崎航太郎

ポッキリとシャーペンの芯折れちゃったあーあつかれたため息一つ

神奈川県カリタス小学校 5年 鵜殿 結生

土の中外と同じで暑いのかぬぎっぱなしのセミのぬけがら

神奈川県カリタス小学校 5年 熊谷穂乃香

宿題は終わっているのと母が聞く呼ぶ名間違え犬がふり向く

神奈川県桐光学園小学校 5年 村田真璃奈

平泳ぎ泳げたしゅん間ほんのりと心も水も温かくなった

岡山県倉敷市立乙島小学校 5年 荒井 美咲

あおあおといねが田んぼをうめつくし風がふくたびコソツと話す

広島県きんがの郷小学校 5年 宇田 恵梨

花見行きみんなで笑ったあのころを六十歳で思い出したい

北海道札幌市立しらかば台小学校 6年 古川 稜

絶対にとけはしないよ雪だるま心の中にしまつてあるよ

北海道札幌市立しらかば台小学校 6年 小野池瑠夏

蓮の花一つ一つがちがう顔まだ顔見せない蓮がたくさん

青森県平川市立金田小学校 6年 西谷 太希

いもうとがはなびのおとにビビるけどしらんぷりしていつてしまった

青森県六戸町立六戸小学校 6年 川村 桂斗

ポスターをいっしょうけんめいかいてたらおわたときにくびうごかない

千葉県袖ヶ浦市立蔵波小学校 6年 泉 空

風吹いてわたげふわふわ飛んでいく隣に咲いたつよい蒲公英

東京都にしみたか学園三鷹市立井口小学校 6年 石川亜侑珈

カレンダーめくり進めたその瞬間北風すつと近づいてくる

東京都八王子市立鹿島小学校 6年 三浦 聖尊

雪の中手がつめたくて赤くなる母の手の中私の手がある

長野県長野市立南部小学校 6年 義家可南笑

かみの毛にそよ風吹いて気持ちいいなんだか雲に乗ったみたいだ

岐阜県郡上市立那留小学校 6年 河端羽瑠夢

流れ星流れて消えるかなしさは人とあえないときのかなしさ

京都府ノートルダム学院小学校 6年 東 さくら

お母さん弟少ししかったら飼ってる犬までしょんぼりしている

岡山県倉敷市立乙島小学校 6年 森田 瀬奈

友達と休み時間に遊ぶときくつひも結ぶの忘れてしまう

岡山県倉敷市立乙島小学校 6年 山部 滉征

入 選

はもしたもおしゃべりになるまほうだなはじめてのんだメロンサイダー
 あいすくりーむたいようにあたつてとけちゃつてとろとろになりまるでヨーグルト
 しゆくだいがやつとおわつたなにしようかんがえながらごろごろしたよ
 あついあさのどがかわくねあさがおさんおみずをあげるいっしょにのもう
 パソコンでえをかくじゆぎようまちどおしいいつかかきたいほしの天ごく
 いもうとがみつけたひこうき雲のなかどこのくにまでとんでいくのか
 ざりがにおおきなはさみふりかざしずつとあいこのじゃんけんしようぶ
 あさがおがやすまずまいにちさいているあしたのいろはゆめのいろかな
 ひまわりがげんきいっぱいさいているわたしもげんきわけてもらった
 かぶとむしミヤマクワガタオニヤンマなつのおもいでつかまえたいな
 だんごむしまるまらないでいつまでもあるくといいなわたしまつてる
 あさがおがあさしかさかないびっくりだおひるになつたらねているでしょう
 ひまわりがわたしのせよりのたかくなりあおぞらみえずきいろいそらに
 あさおきてみんなのえがおさいているだからあさがおつていうんだね
 おみせにねいくときたぬきがしんでいたたぬきつてこんなかおだったんだ
 にいちゃんとすいかをたべてたねとばしとおくにおちてありのおやつに
 そうめんのうえにのってるこおりはねほうせきみたいでもたべちゃう
 学校に歩いて行った川を見たにごつていたよ雨のあとだよ
 「こわいとこ?」びくびくしてる一年生「こわくないよ」と手をにぎつたよ
 ピーマンちゃんなんで大きくならないのこころをこめてそだててるのに

| | | | |
|----|-----|-----|-----|
| 5歳 | 山口 | 横道 | 玄 |
| 1年 | 青森 | 工藤 | 柚妃 |
| 1年 | 青森 | 森山 | 茉優 |
| 1年 | 岩手 | 村上 | 花帆 |
| 1年 | 茨城 | 矢島 | 学郎 |
| 1年 | 茨城 | 実川 | 光誠 |
| 1年 | 埼玉 | 中津 | このみ |
| 1年 | 埼玉 | 大門 | 心太郎 |
| 1年 | 埼玉 | 高橋 | 芽愛 |
| 1年 | 埼玉 | 関 | 竜乃祐 |
| 1年 | 岐阜 | 前畑 | 有加 |
| 1年 | 滋賀 | 早川 | 寛人 |
| 1年 | 京都 | 中村 | 愛 |
| 1年 | 奈良 | 茨木 | 隆之介 |
| 1年 | 広島 | 瀬野 | 響 |
| 1年 | 広島 | 枯木 | 駿汰 |
| 1年 | 広島 | 稲里 | 謙伸 |
| 2年 | 北海道 | 伊藤 | 北翔 |
| 2年 | 山形 | 小笠原 | 治輝 |
| 2年 | 山形 | 鈴木 | 芽唯 |

入 選

くれあちゃんジャングルジムでにごっこたのしい夏もあきにかわるよ

青い空手がとどきそうジャンプしていっしょにたべようドーナツぐも

ぼくのいえみつがでるきがあるからねたくさんくるよかぶとむしたち

この夏でわたしのからだまっくらだ一まいふくをきているみたい

川あそび手足ひんやり気もちいいさわがにたちはあわててかくれる

カブトムシゼリーパクパクおいしそうぼくかきごおりあかでおそろい

夏がくるさくらははっぱがきれいだな毛虫がいっばいえだについてる

とまとのみまいにちみてたあかいみをくちにいれるとなつがおわった

あかいコマずつとまわってつかれてるきいろのコマとたいけつしてる

ソーランでこしをいっばいそるんだよ力いっばいひっばるみたい

いけの水手をつっこむとまあるくねなみが広がるおもしろいんだ

かみなりはおこりすぎたらおつてくるゴロゴロなつておそろしいんだ

あつあつのせんたくものがうれしそうふかふかタオルたいようのにおい

大なみはザーといつてやってくる水ぎをぬいだらすなのおみやげ

まっていたたべごろスイカあと3日ひとあしおさきとからすがたべた

こいのえさくさいにおいにさそわれてこいがくるくるおおきな口で

家のにわパタパタとんでるモンシロチョウどっちがかつかおいかけっこだ

木のえだがぞうの頭にのつていたいとこがわらったわたしもわらった

おかあさんいつてきますのハイタッチきをつけてねのことばのかわり
太ようとふた子のはずのひまわりが今年は一人雨にぬれている

2年 山形 廣瀬 咲月

2年 群馬 グレイス愛

2年 埼玉 遠藤 然

2年 埼玉 高橋 恵

2年 埼玉 中村 柚

2年 東京 山中 泰樹

2年 東京 アガザアガシイ 藤井 侃司

2年 岐阜 よこ山さく

2年 岐阜 春田 じん

2年 岐阜 小澤 未羽

2年 岐阜 池田 晃教

2年 滋賀 山本 姫菜

2年 広島 堀江 真央

2年 広島 吉原 理絵

2年 福岡 池田 羽月

3年 青森 長利 天生

3年 山形 近 百華

3年 埼玉 早川 敬斗

3年 埼玉 堤 溪太

入 選

たくさんの水をバケツに入れておくぼくの小さな花火大会

プールがねだれも入らずかわいそうなみだを流しさみしそうにね

夏ってね季節の中の次男だよあばれんぼうですいかがすきな

弟と大きいボールをなげっこしたよぼくがなげたのを弟がける

川に行き両手でぎゅっとつかまえたあゆは黒色点々もよう

大きかのかんばん大きいどうしてだ分かりやすいけど大きすぎるよ

八まんの花火を見たよいとことねドッカンパラパラ体にひびく

どろだんご作ったんだよがんばってピカピカ光ってほう石みたい

朝日浴び窓にはりつく子かまきり必ず私が君を射止める

りんごゆでシャキシャキりんごおいしいなたくさん歩いた夏の信しゅう

おどろいたとても大きなたるの中かびがしょうゆを作ってるとは

ぼくの庭こうていダリヤ立ってるよぼくのしん長ぬかされちゃった

空を見てくもがバラ色どうしてだわたしもおなじバラ色になる

校庭のシヨウリヨウバッタいなくなるアフリカまでもとびはねてやる

赤とんぼつくつくぼうし虫の声野のまん中にぼくの家あり

あさつゆがひぎについてねこそばゆいむねまでとどくしんせんなくうき

用水路ドキドキしながら進んで行くとトンネルの先に巨大なナマズ

心ぞうがうちゅうのはてにふっとんだピアノの前へどきどき歩く

いつまでもぎゅっとしてお母さんしあわせいっぱいひまわりの中

妹はないたりねたりいそがしい赤ちゃんなのに仕事をしてる

| | | |
|----|-----|-------|
| 3年 | 埼玉 | 佐久間正希 |
| 3年 | 東京 | 朝香 里菜 |
| 3年 | 東京 | 春川 りの |
| 3年 | 新潟 | 田口 慶人 |
| 3年 | 岐阜 | 松葉元治朗 |
| 3年 | 岐阜 | 三島 陽菜 |
| 3年 | 岐阜 | 奥村 泰誠 |
| 3年 | 岐阜 | 土田 咲輝 |
| 3年 | 静岡 | 高橋 有珠 |
| 3年 | 静岡 | 古澤 春 |
| 3年 | 静岡 | 和田菜々瀬 |
| 3年 | 愛知 | 早川 友規 |
| 3年 | 愛知 | 蒲池 椿 |
| 3年 | 愛知 | 水野 結雅 |
| 3年 | 和歌山 | 田中 裕太 |
| 3年 | 広島 | 遠藤花歩乃 |
| 3年 | 広島 | 森本慎太郎 |
| 3年 | 福岡 | 寺崎 陽登 |
| 3年 | 福岡 | 原 瑚々未 |
| 3年 | 福岡 | 本村 杏泉 |

入 選

夏まつりおどりおどってへたへたにヤッサヤッサのかけ声強く

家の中地しんが起きてぐらぐらとぶるぶるゆれてこわかったんだ

のぼりぼうかどの所でのぼれたよはじめてみえたとおくのけしき

ホームラン打つぞと決めてすぶりする自分で決めた毎日百回

弟があばれ始めたキケンだなそつと行ったらねていたんだよ

パチパチと火花を飛ばしもえつづけ炎は消えてもかすかなかおり

水そうになぜか虫まで入ってるつつついてみても動かなかった

その色を絵の具にしたらすてきだよ庭をよこぎるトカゲのしっぽ

手に包む小さな光飛んでゆけまいごのホタル仲間の所へ

雨ふれば心の中がぐるしくてふと上見ればひまわり笑顔

夏休み兄のスマホのアラームでねこの鳴き声聞こえてくるよ

カレンダーつぎのページもはちがつにそつとめくるがねがいとどかず

さかなつりやったことないたのしそうおねがいしてもやらせない父

畳部屋星空ながめ願いごと流星ぐんにもまけない思い

群馬県水上町のおみやげは色々あったがえんぴつつけずり

二学期の荷物いっぱいいたおれそう右手左手背中も重い

やきいもをいっぱいたべてぷっぷつぷたくさんたべてぷっぷつぷつぷ

真夏の夜森の奥からキラキラとほくを見つめるキタキツネの目

高波をボディボードでのりこえろ風がふいたら高波くるぞ
つま先と指先ひざを意識するピンとのぼしてバレエとの日々

3年 佐賀 釘尾 敦斗

3年 佐賀 小池 啓翔

4年 青森 秋庭 颯大

4年 青森 中田 羽琉

4年 山形 石塚 隼真

4年 山形 鏡 琉真

4年 山形 里見 幸紀

4年 栃木 岡崎 莉奈

4年 群馬 北村 淳

4年 埼玉 鳥居 桜花

4年 千葉 吉田 浩輝

4年 千葉 阿部 駿大

4年 千葉 坂井希陽斗

4年 東京 村田 知憲

4年 東京 佐藤 颯音

4年 東京 千葉 姫莉

4年 東京 伊藤 響

4年 東京 岩佐龍之介

4年 東京 加藤 己心
4年 東京 尾原 吟佳

入 選

夕やみにぼんやり見える黒い顔あゆを求めて働くう達

夕けしきおいていったよ星空を星の形が母に似ている

森の中赤い手のひら落ちているしっかり見たらもみじだったぞ

春になり草が言ってるおはようと風にゆられて小さなあいさつ

父と母五日ちがいのたん生日いっしょにいわってケーキは一つ

じいちゃんが帰ってくるといちじくのおいごはんの時はいつもにおいがする

あおぞらにせみなきさわぐまきだがわかわのおとさえかきけすほどに

けんどうで初じあいしたきんちようだこわくてうてない動けなくなる

おねえちゃんプンプンとおこってる私がかつてにおやつを食べた

またの下くねくね通るこわいへびどきどきしたけどかまれなかった

夏の日に木のぼうもってすいかわりわつてみたらカジューが出てた

春になりさくらがさいたうれいなちったら悲しい自分の気持ち

おおばこでひっぱりずもうはつけよいのこったのこったプチッとちぎれた

よるのそらことぎのベガがひかっているそらからおとがひびいている

にぎやかな虫につつまれふる入りまだ出ないかと母のため息

ニシキヘビ首にまいたらひんやりとうろこはつるつる光はねかえす

楽しい日終わり近づきさびしい日どこかにている線香花火

初雪がみんなによばれてふつてきた地面におちて見えなくなつたよ

紙の上えんぴつ走るあつポキッこつせつしちやつたひめいをあげる
せんぷうきぐるりぐるりと首回しみんなの心に風を通すよ

| | | |
|----|----|-------|
| 4年 | 東京 | 松原里奈子 |
| 4年 | 東京 | 浅川 竜夢 |
| 4年 | 東京 | 伊藤 拓夢 |
| 4年 | 東京 | 一杉 拓未 |
| 4年 | 新潟 | 鈴木 咲 |
| 4年 | 新潟 | 堀田 木香 |
| 4年 | 岐阜 | 桐山 孟雄 |
| 4年 | 岐阜 | 横山 り来 |
| 4年 | 岐阜 | 堀 陽々子 |
| 4年 | 岐阜 | 大中結太郎 |
| 4年 | 岐阜 | 和田 怜也 |
| 4年 | 岐阜 | 布施 恭 |
| 4年 | 岐阜 | 加藤 知映 |
| 4年 | 京都 | 鈴木 結成 |
| 4年 | 広島 | 山本 優里 |
| 4年 | 広島 | 能宗 仁 |
| 4年 | 佐賀 | 天本 初花 |
| 4年 | 大分 | 森山 愛裕 |
| 4年 | 大分 | 上村瑛太郎 |
| 4年 | 大分 | 宮子 来望 |

入 選

ホウセンカおさんぽするよ毛の中で犬が運べば新しい命

「パチッ、パチー」囲碁大会に響く音前髪整え勝利へ歩む

家の中すずしさもとめウロウロとやっと見つけたネコに取られた

もしぼくがS極じしゃくになったなら宿題S極ゲームN極

ひまわりが太陽を向きさいているそんな太陽ひまわりの親

流星群夜空いろどる運動会だれが一位をとっただろうね

決意した三本槍さんほんやりのてっぺんで次は必ずここでラーメン

白い羽ばたばたさせるちようちよはねうちわみたいに飛んでいたんだよ

ばあちゃんがないっていう現実を受け入れられない二回目の夏

はだだとゴミがくつつくあしのうらそうじいらすとママおおよろこび

おおなみにこのはのようなカヤックでたのしくあそぶなつのおもいで

さんさんと私を照らす太陽の真下で飲んだカップの甘酒

通学路栗畑そば通るとき思い出す祖母栗ごはんの味

夕焼けが夕日をつつみうれしそうまるで親子の関係みたい

台風の晴れ雨くもりコロコロと変わる天気は心のようにだ

雨あがり宅配便がとどいたよみんな見たかなきらきらのにじ

夕やけが川にうつって美しい心の中がスッキリしたな

富山で夏の星空見ていたら自分の心透き通っていく

この夏は急に身長のびたかな母の目線が近く感じる
穴をほる蟹がびよこんと顔を出すみとれていとすぐさまにげる

4年 大分 山崎 悠斗

4年 鹿児島 宮田 葉生

5年 青森 神 柚香

5年 福島 石原 玲

5年 茨城 古田土朋瑛

5年 茨城 高村日奈子

5年 茨城 木村 奏斗

5年 群馬 片野 繁奈

5年 埼玉 小澤 明紘

5年 千葉 川口 莉玖

5年 千葉 唐鎌 春翔

5年 東京 谷合 美優

5年 東京 高嶋 菜智

5年 東京 野邊俊太郎

5年 東京 森下 左内

5年 東京 渡邊 洋美

5年 東京 岐部レイチエル

5年 東京 鈴木 唯人

5年 東京 河原田妃葉

入 選

山の奥ひっそりと咲くこぶしたち木の枝々は白いドレスを
 休みあげ上ぐつ達はいじわるで私の足をみんなで入れない
 白鷺の群は田圃へ舞い降りて夏の緑に模様を作る

茜色トマトのような夕日がねだあれもない公園でらす

背後からおばけのように近づいてトンボ取る手は一本勝負

暑い朝目覚まし時計はせみの声切るスイッチをねぼけてさがす

祖父の手で大事大事と育ったよまんまるスイカ盆だなの上

サングラスまぶしすぎる太陽をすぐにやっつけヒーローだ

汗の兄まじめな顔でシュートしたまじめな顔がふくみ笑いに

雷がどんどんこっちにせまってる光らないのにかみなりおちる

サザンカにあさがおのつるまきついてサザンカの木にあさがおが咲く

みんなと暑い毎日鳴き続きいつも夜は静かになるよ

何年も見てきた兄のすがたにも何か成長しているような

お日さまが水着のスタンプおしたから今夜のおふるはいたいかな

雨の日のしずくがついたユーカーリの葉っぱがうたう声をそろえて

学校に行くとき空をながめてね雲が見えたよ夏が来たんだ

各国は平和をとなえかくを持つ広島が泣く長さが泣く

百点だ白い三日月あらわれる母の顔にはくぼみがふたつ

太鼓はね打つと体にひびくんだあたままらない張りつめた音

ふりおろすぼうに伝わる砂の音あと数センチ大きなスイカ

| | | | |
|----|-----|-------|----|
| 5年 | 東京 | 松井 | 優佳 |
| 5年 | 神奈川 | 林 | 璃美 |
| 5年 | 神奈川 | 平岡 | 詩乃 |
| 5年 | 神奈川 | 大友真美子 | |
| 5年 | 神奈川 | 茂手木彩世 | |
| 5年 | 神奈川 | 袖本 | 奏衣 |
| 5年 | 神奈川 | 大隅 | 千咲 |
| 5年 | 神奈川 | 安藤 | 和香 |
| 5年 | 新潟 | 眞水 | 伶菜 |
| 5年 | 岐阜 | 田中美也子 | |
| 5年 | 岐阜 | 木嶋 | 暖歌 |
| 5年 | 岐阜 | 渡辺莉央奈 | |
| 5年 | 岐阜 | 杉山 | 知瑚 |
| 5年 | 静岡 | 鈴木 | 伶来 |
| 5年 | 愛知 | 早川 | 天雅 |
| 5年 | 愛知 | 鈴木 | 美羽 |
| 5年 | 三重 | 田中うらら | |
| 5年 | 京都 | 森脇 | 愛 |
| 5年 | 鳥取 | 池ノ内花江 | |
| 5年 | 愛媛 | 伊藤 | 真史 |

入 選

竹の子はたくさん服を着ているよはずかしがりで寒がりなのか

菜の花にちょうがとまって食事中お花食堂おいしいのかな

つゆの時代代かきべつちよりどろプールかたまで入りむつごろう

かぶとむしつのなかみはなんだろうきんぞくかなあダイヤモンドかなあ

せみの声ふうりんの音波ひびく私の好きな夏の音たち

うとうととよぞらをみればひかりたりつきほほえみつきのかいだん

春終わり桜がかれて花落ちるこれからずっとひとりぼっち

海に行き初めて深くもぐったら怖くなってとっさに泳いだ

庭のはし今年もできたすぐりの木水やりしたら赤く光る実

おやすみと大きな声で伝えたらおやすみなさいと声が返った

家の前でかぎをとろうとランドセルを地面に置いたらかえるがびよこり

前がみをばっさり切った私を見て「前がみ切った」とすぐに言われる

サッカーの夏期合宿のグラウンドで青きしばふに大の字になる

ビュービューザーザーガタガタ今日は台風いとこ達と一日中ゲーム楽しいな

今年こそ父と登ると決めたばく富士の山からのぞく雲海

夏休み姫路城見て立ち止まる空の青さがこんなにあう

夏祭りその次の日は切なくて太鼓の音もきれいなゆかたも

夏の夜月を見ながらどんどんとお酒がすすむぼくのお父さん

たんぽぽをふーとふいたらゆきげしきたんぽぽみんなおどっているよ

外は白中はほんやり赤い色雪とこたつのどっちがいいかな

5年 福岡 平井 利明

5年 福岡 大坪 咲輝

5年 佐賀 森田 楓河

5年 佐賀 小池 脩真

5年 鹿児島 永野あんな

5年 鹿児島 鶴ヶ野愛純

6年 北海道 岸田 篤柁

6年 青森 下山 太陽

6年 青森 伊原 優璃

6年 山形 井上 晴翔

6年 山形 岩瀬 倅征

6年 山形 栗本 采奈

6年 埼玉 井野岡諒哉

6年 埼玉 栗原 謡汰

6年 埼玉 大橋 颯斗

6年 埼玉 坂本 実優

6年 千葉 奥本 悠月

6年 東京 木村 空翔

6年 東京 花尾 梨寿

6年 東京 小島 悠生

入 選

| | | | | |
|---------------------------------|----|-----|-------|----|
| 歩くたび夕日と共に進んでる私は前へ夕日は下へ | 6年 | 東京 | 内田 | 開土 |
| 岩の上海の中に大ジャンプみたことのないさかなが見えた | 6年 | 東京 | 淤見 | 玲圭 |
| ドッカーンはじける花火まぶしくてサングラスかけちようどよいぞ | 6年 | 東京 | 中西 | 陽琉 |
| 夏になり樹液を求める虫たちは戦争起こして勝者を決める | 6年 | 東京 | 黒岩 | 真唯 |
| トマトはねはずかしがりやで真っ赤赤けれど中身はほんのりあまい子 | 6年 | 東京 | 近藤 | 未歩 |
| あじさいに雨水あたって大ジャンプまるで葉っぱごとびこみ台のよう | 6年 | 東京 | 守谷 | 彩那 |
| たのしみはふとんの中でこっそりと明かりをつけて本を読むとき | 6年 | 東京 | 片居木 | 健 |
| 手の下で小さくはじける花火たち私の心もはじているね | 6年 | 神奈川 | 増田 | 乃萌 |
| お昼ねをないておこしたあのセミよ明日の朝もおこしてくれよ | 6年 | 神奈川 | 佐々木美紅 | |
| 教会のサマーキャンドルともしたら心ほっこりあたためられた | 6年 | 神奈川 | 小原 | 可帆 |
| いわし雲飛行機一機つつ切れば魚の大群飛びはねにげる | 6年 | 神奈川 | 黒澤 | 碧 |
| 太陽とどんな時でも見つめ合う根性あるひまわりがいる | 6年 | 神奈川 | 内島 | 咲々 |
| 暑い時アイスクリームほおぼると内から冷えてくああこの感じ | 6年 | 神奈川 | 朝野 | 真由 |
| 空に咲く大輪の花の花びらが消えてもまだなお見上げ続ける | 6年 | 神奈川 | 戸田ひより | |
| 一面に黄花が咲いた湖にぶかぶか浮かぶ入道雲よ | 6年 | 神奈川 | 黒森 | 緑 |
| 蟬しぐれ時代をこえてつきささるかなしげに建つばくげきの跡 | 6年 | 神奈川 | 冥賀 | 絢音 |
| たのしみはピアノのふたを開けるととき奏でる音が恋しかりけり | 6年 | 神奈川 | 高瀬あゆか | |
| クマノミのようなの服を着てるから今日だけぼくはニモと呼ばれる | 6年 | 長野 | 藤森 | 寛生 |
| 窓を開けセミの声聞きごはん食べ夏の空気を吸いこむ自分 | 6年 | 長野 | 松本 | 諒 |
| 冬の夜外までまきを取りに行きだんろに入れて寒さをとくす | 6年 | 長野 | 小林 | 遼平 |

入 選

風がふき一しよに音が飛んできた何より強く夏を感じた

さぶんと川に飛び込む一しゅんで大きな音が太こみみたいだ

風が吹くかみの毛フワットすずしいなあの子の横顔目に入ったよ

夏休み夜空にあがる花よりもゆかた姿で花咲くおしゃべり

夏のよる空いっぱいには大花火夏しかさかないひまわりのよう

だんだんと香りただよう山々はうすい絵の具で色づけられる

六甲山羊の群れが道ばたに寝方もそれぞれ個性でるよね

なつやすみげっかびじんはよるさいていつもいもうとかいかみれない

本当に鳴いているのはセミだけか遊ぶ弟部屋でミンミン

登校日冷たくなったポストには手紙をぬらす雪だるまかな

夜の空火花がさく時空の下やたいがならぶにぎやかな場所

満員の電車のつり輪見あげればカマキリがかまふりかざしてる

置き物に散歩のひもを結んだよ犬との思い出残す夏の日

タンポポが世界に一つの命産むその命からまた命へと

ああまただおもわずあけるこのとびらだつてひんやり風がくるから

じいちゃんのサツマイモ食べふと思うミミズとじいちゃん協力したね

顕微鏡片目をつぶつてのぞいたらたらこくちびるはっぱの気孔

カンリキのエンジンかからず困ったなやっとかかったさあ畑だよ

台風はニュースになるよ有名人何日かしてすぐに引退

兄弟は三人だから母たいへん母がいないと私がどなる

6年 長野 大久保博斗

6年 岐阜 大坂 彩夏

6年 岐阜 須甲 聖弥

6年 岐阜 中罵 春奈

6年 滋賀 北村 美結

6年 京都 谷村 満奈

6年 京都 中田 絢子

6年 京都 辻 健太

6年 京都 城山 珠代

6年 京都 青木はづき

6年 兵庫 宮浦 太一

6年 兵庫 鹿間 相翔

6年 和歌山 高岡 真大

6年 鳥取 前田 尊

6年 広島 藤岡 あや

6年 広島 浜井 翔大

6年 広島 米田 桜

6年 広島 小林 海人

6年 高知 濱田龍之介

6年 高知 森岡 心

ポケットからいっぱいごみがでてきたぞ自分のポケットそうじきみたい
 足音でだれがきたのかわかったよ見るとやっぱり父さんだった
 花火とぶ空にうかんで花のようしあげるように星がかがやく
 水かけのごほうびとして夏野菜なすとおくらとピーマンふたつ
 妹とパズルを勝負三連敗パズルの中では妹こわい

| | | | |
|----|-----|----|----|
| 6年 | 高知 | 藤田 | 将太 |
| 6年 | 高知 | 西原 | 蒼央 |
| 6年 | 福岡 | 友田 | 湊 |
| 6年 | 鹿児島 | 藤岡 | 諒悟 |
| 6年 | 鹿児島 | 満山 | 大成 |

短歌

中学生の部

学年順都道府県別の掲載です

選者のことば



栗木 京子

くりききょうこ

昭和二十九年愛知県生まれ

「塔」選者

NHK学園短歌友の会選者

歌集『水惑星』『夏のうしろ』

『けむり水晶』『水仙の章』

自分らしい言葉で



栗木 京子

NHK全国短歌大会でジュニアの部の選歌を担当するのは初めてで、大きな期待をもって作品を拜見しました。すぐれた作品と出合うことができうれしく思っています。

中学生の皆さんの日々はとても忙しいことと思います。学校での授業やクラブ活動、学習塾や習い事、家の手伝いをしている人もいることでしょう。趣味を楽しむ時間も必要です。時間に追われる生活をしていると、つい目先のことばかりに関心が向いてしまいます。いや、目先のことですら、じつは見ているようで何も目に入っていないなかつたりします。

そんなとき、短い時間で構わないので立ち止まって、周りを見つめてみることをお勧めします。そして、できれば周りの物事に呼び掛けるように言葉を発してみるのがよいと思います。無理に短歌の形にする必要はありません。断片的でよいので、思いを言葉に表わす。慣れてきたら、五と七のリズムに乗せて「五七五七七」の形になるように口ずさんでみる。そんなふうにして短歌と寄り添ってゆくことで、日常の時間や空間は今までとは違った輝きを持ち始めるのではないのでしょうか。

今回、特選となった作品は、いずれも身近なところから発想のタネを掬い上げています。秋の夜空の星、夕暮の影法師、山の上にかかる虹。こうした自然界の豊かさに心をひらく短歌。楽器を弾いたり列車に乗ったり水族館に行ったりしたときの体験を、その場の具体的な風景や感覚を添えながら表した短歌。亡くなった祖母への愛情をかみしめる短歌や、動物や植物を通して生と死の不思議を考える短歌。それぞれの作品から確かな手応えを感じました。けっして借り物ではなく、自分らしい言葉を使って思いを伝えようとする意欲が伝わってきて、そのことに心を打たれました。

次回も多くの皆さんからの応募をお待ちしています。

特選



何思う水族館の箱の中ナガクビガメが遠くながめる

東京都 葛飾区立金町中学校 1年 矢内 麻尋
ナガクビガメはカメ目ヘビクビガメ科に属する亀の仲間で、オーストラリアやニューギニアなどに生息しています。名前の通り、長い頸部をもつ亀。亀を細かく観察し、さらに亀の思いに寄り添って表現しているところに惹かれました。

ゆっくりと楽器構えて弓持てば体は楽器に心は音に

愛知県 東海学園東海中学校 1年 小中 祐希
弦楽器を演奏しているのでしょうか。自分の身体と楽器が一体化しながら曲を奏でている感じが「体は楽器に」に端的に描かれています。さらに「心は音に」からは音色に魅了されていることがわかります。下句の対句表現がリズムカルです。

「あの下はどうなってるの」と父に聞く遙かな山に隠れてる虹

秋田県 秋田市立城東中学校 2年 藤島 直太
虹を見てきれいだなと思うことは多いのですが、山に隠れて見えない部分に関心をもっているところが新鮮に感じられます。未知の世界への探求心が歌を輝かせています。お父さんはどんなふうに応えたのでしょうか。

塾帰り街灯のない坂道で迎えの母と見るカシオペア

広島県 庄原市立東城中学校 2年 岡崎 千夏
塾が終わると、あたりはもう真っ暗。街灯のない道を心配して母が迎えに来てくれました。勉強のことを話すのではなく、秋の夜空の星を二人で眺めているのが素敵です。「坂道」という場の設定にも視界の広がりがあります。

去年まで新幹線で来た祖母がきゅうりの馬で会いにくる

東京都 豊島岡女子学園中学校 3年 横井 凜子

折にふれて作者を訪ねて来た祖母。残念ながら亡くなってしまいました。「死」という言葉を使わず、お盆に供える「きゅうりの馬」を詠むことで祖母の霊を迎える気持ちを表しています。そこにやさしい心情があふれています。

小海線田んぼの中をひた走る稲穂の香り軽油の香り

神奈川県 関東学院中学校 3年 藤井 優人

小海線は山梨県の小淵沢駅と長野県の小諸駅を結ぶ高原鉄道。この路線は非電化なので、気動車が美しい風景の中を走ってゆきます。秋の車窓からは実った稲穂の香りや燃料の香りが漂ってきます。充足感の伝わる歌です。

ちっぽけな等身大の筈の影夕陽に伸びて校舎突き刺す

富山県 南砺市立井口中学校 3年 上田 倫弘

実体があつて、影が生まれます。影は従属物だと思っていたのに、時として影は実体を超えた存在感を示すことがあります。夕陽の角度によって、長く鋭く伸びることのある影。結句の発見が独創的で冴えています。

生と死をあらわすごとく動物の死がいの周りに生えゆく雑草

香川県 高松市立古高松中学校 3年 熊野 裕一

動物も植物も、生き物は互いに関わり合いながらいのちをつないでいます。動物の死がいの周りに生えてゆく草は、まるで死を悼んでいるようにも見えます。生命の原理と静かに向き合う視線に説得力を感じました。

秀作



夕暮れに自転車こいでふと思う明日はきつと今日より楽しい

午前二時まだ早いのに鳴く小鳥しずんだ世界と天頂の月

薪能一夜限りの別世界流れる歴史今に輝く

北の海そびえる断崖積丹の雪にも雨にも耐えた強さか

蒸し暑くふと見あげたら雲のうずぐんぐん膨らみ竜の巣となる

横笛と太鼓のリズム町なかにとどろきねぶたの夏がはじまる

飛び石の合間に映る青い宇宙雲の流れを足元に見る

海ゆけば麦わら帽の君がいるそんな気がしてバスを待つなり

学校でだれにも言わない本音たち家に帰って猫にきかせる

テスト明け黄の声そして青の声私は黙ってスキップしよう

雨の日に資源回収参加してずっしり重いぬれた新聞

ひと切れの桃を味わい尽くすため風鈴吊るし窓開け放つ

ほうとうを作った鍋は大きい小さいものだ西湖を見れば

穴もあき使い古した運動ぐつつきつい練習のりこえた証

北海道札幌光星中学校 1年 渡邊 蒼大

北海道札幌光星中学校 1年 上村 宙広

新潟県佐渡市立南佐渡中学校 1年 金子 りん

愛知県東海学園東海中学校 1年 片岡 裕貴

広島県三次市立布野中学校 1年 矢上 陽袈

青森県三沢市立堀口中学校 2年 蛭名 朋花

福島県いわき市立玉川中学校 2年 高山 理子

福島県いわき市立玉川中学校 2年 宮城 夏海

福島県平田村立ひらた清風中学校 2年 宗像 伽菜

埼玉県星野学園中学校 2年 野城 知里

埼玉県川越市立高階中学校 2年 中村 真由

千葉県千葉市立花園中学校 2年 吉田 尚未

千葉県木更津市立木更津第一中学校 2年 吉岡 光一

東京都江東区立深川第五中学校 2年 松田 美優

久々の花火大会お洒落する私の浴衣は裾が短い

山梨県駿台甲府中学校 2年 千野 正博

ヒロシマに海を渡って来た鶴はキノコ雲なき空へ飛び立つ

愛知県東海学園東海中学校 2年 竹内 佑

掃除中ほうきにとまるアゲハチョウ見つめあつてるチョウと僕の手

山口県周南市立菊川中学校 2年 荒井 善成

笑えない友のジョークに愛想笑い面倒臭いけどやるのが中二

佐賀県太良町立多良中学校 2年 片山 貴斗

レモンの輪切りはじめて食べた一歳のおいっこ口をすぼめブルツとす

青森県三沢市立堀口中学校 3年 相間野美翔瑠

桜散るそれを見てふと考えるいつか死ぬのになぜ生きるのか

群馬県藤岡市立西中学校 3年 山口 颯太

夏の日の夜空に浮かぶ宝石を今亡き祖父にたとえてみたり

群馬県藤岡市立東中学校 3年 浦部 莉奈

おはよりの言葉にのせた想いには誰も知らない好きの二文字が

埼玉県朝霞市立朝霞第三中学校 3年 片山 悠菜

持ち主のなき自転車の前輪はぐにやりと曲がるインフェルノ——夏

東京都海城中学校 3年 山田 健人

夕暮れに自転車おして登る坂木々のあいまのまばゆい光

東京都海城中学校 3年 百留孝士郎

花火の夜ゆかたであふれる駅の中塾へ急いだ音だけきいて

東京都葛飾区立金町中学校 3年 横田和佳奈

あの夏と呼ぶときがくる雨上がり虹もない空越えてゆこうか

東京都国立市立国立第一中学校 3年 田中 琴子

鐘が鳴りペンを置いてから思い出す空欄のままの問いの答えを

東京都東京学芸大学附属国際中等教育学校 3年 原田 伊織

花火よりスマホの中のポケモン追い一度も上を見ない友達

東京都東京学芸大学附属国際中等教育学校 3年 田代 健人

反抗期一時休戦申し入れ借りし母の手夏の宿題

神奈川県川崎市立麻生中学校 3年 菅井 更紗

先生は「受験は団体戦」と言うでも友達はライバルとなり

長崎県諫早市立真城中学校 3年 芝 優理香

入 選

戦争は罪なき命を奪うものこういうことはなぜ起こるのか
 好きだった君との夏は短くてしまわれていく扇風機
 金魚鉢光を浴びて輝いただいたい色の光も混じって
 山寺の階段登りつかれたが芭蕉と同じせみの声聞く
 朝練で大汗流し胴着を干せば白い塩の地図
 夏休み祖父母の家に帰る時去年とちがう自分の気持ち
 背広着たサラリーマンもポケモンGoスマホ片手に町を徘徊す
 夏になり入道雲が空泳ぐ私はプールでクロール泳ぐ
 パチパチと幻想的に燃えてゆく私の好きなせんこう花火
 祖母の家八ミリくらいの黒い種とぼして遊ぶ縁側のふち
 雨あがり見上げる空にはうつつすらと虹が架かってスマホを向ける
 夏の日に光に飛んで行く虫はぜんぶまとめてくものごちそう
 本物とテレビの花火見比べてベランダと居間行ったり来たり
 宿題の提出期限をヒグラシが告げて外出禁止命令
 富士山のふもと付近で見つけたよ三百円の有料トイレ
 牧場で人生初のトラクターガタガタゆれる車と友達
 肌寒く濃霧流るる富士の山足取りすくむ壁面の道
 昼寝するネコのとになりで横になり宿題のない彼をうらやむ
 新しく命が生まれ家族増え僕は兄さん君を守るよ
 音だけの花火を感じ楽しめず心の中に花火をつくる

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 | 1年 |
| 岐阜 | 富山 | 神奈川 | 神奈川 | 神奈川 | 神奈川 | 東京 | 東京 | 東京 | 東京 | 東京 | 東京 | 埼玉 | 群馬 | 群馬 | 群馬 | 北海道 | 北海道 | 北海道 | 北海道 |
| 春田 | 水島 | 熊澤 | 藤間 | 後藤 | 濱口 | 本間 | 阿部 | 小林 | 小林 | 大石 | 小林 | 高杉 | 高山 | 金澤 | 柄澤 | 八名 | 中村 | 八名 | 中村 |
| 力樹 | 和琴 | 杏 | 真由 | 理希 | 響 | 俊也 | 倅大 | 未侑 | 未侑 | 鈴 | 未侑 | 一葉 | 恰史 | 優太 | 雅 | 未蘭 | 倫 | 未蘭 | 倫 |

入 選

簡単に思えたはずのミソスープおいしくしたい母に近づけ

秋の風空に泳ぐいわし雲日落ちてすぐににげるいわしだ

潮騒の香氣漂う海原に完泳誓う夏の水練

進もうとひたすら腕に力込め瞳に映える海の荒浪

夏休み蟬の抜け殻見つけては部屋に飾って喜ぶ弟

夏プール泳いだ後に服着るとかすかなぬくもり肌を感じる

部活後に家でシャワーを浴びるたび肌の色見て成長感じる

カブト虫なかなかいない虫の王一匹見つけてよろこぶ子ども

とびこみ台キラキラひかる水面に指の先からすいこまれていく

夜の窓に蛙が虫を食べている時どき腹を膨らませつつ

ふきのかさ大きい小さいいろいろと家族のようにみんな集まる

探り足葉をかき分けて見つけたる西瓜だき上げ胸おどるなり

兜虫鏡を見つめて威嚇する自分自身が敵に見え出す

田植え機の不規則な音響きけりネギ刻む音耳に重なる

鯉職鯉の家族と輝いて次の風待つ青空の下

霧の海山の中まで入ってる山を隠して進みつつげる

霧深しうっすら見える人影に散歩の途中立ち止まる祖父

初めての塾の窓ぎわ独りいてへっせを読みつつ見下ろす国道

長い梅雨今日も明日も雨だらけおいてきぼりの僕の自転車
電車から夏の風景ながめてる春にはなかった花が咲いている

1年 岐阜 畑中あかり

1年 岐阜 五島 匠海

1年 愛知 櫻井 悠宇

1年 愛知 林 幸希

1年 愛知 大橋 明果

1年 愛知 榊原 朗人

1年 愛知 山本翔一朗

1年 愛知 長棟 陽祐

1年 広島 村上 永吉

1年 広島 宮重 寛樹

1年 広島 立花 愛音

1年 山口 西川 輝

1年 愛媛 和氣 彩夏

1年 愛媛 上岡 由季

1年 愛媛 岡田 結衣

1年 愛媛 平井 晶樹

1年 愛媛 木村 竣

1年 福岡 宮崎 文音

1年 佐賀 澤山 寿輝

1年 宮崎 日高 優利

入 選

| | | | | |
|---------------------------------|----|------|-------|----|
| 一人じゃないニコニコ笑う友のそば家族とちがう暖かさあり | 1年 | 鹿児島 | 福山 | 瑠華 |
| 熊本の地震のつめあと残る道シートの屋根とキャンピングカー | 1年 | 鹿児島 | 三蘭 | 瑞基 |
| 自まんの祖父慣れた手つきで新茶入れ一口飲むと伝わる思い | 1年 | 鹿児島 | 田中 | 夏寧 |
| 新しいかばんを背負い門通る優しい春の匂いにつられ | 1年 | 鹿児島 | 柁 | 玲 |
| 水平線太陽と海重なって夏の思い出過ぎ去っていく | 1年 | 鹿児島 | 嶽野 | 妃那 |
| 靴紐を硬く結んで走る朝白い息はきつける体力 | 1年 | 鹿児島 | 有村 | 充輝 |
| お盆の日むかえびたいておむかえを終われば寂しい長い夏の日 | 1年 | 鹿児島 | 長濱 | 旭 |
| 海遊び思い出胸に夕暮れの洗濯そうに残る白砂 | 1年 | 鹿児島 | 池田七夏子 | |
| 相棒と死ぬまでずっと旅したい相棒の名はバイクのつよし | 1年 | 鹿児島 | 中ノ上蒼太 | |
| おじいちゃんと花火したのを思い出す三年前の八月の夜 | 1年 | 鹿児島 | 前原 | 英吉 |
| うなだれる猫はまるで母のようつかれをいやしはたらくために | 1年 | 鹿児島 | 河野 | 英寿 |
| 庭の草つめどもつめどもなくならず背中ではかせみたちの声 | 1年 | 鹿児島 | 清水優紀子 | |
| 天道虫天に向かうその姿僕も一緒に机に向かう | 1年 | 鹿児島 | 塚本 | 美鈴 |
| 夏の日にせみの鳴き声ひびくとき私の声も遠くにひびく | 1年 | 鹿児島 | 岩下 | 陽 |
| 汗かいてコップにジュースを注いだらなぜかコップも汗をかいている | 1年 | 鹿児島 | 福永 | 蓮 |
| 矢をはなちきれいに飛んで的あたるみんなの拍手が自信にかわる | 1年 | 鹿児島 | 鮫嶋絵玲菜 | |
| ああかゆいかゆい所にバツ印つけてみてもかゆみは取れぬ | 1年 | 鹿児島 | 柁宇都七海 | |
| リオ五輪日本選手の活躍で地球の裏と思いつながら | 1年 | 鹿児島 | 藤崎 | 花音 |
| 不思議だどうして空は青いんだ銀色だったら見上げちゃうのに | 1年 | アメリカ | 神谷 | 乃愛 |
| 体育館流れる汗がじゃまをするひとつのはねを追いかけた夏 | 2年 | 北海道 | 大西 | 怜汰 |

入 選

蛇口から吹き出す水のきらめきを思いつきり飲む部活の後は

あの背中追い越すと決めたあの日から自分に聞かす背は見せるもの

大空に高く舞い上がる白球を僕は何のため追いかけるのか

夏休みみじかすぎると感じて一つは作れる小さな思い出

にらんでる私の目の先とうもろこしまたその先にはかえるの目かな

あいさつは広がる笑顔と響く声いつまでも続く魔法の言葉

気持ち悪いそう言わないで考えて全部の虫が生きているんだ

夏の山湧き出る水の涼しげな音こそ私の命の音なり

帰り道一人で歩き空見上げさがしたくなるオリオン座かな

プールの日終わった後のお楽しみふかふかタオル抱きしめてくれ

いわし雲空の海原群れつくり頭をかすめる大根おろし

いい音でみなを支える土台だよひそんだ魅力の低音パート

宿題の最後のページを閉じるなりえんぴつなげてふとんへダイブ

海釣りやピンと糸はりさおしなる海ざわめきてカレイははねる

花びらをキャッチできれば夢叶うそんな言葉に心おどらす

鶴ヶ城会津の景色を見わたして長い歴史を積み上げてきた

黄金に輝き空を見上げて背比べしてひまわりたちよ

ふるさとに星降る夜のおくりもの小さな命の流れ星かな

ラケットのラバーをかえて大会へ勝利を目指しスマッシュを打つ

四十年汗を流してパトロール笑いをありがとうとおつかれ両さん

2年 青森 本城 芽衣

2年 青森 横山 幹真

2年 岩手 栗津 爽

2年 岩手 橋場なつみ

2年 宮城 笠原 慧海

2年 宮城 千葉 雄大

2年 宮城 阿部 俊

2年 宮城 佐藤 花映

2年 秋田 夏井 遥香

2年 秋田 手塚 光流

2年 秋田 阿部早和子

2年 秋田 菅原 輝

2年 福島 渡辺 博喜

2年 福島 太田 惟吹

2年 福島 鈴木 真裕

2年 福島 吉田 翔海

2年 福島 山口 菖花

2年 福島 成田 智哉

2年 福島 立川 千尋

2年 福島 小林 達弥

入 選

テスト前私と眠りの対決だ眠りに負けて手がとまるだけ
 競い合いおやつめがけて一直線二匹の小犬どちらが勝つか
 帰り道二つの影が伸びていく空の茜の明日への道へ
 ドンドンと太この音が鳴り響く男の声も響く夏祭り
 新しい麦わらかぶって走る午後太陽を^{ひかり}あびる私のくせ髪
 真っ白な雲と果てない青空へ音楽室から届けハーモニー
 泣き声と歓声混ざるベッドの上新たな命大きくなあれ
 はなれても同じ夜空を見上げたら夏の星座で心つながる
 新しい靴下をはき記録会タイムと共に靴下破れる
 飛びこんだその一瞬は別世界声も聞こえず孤独に泳ぐ
 夏休み部活終わってほっとして家に帰ると鍵あいてない
 つらからしたたる水が美しく地面に溶けてまた溶けて
 「涼しいね」言ってみ上げて夏空の色は透明終わりゆく夏
 試合中緊張走る5回裏一振りすれば試合がきまる
 チリンチリン風鈴あった物置に微風と共に音が広がる
 海の中まん丸ふぐとにらめっこふと気付いたら誰もいない
 好きな人チョコを渡せず帰り道夕日に向かい溶けてく気持ち
 真夏日にプールに向かって一直線青く冷たい僕の天国
 帰り道見つけたメントかいでみる暑い季節にすずしい香り
 玄関を開けたら犬がお出迎え疲れを癒すプロセラピスト

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 |
| 千葉 | 千葉 | 千葉 | 千葉 | 千葉 | 千葉 | 埼玉 | 埼玉 | 埼玉 | 埼玉 | 埼玉 | 埼玉 | 埼玉 | 埼玉 | 群馬 | 茨城 | 茨城 | 福島 | 福島 | 福島 |
| 小野寺 萌 | 本田 桃子 | 天野 雄貴 | 藤代 梨花 | 高橋 翼 | 中町 晃大 | 澁谷 大翔 | 清水 黎乃 | 粥川 彩音 | 廣井 優次 | 武内 智也 | 中村 彩由 | 羽柴 彩夏 | 小島なつこ | 吉田 楓 | 西尾 はる | 高柳 友優 | 露木 美友 | 藤田 英里 | 藤田 英里 |

入 選

風呂場まで甘い香りが忍びよるからあげに詰まるばあちゃんの味

先輩と吹いてる音が重なって合奏中にひとつになった

帰り道ふと空見れば真っ白の積乱雲に夏の訪れ

雲間から頭を出した富士山の山頂部分に白い狼

死んだ人星になるというけれど一番星はだれなんだろう

笹の葉の小さな穴の行列はコチャバナセセリの食痕なりけり

かき氷夏の暑さにしみわたり豊洲運河に潮風吹いた

何故なのか自分めがけて体当たり夏の終わりの死にかけのセミ

お盆休みいとこ集まり背比べ急成長した僕が一番

水しぶき塩素の匂い身にしみて夏の思い出今よみがえる

波寄せる浜辺の上にただ一人地球を感じ心が和む

かたつむりきらきらひかるあじさいをのろのろのぼりがんばっているよ

観覧車一生回るかなしさをただただ僕は見ていることだけ

夕焼けの珊瑚朱色に映える海自然が創る時の贈り物

空の下波打ち際ではしゃぐ君夏のおとずれ吹き抜ける風

夏の空入道雲の上の上銀翼の鳥尾をひいて飛ぶ

午前から準備すすめた水彩画小学生との部活体験

コンクール一つの音に命こめ努力でとったゴールド金賞

暑くなる裸足で踊る燃えあがるこれで最後のソーランの声
大縄で最新記録四十六回皆で叫ぶ優勝とるぞうと

2年 千葉 都留 大樹

2年 千葉 栗原 杏奈

2年 千葉 稲田 小雪

2年 千葉 浦邊 智矢

2年 東京 千葉 真凜

2年 東京 小倉鈴ノ介

2年 東京 後藤 蓮

2年 東京 湖幡 将隆

2年 東京 嶋寺 颯太

2年 東京 金子 寛也

2年 東京 有田 天吾

2年 東京 高橋 佑太

2年 東京 寺嶋 翔

2年 東京 松倉 幹太

2年 東京 千葉はるか

2年 東京 河津 遼太

2年 東京 小林 千夏

2年 東京 大平 藍香

2年 東京 土田 遥風
2年 東京 佐々木 力

入 選

トンネルをぬけて私の目の前に光り輝く青屋根の家
 夏の空見上げたまんま30分入道雲のとりこになった
 暑い夏広島でオバマさん祈りささげるテレビの画面
 夜の中一つ明るい体育館たくさん虫が観戦しに来た
 しとしとと来る日も来る日も降る雨はきまぐれ神様のお遊びだろうか
 見上げれば夜空にひろがる夏の花着てる浴衣をくすぐる夜風
 新刊の一ページ目を開くとき胸の鼓動は高鳴ってゆく
 夏祭り派手な花火もいいけれど流れる灯籠心安らぐ
 雨降らず渴水続きこわくなり使用する水減らしている僕
 太陽が湿ったはっぱあたたためて心のしずくもかわいて晴れた
 がんばろう普段ふざけるその人の発した言葉は心を動かす
 ビー玉をすかして見てみる森の中閉じこめられた小さな世界
 夕暮れに目をうばわれて開けた窓ひぐらしだけが私を呼んだ
 北岳の山稜に出て下見れば影を囲んだプロッケンの輪
 気がつけば街にあふれる蟬の声十四回目の夏のはじまり
 点数見て負けは負けだと思う人試合のすごさわからないくせに
 体育祭歌い出す前にせきばらいこれが私のルーティーン
 風もなく涼しさもない蒸し暑さ自分で風鈴動かしてみた
 あと五分皆の鉛筆カツカツと響く教室僕だけが、ああ
 試験中答えに迷い止まるペン時間はあるぞ落ちつけ自分

| | | |
|----|-----|-------|
| 2年 | 東京 | 松本恵理子 |
| 2年 | 東京 | 堀 真緒 |
| 2年 | 東京 | 高橋 凜 |
| 2年 | 東京 | 仲川 莉香 |
| 2年 | 東京 | 西野 愛 |
| 2年 | 東京 | 星 茉亜弥 |
| 2年 | 東京 | 岡崎 美咲 |
| 2年 | 東京 | 天野 玲美 |
| 2年 | 東京 | 松下 禅 |
| 2年 | 神奈川 | 田口 舞 |
| 2年 | 神奈川 | 北原 莉奈 |
| 2年 | 神奈川 | 後藤優羽奈 |
| 2年 | 神奈川 | 柳田 怜美 |
| 2年 | 神奈川 | 佐藤 遥香 |
| 2年 | 神奈川 | 小木曾夢有 |
| 2年 | 神奈川 | 長島 慶子 |
| 2年 | 新潟 | 星野 結南 |
| 2年 | 富山 | 山崎 栞奈 |
| 2年 | 富山 | 今井 柊介 |
| 2年 | 富山 | 吉田 翔哉 |

入 選

教室の窓から見える新緑が兼六園をさわやかにする

ウイイン穴があいてく象牙質怠惰な心削られたかな

怒ったらカップラーメンけとばして飛んだ飛沫を片目で眺め

放課後の部活はいやと言いながら行けば行ったで気合いがはいる

扇風機人にとってはすずしいが彼は暑いとさげんでいるよ

カレンダー赤色好きな子ども達けれど夏は関係がない

なつによる花火の音が聞こえてる近くに行こう祖母の手を取り

大好きなドラマをひとつ見終えるごとにここにぽっかり穴があく

机の隅誰も食べないやきそばパン過ぎ去っていく夏休み

青空にシャボン玉飛ばしてふと思うあの人は今どこにいますか

午後八時回転寿司の寿司達に差し延べられる手と手と手と手

部活動先輩達がやりきった次ぼくたちが泣く番になる

東京の天にそびえるビルの群れ上を見たまま歩いてく僕

止まらない夏祭りの夜その心騒ぐ何かが暴走してる

珍しいハートマークのついた鯉いつも人から逃げ回ってる

雪間草おさえられても諦めず上を目指して萌えはじめよ

車乗りカーブ曲がると目の前に右へ左へ動く富士山

自転車で通ういつもの田んぼ道上にはコウモリ下にはカエル

君の事独占できる夢の中夏の夜空が僕ら包むよ

四組はいつでも何でも全力で教室温度は五度アップかな

2年 石川 澤田 理絵

2年 石川 山本 空

2年 福井 三原 伊織

2年 福井 猪口 桃

2年 福井 宮根 想

2年 福井 北村 美和

2年 山梨 山下 温大

2年 山梨 浅尾 莉瑚

2年 山梨 栗山 峰奈

2年 山梨 小林 大起

2年 長野 藤森 相貴

2年 岐阜 島田 侑空

2年 岐阜 田中 寛生

2年 岐阜 早坂 柊馬

2年 岐阜 大橋 夏美

2年 岐阜 吉田 真大

2年 静岡 杉山 茜音

2年 愛知 藤田 一慶

2年 愛知 小島 竜馬

2年 愛知 佐々木 雅子

入 選

なにもなくただ過ぎてゆく一週間その一週間はセミの一生
 緞帳が上がるしゅんかん考える今日は絶対まわってみせる
 夏の夜はいろんな音が聞こえるよまるで自然の音楽のよう
 おばあちゃんもういないんだ誕生日おめでとう今日言いたかったよ
 パソコンでゲームをしようとするけれど親の心は積乱雲だ
 怒られてまた怒られて怒られて今日もいっぱい反省したな
 毎日の弁当にある卵焼母の愛情それとも無精
 眠れずに家の窓からふと見ると天に向かって夜中の電車
 筆記体手足つないで踊ってる僕のノートは地味な舞踏会
 家の庭打ち水すると涼しさと昔の人の知恵を感じる
 魂を込めたボールをシュートしてゴールと胸に刺さった喜び
 反抗期いつも言葉にできなくて明日が本番母の誕生日
 悩みごと隠していてもすぐわかる母のすごさに安堵する日々
 「ねえ聞いて」熱く語るよマイブームみんな聞きあき聞く耳持たず
 太陽の下で輝く若葉たち私に向かって駆け出してくる
 帰り道道に映った僕の影見つめ感じる自分の小ささ
 話すこと見つからなくて自転車を押してゆくのは十三の四人
 病室で過ぎ去っていく毎日会いに来る顔今日も変わらず
 教室の窓から見える藍色の山々の中にとける家あり
 初めての新幹線の記念写真黒い爪した僕は三歳

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 | 2年 |
| 広 | 広 | 広 | 広 | 島 | 島 | 島 | 三 | 愛 | 愛 | 愛 | 愛 | 愛 | 愛 | 愛 | 愛 | 愛 | 愛 | 愛 | 愛 |
| 島 | 島 | 島 | 島 | 根 | 根 | 根 | 重 | 知 | 知 | 知 | 知 | 知 | 知 | 知 | 知 | 知 | 知 | 知 | 知 |
| 小 | 小 | 齋 | 倉 | 坂 | 藤 | 田 | 松 | 家 | 星 | 中 | 杉 | 竹 | 土 | 秋 | 山 | 小 | 水 | 阿 | 林 |
| 田 | 林 | 藤 | 本 | 井 | 原 | 中 | 井 | 永 | 野 | 野 | 村 | 花 | 井 | 田 | 内 | 林 | 野 | 部 | 里 |
| 唯 | 由 | 聖 | 将 | 継 | 陶 | 夕 | 琴 | 萌 | 貴 | 暢 | 直 | 賢 | 詩 | 京 | 皓 | 真 | 有 | 由 | 衣 |
| 人 | 果 | 也 | 汰 | 生 | 子 | 季 | 音 | 音 | 哉 | | 人 | 人 | 温 | 佑 | 稀 | 緒 | 梨 | 奈 | 琉 |

入 選

テスト後に気付いてしまった間違いで返されるまでずっと落ち込む

教室のパソコン切って帰る道答えられないクイズ出し合う

一面の菜の花の中車両来てその風にゆれおどる花たち

開幕戦寒さかき消す大歓声真っ赤に染まる九回の裏

今までに試合を見た日わすれないカープも鯉こい恋もこいこい

食べすぎて先生の声遠くなる大事な五十分が溶け出してゆく

今だけは世界最速スプリンター遅刻ギリギリ駆け込む教室

たくさんの愛とわかっていているけれど思春期の心に刺さる母の声

たんぽぽに大きなかげをあげたならそのかげにくる小さな命

何色を混ぜてつくろうこの空は真っ白のまま時間過ぎゆく

一歩ずつゆっくりだけど歩く祖母となり歩くの私のしごと

美しく青きドナウの聞こえるコンクリートのプールの泳ぐ

急な雨洗たく物を取り入れる眼鏡のレンズに水がとびちる

かささぎの橋を渡るは二つ星年に一度の再会の夜

夏の日の窓から入るぬるい風ノートのページを次々めくる

帰り道自転車乗って坂下る下る途中に見える夕焼け

瀬戸内の海を渡れば小豆島青の竹に囲まれ涼し

自分より優れた人を見つけるとその度出てくる嫌いな「自分」

釣り船に先に乗り込む弟の背中丸まり老人のよう

金魚鉢出目金いるよ三匹の大きな目だまはいつもうごいてる

2年 広島 亀竹 栄次

2年 広島 瀬尾 和樹

2年 広島 古田 太陽

2年 広島 白石 真結

2年 広島 田邊 裕理

2年 山口 中村 直也

2年 山口 大野 俊明

2年 山口 片岡 乃愛

2年 山口 内山 拓海

2年 山口 森重 彩

2年 山口 渡邊 春佳

2年 山口 藤井 和真

2年 山口 岩見 愛香

2年 香川 辻 彩希

2年 香川 飯間 華穂

2年 香川 山谷 直矢

2年 香川 高橋 仁華

2年 愛媛 藤岡 舞衣

2年 愛媛 岡宮 祐太

2年 愛媛 川本 蒼惟

入 選

五月雨に悩み泣いた日くもの巢は励ますように淡く輝く

空のむこう青のむこうの君の影僕には届かぬ手を伸ばしても

宿題とたたかいながらの昼下がり朝顔とともにこうべをたれる

目の前に舞っているのは桜の花土の上には桃色の道

雪だるまころがすぶんだけでかくなるこわされてまた雪となっていく

宿題と共に寄せ来る睡魔の波遠くで響く母の雷鳴

高跳びのふわりと体が浮く時はまるで空をとんでいるよう

授業中居眠り中の私の顔なでておこすは緑のそよ風

授業中僕らが何かやらかすとむしろ白けて何かさみしい

芝に寝てふと見上げれば木洩れ日が話してくれる夏物語

全員之音が重なり一つになるぞくぞくしてる私の心

ガタガタとあの日の夜を忘れない地震のあとにさわぐ人々

見慣れない教室のドア勇気出し運命ひらくクラス替え

ざわざわと風にゆられてなびく葉のふかい緑は夏の象徴

相手から僕に届いたミスボールこれをきめなきやと緊張してる

いつもより真っ赤に染まった夕焼けは窓まで染めて屋根まで染めて

かたつむりコンクリの塀を登って土砂降りの中何故頑張るの？

「ありがとう」言えない言葉胸に秘め今日も背中に母のまなざし

コンクール何ヶ月もの練習もたった十二分それだけのため
ハイジャンプイルカの群れがとんでいる誰が出すのか最高記録

| | | | |
|----|-----|-------|----|
| 2年 | 愛媛 | 渡邊 | 敢太 |
| 2年 | 福岡 | 實藤 | 安和 |
| 2年 | 福岡 | 岩丸 | 和花 |
| 2年 | 佐賀 | 武藤 | 将真 |
| 2年 | 佐賀 | 溝上 | 優和 |
| 2年 | 佐賀 | 山口さちか | |
| 2年 | 佐賀 | 満上 | 那菜 |
| 2年 | 佐賀 | 片倉きらら | |
| 2年 | 佐賀 | 大串 | 泰至 |
| 2年 | 長崎 | 真浦 | 雄 |
| 2年 | 熊本 | 福岡 | 幸珠 |
| 2年 | 熊本 | 丸岡 | 徳也 |
| 2年 | 熊本 | 玉城 | 璃子 |
| 2年 | 熊本 | 合志 | 美咲 |
| 2年 | 熊本 | 加藤 | 莉雄 |
| 2年 | 大分 | 小林 | 玲華 |
| 2年 | 宮崎 | 二見 | 亘俊 |
| 2年 | 鹿児島 | 飯牟禮 | 弥耶 |
| 2年 | 鹿児島 | 長渡 | 美優 |
| 2年 | 鹿児島 | 永重 | 静奈 |

入 選

さあ行くぞみんなの気持ち 一粒にライトを浴びて 指挿棒を見る

寒い日に手袋くれたあの人に 遠くたって会いにゆきます

使い方違ってるけどワレワレハ いくつになってもウチュージン

猛暑でもくらげ現わる盆の海僕も 一緒に漂う波間

白球を追いかけきれいに足跡が これからはじまる俺物語

夏の日のゆうぐれ共に歩き出す あなたの背中ただみつめてる

奄美にてウナギを捕獲その夜は 炭火焼きにて夏のごちそう

爆音とともに生じたきのこ雲 忘れてはいけない八月六日

目の前の視界に入ったゴール ライン大きなジャンプでたどり着きたい

びわの葉が風に吹かれてザワザワと 歌っているよ一枚一枚

左の子あくびをするとその次は 我をとびこえ右の子あくび

あこのころの弟短気でも今は やさしくなったなかないやつ

夏になりやっぱり冬が良かったと 似たことを冬に言った気がする

胸きゅんな映画やまんが見ていると 憧れすぎてなにも言えない

夏祭り金魚すくいを競い合い 夜空に透かす自分の魚

母に歌うベースデーソングは 恥かしげ目をそらしつつ笑顔こぼれる

手をこすり顔に当てると温かい その手ではじまる新しい年

ドア開き、おはよう、一声飛ばしたら みんなの心も飛んできた

かげぼうし遊んだ分だけ長くなる たくさん伸びたらいっしょに帰ろう

| | | | |
|----|-----|-------|----|
| 2年 | 鹿児島 | 山下 | 愛雅 |
| 2年 | 鹿児島 | 千頭 | 蒼弓 |
| 2年 | 鹿児島 | 森園 | 真那 |
| 2年 | 鹿児島 | 福永 | 琉斗 |
| 2年 | 鹿児島 | 竹沢 | もも |
| 2年 | 鹿児島 | 北原遼太郎 | |
| 2年 | 鹿児島 | 山形 | 渚月 |
| 2年 | 鹿児島 | 朝野 | 叶大 |
| 2年 | 鹿児島 | 川崎 | 駿祐 |
| 2年 | 鹿児島 | 大山 | 梨里 |
| 2年 | 鹿児島 | 宮園 | 天恵 |
| 2年 | 鹿児島 | 鷓野 | 晃輔 |
| 2年 | 鹿児島 | 本吉 | 泰晟 |
| 2年 | 鹿児島 | 上水 | 翔哉 |
| 2年 | 鹿児島 | 脇 | 杏莉 |
| 2年 | 鹿児島 | 寺原 | 萌花 |
| 2年 | 鹿児島 | 有蘭 | 聖 |
| 2年 | 鹿児島 | 泊 | 舞優 |
| 2年 | 鹿児島 | 深川 | 実夢 |
| 2年 | 鹿児島 | 藤崎 | 理子 |

入 選

夏祭り母の手伝い焼鳥屋売るより先に味見しちゃった

日がのぼり家から歩いて学校へ1・2・3のリズムで体操

夏休み短歌になやみ指を折る母の言葉も短歌に変える

蟬の音のデクレシエンドの始まりは夏の終わりの淋しさ告げる

目立つのも目立たないのも嫌だから何着て行こう夏祭り

じゅく帰り母と二人で歩く道満月だけが話し聞いている

今は亡きいとこを思い花火見る見上げてちかう生きぬく事を

珍しく休みが取れた父のいる食卓にぎわう今夜は寿司だ

こわいのは一つ目幽霊二つ目は背中にいるよセミの抜け殻

サッカーのボールを追いかけ葉にすべりボールをながめ「あ！」秋が来る

祖母の家庭先に生えるふきのとうこのほろ苦さがやみつきになる

夕立や私の心によく響き雷雨はまるで空の泣き声

兄弟と川に遊びに行く時に兄の背中が父に似ている

伝わらない苺あじの片思い電脳世界で微笑む彼氏

あの雲の中にラピュタがあると信じ入道雲へ手を伸ばす

夕焼けと重なる雁の黒い影想い焼きつけ今日が去りゆく

向日葵の色によく似た君の髪あわい笑顔がまたまぶしくて

梨林檎桃栗葡萄さつまいもすべて味わう秋が産む色

失敗するけど楽しいんだなんてだろう舞い上がって落ちこんで

渋谷駅やってきたのは新型車学期始めの小さな幸せ

| | | | |
|----|------|------|-----|
| 2年 | 鹿児島 | 永田 | 哲平 |
| 2年 | 鹿児島 | 若松 | 篤哉 |
| 2年 | 鹿児島 | 福田 | 海輝 |
| 2年 | 鹿児島 | 大久保 | 彩夏 |
| 2年 | 鹿児島 | 上村 | 真由 |
| 2年 | 鹿児島 | 西元 | りな |
| 2年 | 鹿児島 | 向井 | 光流 |
| 2年 | 鹿児島 | 岩田 | 泰一郎 |
| 2年 | 鹿児島 | 折田 | 莉緒 |
| 2年 | アメリカ | ストーン | クイン |
| 3年 | 栃木 | 谷田部 | 紗和 |
| 3年 | 群馬 | 土谷 | 杏実 |
| 3年 | 群馬 | 河野 | 瑛太 |
| 3年 | 群馬 | 小川 | 瑞葉 |
| 3年 | 群馬 | 浜濃 | 有希 |
| 3年 | 群馬 | 古川 | 由菜 |
| 3年 | 群馬 | 檜 | 鈴花 |
| 3年 | 埼玉 | 水谷 | 正哉 |
| 3年 | 埼玉 | 瀧本 | 陽菜 |
| 3年 | 東京 | 豊島 | 将太郎 |

入 選

乱れ立つビルのガラスに反射する夕日の光が心を奪う

奥里や静かに流るる吉野川ホバリングする時空と蜻蛉

梨ぶどう八百屋に秋は来てるのに今日も戸外は三十度超え

荒波の太平洋に立ち向かう浮き輪の僕は小舟のようだ

つかまえてもつかまえてもいわし雲レンズの中で貸し切りの空

この夏は海には向かわず机に向かうペンという名の武器を手にして

太陽の子供になろうと努力して大きく咲いたあの向日葵

せみの声いつもと違う声がする受験生への応援なのかな

たくさんの観光客に見つめられ今日も寝ている長谷の大仏

大仏と集合写真共に撮る枠の中には頭写らず

次は俺絶対チャンスで打ってやる期待と日差し背に受けながら

愛犬の瞳にうつって輝いた空いっぱい打ち上げ花火

雨の中あじさいのほるかたつむりじっと見守るのぼりきるまで

空の上時計と時計の歯車がどんどんずれて慣れない日々

夏休み減ってゆくのは女子力で増えてゆくのは足の筋力

フィールドに蟹気楼見る少女らは確かな今を求めて駆ける

ほかほかとあがる湯気を見つめつつ薫るは栗と秋のにおい

祖父の手を照らしたほたるは空へ飛びのこった我らは火を灯す

引退し部活がない日続いてく懐しくなるがんばった日々

旅立ちの風を選んでるように羽化せし蝶は羽根震わせて

3年 東京 頼 慶修

3年 東京 大倉 諒馬

3年 東京 沼口 護

3年 東京 山崎凌太郎

3年 東京 山本 瑞季

3年 東京 砂塚 隆吾

3年 東京 荻生 果乃

3年 東京 鈴木 結衣

3年 東京 倉田 菜月

3年 東京 清水 英菜

3年 東京 長久保敦郎

3年 東京 大石 茉優

3年 東京 町田 光規

3年 神奈川 風間 まい

3年 神奈川 小澤亜希子

3年 富山 東 知里

3年 岐阜 日下部まみ

3年 岐阜 美濃輪万心

3年 愛知 村瀬 愛

3年 愛知 日浦 健登

入 選

携帯の気になる光はもう見ない見るのは微笑む君の夢だけ
 七輪で焼いた秋刀魚を食べたいと考えて終わるいつもの秋
 犬はダメと言ってた父になつくから二郎を抱いて父は離さず
 弟が自分から進みこんにちは近所の人にあいさつをした
 秋の山毎日違う葉の衣装これはどうかと尋ねんばかりに
 ピンポンの音だけひびく私の手勝利は逃げた守宮のように
 晴れた朝元気に動く吹流し今日も一日良い日になあれ
 雪だるま等身大に作ったらしてみたくなる身長比べ
 子供たち缶けりをして帰ってく空き地に残る潰れた空き缶
 声出せば何かが変わる絶対に未来が変わるその一言で
 澄みわたる水平線から海の声ゆらりとゆれる沖の波かな
 一瞬で町の風景変化して変わり果てた熊本城
 春風がさくらの花びら散らつかせみんなで映る卒業写真
 朝起きていつもの暑さ消えていてちよっと寂しさこみ上げてくる
 演奏をじっと聞き入るお年寄り言葉なくても涙がこぼれ
 電柱で命をもやしなくセミに負けじと私机にはりつく
 なつかしい祖父の顔を思い出し帰ってきてねと灯す迎え火
 ばあちゃんの家で育てた夏野菜水で洗うと宝石のよう
 一年も使いふるした白靴は転んだ後の少年の顔
 えんがわで祖父と将棋で勝負する考える中うぐいすが鳴く

| | | | |
|----|-----|-------|----|
| 3年 | 兵庫 | 宮地 | 健人 |
| 3年 | 広島 | 木下 | 敢 |
| 3年 | 広島 | 宮本みず紀 | |
| 3年 | 山口 | 藏谷 | 妃那 |
| 3年 | 香川 | 濱岡 | 千尋 |
| 3年 | 愛媛 | 西村 | 珠花 |
| 3年 | 佐賀 | 樋口 | 采音 |
| 3年 | 佐賀 | 大鋸 | 季由 |
| 3年 | 長崎 | 川辺 | 凌雅 |
| 3年 | 長崎 | 大石 | 真樹 |
| 3年 | 大分 | 大附セイラ | |
| 3年 | 宮崎 | 加納 | 涼香 |
| 3年 | 鹿児島 | 野村 | 昂雅 |
| 3年 | 鹿児島 | 高木 | 悠李 |
| 3年 | 鹿児島 | 福元 | 梨帆 |
| 3年 | 鹿児島 | 永野 | 千裕 |
| 3年 | 鹿児島 | 稲森 | 隆浩 |
| 3年 | 鹿児島 | 上猶 | 湧介 |
| 3年 | 鹿児島 | 河野 | 芽依 |
| 3年 | 鹿児島 | 福元 | 翔哉 |

一週間セミは生きてるだから鳴け何言われても最後まで鳴け

夏の夕吹き込む風に耳すませ母の長話に腹立てる

車内から空をのぞく原爆日先人の顔は青にとけゆく

扇風機プロペラ回り風が吹き心とプリント宙へ舞い上がる

雄大な海の香りによみがえる私の中の少年心よ

3年 鹿見島 緒方 蓮姫

3年 鹿見島 大塚 宙

3年 鹿見島 木佐貫 洸

3年 鹿見島 小原 大樹

3年 鹿見島 藤谷まりあ

平成28年度

NHK全国俳句大会

ジュニアの部

もくじ

| | |
|----------------|-----|
| ごあいさつ | 1 |
| ジュニア大賞 | 50 |
| 学校大賞・学校優秀賞・特別賞 | 51 |
| ●幼児・小学生の部 | 53 |
| 選者のことば 神野 紗希 | 55 |
| 特選・秀作 | 56 |
| 入選 | 60 |
| ●中学生の部 | 75 |
| 選者のことば 小島 健 | 77 |
| 特選・秀作 | 78 |
| 入選 | 82 |
| 審査について | 97 |
| 学校の取り組み | 98 |
| 参加校名・団体一覧 | 100 |

ジュニア大賞

◆◆幼児・小学生の部◆◆

はるかぜみたいになこをなぜたんだよ

愛媛県慶応学園慶応幼稚園 年長

岡本 光生

母の日は草笛吹いてあげました

岐阜県郡上市立那留小学校 3年

前田 優希

クマゼミは小さな森の川の音

東京都文京区立明化小学校 4年

田端 大樹

ジュニア大賞

◆◆中学生の部◆◆

台風がお詫びにくれた青い空

群馬県渋川市立子持中学校 1年

片野 誠夢

走ってるこの感覚が夏なんだ

愛知県豊橋市立南陽中学校 2年

平岡 咲季

学校大賞

秋田県

八峰町立峰浜小学校

鹿児島県

鹿児島市立吉野中学校

特別賞

長崎県

中村グループ

愛媛県

内子町立五十崎中学校

学校優秀賞

福島県

会津若松市立一箕小学校

広島県

東広島市立三ツ城小学校

大阪府

東大阪市立石切中学校

俳句

幼児・小学生の部

学年順都道府県別の掲載です

選者のことば

俳句の窓

◆◆◆◆◆
神野 紗希

俳句は、ふだんのくらしの中にひらく、小さな窓です。起きて、学校に行って、勉強して、遊んで、ごはんを食べて、眠る。ふつうの、ありきたりの毎日のそこそこに、その小さな窓は隠されていて、みんなに見つけてもらうのを、今か今かと待っています。

たとえば、クマゼミの声。暑いのにうるさいなあ、と決めつけて耳をふさいでしまうと、そこで世界とわたしとの回路は、断たれてしまいます。まっしろな心で、シャアシャアという声に耳をすませると、ほら、俳句の窓が。〈クマゼミは小さな森の川の音〉。ひらけば、森を流れる川の音が聞こえてきて、クマゼミの声の中に、すすしさや自然の深さを感じます。俳句のことばは、現実を少しちがった感触に書きかえて、わたしたちをハッとさせます。慣れてしまった当たり前の風景を、一度きりの特別な光景に変えてくれるのです。

たとえば、朝食のたまご焼き。いつも作ってもらえばかりじゃなく、自分でもチャレンジしてみると、そこにまた、俳句の窓がひらきます。〈たまご焼きは真っ黒ぼくの春休み〉。少しかつこわるい結果もすなおに詠んだことで、ありのままの自分を肯定するあかるさが宿りました。俳句では、かっこつける必要も、えんりよする必要ありません。俳句という詩は、人間や自然の、ありのままのすがたを、そのまま受け入れてくれるのです。

まだ見ぬ俳句の窓を探してのぞいてみてください。世界は両手を広げて待っています。



◆
神野 紗希
こののさき
昭和五十八年愛媛県生れ。NHK学園講師。高校時代、俳句甲子園をきっかけに俳句を始める。平成十四年、第一回芝不器男俳句新人賞坪内稔典奨励賞受賞。NHK B S 2「俳句王国」番組司会（平成十六年～平成二十二年）、NHK Eテレ「俳句さく咲く！」選者（平成二十五年）を務めた。現代俳句協会青年部長。句集に「星の地図」「光まみれの蜂」。

◆ 特選

神野紗希選

はるかぜみたいになごをなげただよ

愛媛県慶応学園慶応幼稚園 年長 岡本 光生

ばらをみたひまわりをみたひるねした

北海道小樽市立潮見台小学校 2年 鈴木詠梨奈

かおつけてあゆを見てたらおよげたよ

滋賀県大津市立唐崎小学校 2年 蘆池 優佳

母の日は草笛吹いてあげました

岐阜県郡上市立那留小学校 3年 前田 優希

あたたかくやさしい春風のように、そつとやわらかく猫をなでました。セリフがそのまま句になったので、したしく話しかけられたようにで読者もうれしくなります。作者はやさしい心の持ち主ですね。

体験を三つならべて、ある夏の日を描きました。赤いばらや黄色いひまわり、はなやかな花たちが、夏という季節の生命力を伝えてくれます。昼寝の夢にも、あざやかな花が咲き乱れたでしょう。

川で遊んだスペシャルな体験をすなおに詠みました。水の中で泳ぐあゆを、川面に顔をつけて集中して見つめていたら、いつのまにか自分も泳げるようになっていたのです。あゆが教えてくれたのかな。

母の日は、お母さんがよろこぶことをしてあげたい日です。草笛がふけるようになった作者の成長に、お母さんにもっこり。やさしい音色に、子どものころを思い出してなつかしそうなお母さんです。

雨がふりあじさい海鳴りごとさいて

秋田県八峰町立峰浜小学校 4年 今井 綾乃

クマゼミは小さな森の川の音

東京都文京区立明化小学校 4年 田端 大樹

舟で行く巖流島の夏休み

埼玉県所沢市立小手指小学校 5年 国光 太郎

機関車がボーっと夏の大あくび

神奈川県カリタス小学校 5年 大隅 千咲

たまご焼きは真っ黒ぼくの春休み

富山県高岡市立伏木小学校 5年 濱谷 源大

そよ風と風鈴みたいな父と母

鹿児島県南九州市立大丸小学校 5年 泊 美奈

「海鳴りごと」という大胆な表現が、雨の中で堂々と咲くあじさいの迫力を立ち上げています。雨の青、あじさいの青、海の青。さまざまな青のグラデーションが、梅雨の風景をうつくしく深めます。

シャアシャアと鳴くクマゼミの声が、小さな森に流れる川の音のようだと、自分の感覚をいかしてたとえました。「小さな」にクマゼミの命の小ささが、「森」にその命の奥深さが、表現されています。

巖流島は、剣豪・宮本武蔵と佐々木小次郎がライバル対決をした運命の地。先に着いた小次郎を待たせて、堂々と登場した武蔵の気分で、巖流島を目指します。歴史に触れる、ゆたかな夏休みです。

機関車が「ボー」と鳴らした汽笛を、大あくびしているようだ、ととらえました。機関車も、暑くて疲れて、そろそろ休みたいのかな。つられてこちらもあくびしそうな、のびやかな夏の午後です。

春休みなので、はりきって料理に挑戦。でも、たまご焼きはうまくできなくて、こげて真っ黒に！そんな失敗も、どこかほがらかに笑えるのが、春の明るさのしさです。今度はきつと成功するよ。

両親の仲の良さを、風と風鈴にたとえました。そよ風のようにしずかでやさしいお父さんと、風鈴のように気持ちよく答えるお母さん。ふたりといっしょなら、暑い夏も、涼しくしあわせに過ごせそう。

◆ 秀作 神野紗希選

こねこがねなめるよわたしおいしいの

東京都学校法人みのり幼稚園 3歳 下川路来未

すいかわりかぜふくほうにあるいてね

山形県社会福祉法人白鷹会愛真こども園 5歳 富樫 迪来

ねぷたがえりはしでみつたかぶとむし

青森県平川市立金田小学校 1年 清藤吏珠夢

手のおへやひかっているよほたるがり

茨城県学校法人リリー文化学園リリーベール小学校 1年 藤本 瑚乎

ねころがるはるのどようびねころがる

東京都にしみたか学園三鷹市立井口小学校 1年 山本遼太郎

ひまわりはかがやいているきんメダル

岐阜県帝京大学可児小学校 1年 加藤 煌士

ひまわりのめいろをぬけたらあいつの野

福島県会津若松市立一箕小学校 2年 佐藤 柚妃

入学式ポニーテールがとびはねた

静岡県静岡大学教育学部附属浜松小学校 2年 原野 志緒

お父さんジョリジョリおひげいたうれし

佐賀県鹿島市立古枝小学校 2年 山口 蓮陽

夏の海じいじのせなかで夕日見る

長崎県長崎市立西北小学校 2年 野茂 蒼大

いもに会ベルトゆるめてもういっぱい

福島県会津若松市立城西小学校 3年 佐藤 実采

虫カゴをわすれてもどるひみつきち

埼玉県羽生市立羽生南小学校 3年 松本 七海

あじさいをぼんぼんたたたく帰り道

富山県南砺市立上平小学校 3年 北野 堪大

日の光トカゲのせ中にじ色だ

福井県永平寺町立吉野小学校吉野児童クラブ 3年 平田 菜月

たきすべりあの子もきつと青いしり

千葉県成田市立本城小学校 4年 中村 颯汰

おこられて家とび出せば鬼やんま

東京都北区立西浮間小学校 4年 高根 健太

暑い中くちびるじんじんトランペツト

新潟県巻サミト教室 4年 阿部 友凜

キリギリスじいじのいびきと輪唱だ

京都府ノートルダム学院小学校 4年 根来 真舟

落ちたせみステンドグラスの羽になる

山口県周南市立久米小学校 4年 藤井 琴子

山登り六等星をながめたい

大分県津久見市立青江小学校 4年 梶原 佳子

願いごとまどに一輪桜草

埼玉県加須市立花崎北小学校 5年 五十嵐 和

くちなしの白が匂うよ寺の庭

愛知県岡崎市立矢作南小学校 5年 酒匂 栞里

下校中霧でかくれるランドセル

広島県東広島市立平岩小学校 5年 古川 蓮

船に乗り飛魚がとぶふねもとぶ

佐賀県鳥栖市立弥生が丘小学校 5年 石原 煌晴

ねむってる子ねこの耳に花びらが

秋田県由利本荘市立西目小学校 6年 斎藤いおり

十年前祖母が種まきびわ実る

埼玉県春日部市立中野小学校 6年 坂本 実優

赤ちゃんの親ゆび小ゆびつくしの子

東京都足立区立中川北小学校 6年 七尾 葵

雨上がりひまわり一つ虹一つ

長野県長野市立南部小学校 6年 中嶋 心

風ふいて早苗と私の髪ゆれる

岐阜県恵那市立串原小学校 6年 安藤 優希

風りんは風が呼んだらすぐ返事

兵庫県明石市立明石小学校 6年 座古 大輝

雪積もるたて穴住居作ろうか

広島県ぎんがの郷小学校 6年 寺岡 慶

まけるものかおへんろさんと山のぼり

高知県土佐市立高岡第一小学校 6年 井上遼太郎

入選 北海道

| | | |
|-------------------|----|-------|
| ありさんもあつくて足がへとへとだ | 2年 | 小栗 聖名 |
| どうしたのはたけのいちごみのらない | 2年 | 長南 璃音 |
| 夕やけで光のぼらが水をあび | 2年 | 平山 柚巴 |
| 雪とけて虫がわいたよいい土だ | 3年 | 伊藤 稜琉 |
| 夜空ねジャイアンの顔でてくるよ | 3年 | 山本 悠元 |
| 話し声セミが鳴いてて聞こえない | 5年 | 池下 椋 |
| らんしまの海には人がいっぱいだ | 5年 | 櫻井 悠矢 |
| 青春よくなるなら来いよここに来い | 5年 | 笹原 麻央 |
| 夏フェスでBIGBANGが踊ってる | 5年 | 戸澤美八姫 |
| 雪遊び大きなケーキに飛び込むぞ | 5年 | 松村 咲羽 |
| 夏の夜みんなでみたよ流星群 | 5年 | 三上 夏恋 |
| ひまわりは地球の中の太陽です | 6年 | 今岡 奨護 |
| 夏休み花火みたいに終わったね | 6年 | 佐藤 美妃 |
| クラゲたち柔軟体操プカプカと | 6年 | 杉原優里菜 |
| アリ達はアイスが落ちるの待っている | 6年 | 高 潤成 |
| 桜咲き自分の気持ち新しく | 6年 | 武田さつき |
| 見えちゃったふまれたア리가天国へ | 6年 | 平野 悠人 |
| 子どもの日女子も一緒に参加します | 6年 | 松村 心優 |
| さくらみてあのころおもいなみだでる | 6年 | 村中 杏心 |

青森県

| | | |
|----------------------|----|-------|
| ながしそうめんいっぽんもとれないいらいだ | 1年 | 大谷 夢源 |
| ほくのゆかたすいかのようかつこいい | 1年 | 木村 春輝 |

夏の夜かねのれんしゅう八時まで

さおよりも手づかみしたら大りょうだ

かべむいてさいたまわりへそまがり

海と空ほくのうきわと同じ色

後ろからヤーヤードーとさけぶ声

はたけにねりんご見にくままだだ

入道雲でかいやつほどよく見えず

ねぶたでさ南田中にまた負けた

口開けてテレビ見るくせ祖父ゆずり

弟が背を向け海へ走っててく

夏休み高知に帰るとねこがいる

新幹線行きだけだけ乗ったんだ

岩手県

あさがおにひるよるがおもあるなんて

すいかわりバンバンわるよどいててね

夏の朝目ざましがわり牛の声

凧が家のすみまで入りゆく

宮城県

鈴虫は朝夕二回コンサート

毎日のとんぼの音に鳥の声

雨上がり消えてく虹に手を振って

工藤 菜桜

須藤 光輝

高田 唯花

小向 陸

岡本 大河

小野 舞

宮崎 葵

西谷 元貴

小倉 悠里

長尾 柚彩

花田 舞

山口 遥香

川村 康祐

佐藤 統

小野寺有久磨

千葉 丈瑠

鈴木 蓮音

高橋 志帆

杉山 晏奈

秋田県

| | | |
|--------------------|----|--------|
| あさがおのつるはくるくるだんすする | 1年 | 中山 知優 |
| じてんしゃでつばめとかぜをかきわける | 2年 | 大高 慧大 |
| せみたちがあつまりめいめいけん言う | 2年 | 佐々木 渚咲 |
| おつきさまはんぶんたべたうみのおと | 2年 | 鈴木 芽愛 |
| くわがたをいっばいつかまえけらいにす | 2年 | 田村 彩栞 |
| 田うえしてこしがいたくて歩けない | 2年 | 柳橋 耀 |
| せみのこえそろってそらをひろくする | 2年 | 米森 永琉 |
| すずめたちすだつすずめとすずめうた | 2年 | 米森 菜々 |
| すいかわり火星のようにあるすいか | 3年 | 信太 美舞 |
| リコーダーいきのいれかたせみにきく | 3年 | 芹田 愛 |
| 氷水カラコンコロンとゲタの音 | 3年 | 三浦 愛永 |
| へちまの葉二階のまどまでこんにちは | 4年 | 蛭名 りさ |
| つなひきは草とるリズムでかつちゃった | 4年 | 奥村 唯月 |
| 友だちとアイスクリーム倍うまい | 4年 | 鈴木 漣 |
| 鳥の巢に鳴き声風りんひびかせて | 4年 | 館山 愛 |
| 明るいはたるもつと世界を幸せに | 4年 | 福田 心和 |
| ふうりんと風の音とがつながった | 4年 | 柳橋 理奈 |
| 友だちのいとこ見つけ虹見つけ | 5年 | 金平 仁南 |
| 春の風みんなの家をノックする | 5年 | 佐藤 響 |
| かきとるぞわかめのなかでかくれんぼ | 5年 | 菅原 忠晴 |
| ぼんおどり君も一緒に輪にとける | 5年 | 高橋 湊 |
| 田植えしてしつけひろがる本の中 | 5年 | 田村 治豊 |
| 夕焼けこやけ失敗したって大丈夫 | 5年 | 内藤 心彩 |

熱帯夜バトンタッチで星月夜

ふうりんの音で休みをおくらせる

バスケット負けた悔しさモズが知る

山形県

たんぼぼがおはなししているおひさまと

すなのいえなみがこわしていつちゃった

さかなつりえさだけたべてにげたかに

おとなきぶんおはなもようのゆかたきて

ほったたにかぜがあたるよかけっこだ

べにばなのきいろとオレンジまざってる

ひこうきぐもでつかいへびだよそらのうえ

クロールでかまきりみたいにおよいだよ

あまがえるたんぼのくさをつかんでた

さるやまにえさをなげたらおおさわぎ

てをぐーにちからをためてヨイドン

わたあめはちっちゃくなつてまだあまい

プールあそびあめんぼさんいっしょだよ

太陽がふり向き笑う真夏日だ

福島県

なつやすみどりをかかってもらったよ

さんにはなはなびみあげるたんぼみち

にらのはなはなびみたいにはじけてる

渡部重依子

今井 愛

大高 瑠華

安部 華衣

安部 結心

衣袋 暖人

海老名 英

大滝 友彩

小川 聖稀

奥山 新

竹田 圭吾

橋本 奏優

森 レイン

梅津 瑠鏑

佐藤 颯人

原田 哲慎

大和 紗也

佐々木 杏菜

佐藤 琉生

高桑 秀弥

| | | | | | |
|--------------------|----|-------|--------------------------|----|--------|
| あさがおにたまねぎみたいなたねできた | 1年 | 二瓶 楓太 | どんぐりをひろってほくもころがった | 4年 | 山田 俊介 |
| くわがたよどこからきたのこのいえに | 1年 | 二瓶 耀太 | 冷房をつけてつけてと大いばり | 5年 | 阿久津 伶那 |
| ねをはってまけるないなほ台風 | 2年 | 岩永 羽叶 | 曇天を飛行機突き抜け光る雲海 | 5年 | 黒子 結衣 |
| にじさしてとなりの町がちかくなる | 2年 | 大腰 奏 | ふうりんよ君がいるとねすずしいよ | 5年 | 小林 雄飛 |
| ことしこそ13メートル泳ぎきる | 2年 | 大澤 礼佳 | 朝焼けを見ながらかよう部活動 | 5年 | 長命みなみ |
| セミのこえ木にちかづくとなきやむよ | 2年 | 長嶺 真心 | ほっこりと猪苗代湖の夏の風 | 5年 | 星 琉太 |
| にじがでたさわってみたいと手をのばす | 2年 | 星 翔真 | 夏休み 宿題・部活 上り坂 | 5年 | 山田 理功 |
| 妹と貝をさがした夏のなみ | 2年 | 室井 優 | 夏の夜は川の字 親子上の字に | 5年 | 渡部ひな子 |
| 夏休み母さんじごくさけん | 2年 | 渡邊 心美 | 冷ぼうがいつでもどこでも動いてる | 6年 | 重松 駿輔 |
| 夏休みあせをかくまで泳ぎたい | 3年 | 大塚 侑希 | しいたけに虫たち集まり雨宿り | 6年 | 鈴木 麻奈 |
| 行れつにまだまだならぶかき氷 | 3年 | 小林京一郎 | | | |
| タオルでもふけないくささ夏のあせ | 3年 | 永田 璃恋 | | | |
| 花火見てぼくの目の中まんげきよう | 3年 | 新井田晴斗 | 茨城県 ふとんでねふつといきすうすずむしだ | 1年 | 湯浅 凜香 |
| にじのはしわたってみたいブランコで | 3年 | 松村 愛弥 | 六月だいえのカレンダー 五月だよ | 2年 | 大久保 滉我 |
| 祖母の家けむりもくもく大花火 | 3年 | 渡部 智也 | どんぐりがめが出てのびたたのしみだ | 3年 | 糸賀 陽花凜 |
| あめんぼは田んぼの中で何してる | 4年 | 荒家 柑那 | ゆきだるまとけてしまいがともだちだ | 4年 | 足立 結菜 |
| 消しゴムが小さくなるよ夏休み | 4年 | 安西 優斗 | 夏野さい虫もすきだしぼくもすき | 4年 | 坂本 凌希 |
| せいくらべ太陽みたいなひまわりと | 4年 | 遠藤 歩 | 宇宙より母との愛は大きいよ | 5年 | 軍司 陽向 |
| サクラ咲くあつというまにおわかれだ | 4年 | 西山 陽菜 | ひまわりがもうつかれたと下をむく | 5年 | 青野 希弥 |
| あぶらぜみうちのあみ戸でひと休み | 4年 | 二瓶 紗葉 | 火わたりでおみこしかつきかけぬける | 5年 | 井関 穂稀 |
| パンとなる花火なるたびふりかえる | 4年 | 三富 俊輔 | コスモスはみんな笑顔をまってる | 6年 | 鴻巣 百夏 |
| しげみからにゅっと出てきたかたつむり | 4年 | 武藏 琳 | 雪がふり小さな命がおちてくる | 6年 | 増子 治那 |
| ひまわりとぼんだい山がせいくらべ | 4年 | 目黒壮多朗 | まっさおだなつといったらかいだんだ | 6年 | 茂木 日花 |
| 打ち上げる勉強花火やる気の花火 | 4年 | 山浦 匠翔 | | | |

群馬県

くわがたやじゅえきのまわりおまつりだ

3年 金井 涼芽

やじろべえしてるみたいに赤とんぼ

2年 永澤 佑太

埼玉県

しゃぼんだまそつとうえむけふいてみた

1年 阿部 春馬

夏の夜赤い金魚とまるい月

3年 泉 ひまり

からっぽのあさがおのはちなつおわり

1年 井上航太郎

かえるの子あちらこちらにかおを出す

3年 小澤 凜斗

きょうもだねかみなりさまがおこってる

1年 小林 大翔

あいうえおかけたよなつのおもいでだ

3年 野口ラファエル

たいようにまけないくらいまっくらだ

1年 関根 陸翔

夏まつり買って楽しい何ほしい？

3年 萩原 雄真

なつにするくぼりとうばんたのしいな

1年 関谷 美玖

とんぼがね気もちよくとぶそらのみち

3年 宮野 葵

ひやけたわたしのせなかしろうさぎ

1年 土門 そら

カブト虫つかいでかうのが一番だ

3年 村田 陽飛

台ふうはレコードみたいにまわってる

1年 弘末 大和

ほんおどりはずかしいけどいい気分

3年 渡辺 駿斗

あさがおがはなびのようにはなひらく

1年 柳川 李夢

台風が海をねじってやってきた

4年 新井 智也

うれしくて海へふくでとびこんだ

2年 浅輪俊太郎

冬の月見ている目まで丸くなる

4年 小川 愛里

あまのがわてんにあるのにしたにある

2年 石嶋 華

ひまわりとせいくらべしてまけちゃった

4年 河原 圭吾

あさがおが光みたいにひらいたよ

2年 石田 逢楽

春の風ぼくのぼうしが好きみたい

4年 菊池隆之介

こいのぼりぼくもいっしにあそびたい

2年 内田 暁

汗いっぱいぼくの体もとけていく

4年 君島 悠湮

入学しきおとうと見つけほつとした

2年 小野田彩空

夏の海キラキラ光る宝物

4年 桑原 健吾

せみさんがこっそりせ中でねちゃってる

2年 加藤里乃杏

新学期むねのつぼみが開く時

4年 武井 夢羽

春のかぜわたしのぼうしかぶつてく

2年 菊池 桃子

ひと休みてんとう虫がかたごしで

4年 知久 華音

カブトムシとんで宇宙へいきますよ

2年 齋藤小次郎

かたつむりわたしの友だちぼしゅう中

4年 傳田 瑞歩

ながしめんつるんするするおよいでる

2年 坂本 滯音

ぼんおどりやぎぶしとおく風に聞く

4年 長道 風雅

あり見つけぼくの手出したらかまれたよ

2年 篠崎慎之助

カエルみる社会科見学帰り道

4年 藤本 千寛

あついひはいえのなかにもあついかぜ

2年 田中 仁敏

木が恋し必死にふんばるカブトムシ

5年 内將 揮

入選

クワガタさん秋をまたずにしんじやった

2年 利根川大貴

取らないで生きているんだよサンゴ礁

5年 服部 駿

選入

| | | | | | | |
|-------------------|----|--------|-----|---------------------|----|--------|
| 昼ごはんそうめん続き不満顔 | 5年 | 矢吹 快仁 | 千葉県 | やまのぼりでこぼこみちであしがんばる | 4歳 | 岩城 琴音 |
| さくらんぼできばえのよいかがやきだ | 5年 | 佐野 琉惶 | | ロープウェイすれちがったらすぎていく | 5歳 | 中村 武尊 |
| 光さしやつと半そででてきたよ | 5年 | 岩田 琉奈 | | ロープウェイみずいろのそらにとどきそう | 5歳 | 中村 優里 |
| 夏休み青白オレンジ緑かな | 5年 | 内野 唯衣 | | あついできもちよかつたふかいもり | 5歳 | 堀 大和 |
| 朝おきて自然のかおりねむくなる | 5年 | 栗原 杏奈 | | なつやすみはじめてスイカそだてたよ | 1年 | 高濱 三輝 |
| つゆになる植物しずかに笑ってる | 5年 | 島 茉子 | | 今のぼく化石とかぞくたからもの | 2年 | 野原 岳 |
| 肩もんでみんながよろこぶ私の手 | 5年 | 鈴木 花音 | | 夏休み思い出のこるなみの音 | 2年 | 松本 結衣 |
| ひまわりのおいをかいでほっとする | 5年 | 田沼 聖弥 | | ま夏の日遠くがもやもやしてるみたい | 2年 | 遊佐 柚紀乃 |
| 昼食のサラダの色も夏の色 | 6年 | 安田 海里 | | えん天にほう作ねがいみこしもむ | 3年 | 飯高 雅喜 |
| サツカーのキャプテンの夏ぼくの夏 | 6年 | 井野岡 諒哉 | | がんばったランドセルにも夏休み | 3年 | 家高 恋々菜 |
| 足もとに小さな穴が春や来る | 6年 | 今地 佑来 | | つかみどり魚とぼくとちえくらべ | 3年 | 北村 樹 |
| 青空でねむって夏を終わらせる | 6年 | 江口 向介 | | どぶのなかかにかわいいわいかくする | 3年 | 仲村 卯衣 |
| 自転車がかもたちみんなの家になる | 6年 | 大島 愛叶 | | かぶと虫メスが死ぬ前ダツピする | 3年 | 山口 清翔 |
| 夏休み来ないでくれとお母さん | 6年 | 佐竹 颯太 | | 白鳥座よりかかると見つけたよ | 4年 | 貝原 或空 |
| 桜の木幼い頃のあの香り | 6年 | 島田 涼音 | | おはかにね弟が行くなむなむな | 4年 | 小林 舞乃 |
| 夏暑く地面ゆがむが平常に | 6年 | 滝本 陽大 | | しゆくだいはなびのようちちつてくれ | 4年 | 中島 宏美 |
| 夏の風まだ見ぬ明日をつれてくる | 6年 | 土屋くるみ | | つばめたちくからくにへひとつとび | 4年 | 前川 紗里奈 |
| 夏の朝大きな空とセミの声 | 6年 | 七澤 美久 | | さくらんぼいつでも赤い二つの実 | 4年 | 宮内 花漣 |
| 夏休みあけて学校席どこだ | 6年 | 藤井 皓平 | | あおいそらにゆうどうぐもおいしそう | 5年 | 福田 春菜 |
| 試験後の夜空に光るかんむり座 | 6年 | 松本 陽向 | | ひまわりが笑っているよ夏の空 | 5年 | 石井 誠生 |
| 祖母の家いちご畑が夢のよう | 6年 | 山岸さくら | | 春の山白いほうしをぬぎすてた | 6年 | 塩澤 寿昭 |
| 夏服に汗がにじむよ思い出も | 6年 | 山本 桃子 | | アイスをねぼくとたいようはんぶんこ | 6年 | 渡慶次 凜 |
| 太陽がしずんで海とまじりあう | 6年 | 吉岡 莉央 | | なつやすみせのびしているおんどけい | 6年 | |
| 海のとこかおとからだがだつぴする | 6年 | 吉田 汰楼 | | | | |

東京都

入 選

| | | | | | |
|--------------------|----|-------|---------------------|----|-------|
| ころんでもじつとみつめるありのみち | 3歳 | 井上 寛子 | ゆうだちがザアザアゴロゴロ大がっそう | 5歳 | 山本 結々 |
| プールでねブクブクジャポンもぐれたよ | 3歳 | 茶木 一 | はなびよりよるのこうえんあそびたい | 6歳 | 池永 雅虎 |
| すいかたベシヤツにおひさまできました | 3歳 | 三山政一郎 | つかまえたとのさまバツタとおにごっこ | 6歳 | 川上虎太郎 |
| ゆうやけのまっかつかあははれサイン | 4歳 | 窪田 啓吾 | かわざかなぬるぬるしててすぐにげる | 6歳 | 寺井 愛莉 |
| かぜさんがかくれんぼするかえりみち | 4歳 | 齋藤 航 | おおはなびおおきなおとでまどゆれた | 6歳 | 長谷川剛毅 |
| かみなりはおそらにせんがはいってる | 4歳 | 中村 亮太 | もりのなかしんじゆのような白かばだ | 6歳 | 松本 晴人 |
| ほじくるとすいかのたねがにげちゃうよ | 4歳 | 長谷川 魁 | すいかわりみんなのぶんもわれるかな | 6歳 | 渡辺 栖名 |
| はまべからてをふるママはかにみたい | 4歳 | 服部 真和 | かわあそびさかながいたよいしみたい | 1年 | 長谷川真由 |
| トカゲのこしつぽのあおはなつのいろ | 4歳 | 山越恵理佳 | つるつるのいるかがならぶうみのうえ | 1年 | 村井 啓乃 |
| ひまわりとせくらべしたらほくまけた | 5歳 | 漆畑凜太郎 | どんぐりをすなのケーキにかざったよ | 2年 | 上野 結陽 |
| かきごりのんびりしてたらあれジュース | 5歳 | 岡田 愛彩 | こおろぎがくさの中にはいつてた | 2年 | 小俣 桃花 |
| おおあめでばすのまどにはたきできる | 5歳 | 片岡 賢呀 | いなわしろこひしのみひろった水あそび | 2年 | 折笠 康武 |
| あめポツリはなのあたまにぶつかった | 5歳 | 木村 元就 | 風のひだぼくはかるくてふつとびそう | 2年 | 齊藤 暢人 |
| くものりいつてみたいなにじのそば | 5歳 | 草場 紳 | サンダルをはいたとたんむねいっばい | 2年 | 齋藤 優衣 |
| せみさんのぬけがらよるにうごくかな | 5歳 | 小池 絆 | 切れかけのでんきみたいなたるだね | 2年 | 坂本 愛波 |
| はちさされまますわれてこわかった | 5歳 | 高 壮助 | おまつりのおとがいえまでとどいたよ | 2年 | 澁谷 瞳 |
| ゆうだちでかさがいっばいあせかいた | 5歳 | 櫻井 仁菜 | 夏の海なみが小とりにささやくよ | 2年 | 根本 風花 |
| おじいちゃんみえないけれどいるんだよ | 5歳 | 澁谷 宗大 | ふしぎだなおくへ行くほど青い海 | 2年 | 長谷川瑛怜 |
| きんめだるどうしてみんなないてるの | 5歳 | 下川路心理 | 夏休みひこうきのつたテレビ見た | 2年 | 松井佐和子 |
| やきそばのゆげがどんだんあがつてく | 5歳 | 多賀 亜子 | 白いかべのろのろ上るよなめくじが | 2年 | 村上 勇斗 |
| びっくりだせなかがわれてセミがでた | 5歳 | 橋詰 翔太 | みずあそび水のつかいすぎきをつける | 2年 | わたべ歩風 |
| よぞらみてせんべいみたいおつきさま | 5歳 | 藤原 嶺乃 | 夏の風ほほにあたるとなつかしい | 3年 | 阿部未紗也 |
| よるおそくくわがたいっばいみつけたよ | 5歳 | 山口 遥大 | よさこいで鳴子をチャツチャカ鳴らそうよ | 3年 | 遠藤 花 |
| | | | 夕やけが大きな顔で町みはる | 3年 | 大桃 悠汰 |

入選

| | | | | | |
|--------------------|----|----------|-------------------|----|-------|
| にゆうどう雲光かがやく空の上 | 3年 | 岡本 華奈 | れいぞうこ何回見てもおんなじだ | 4年 | 木村 優太 |
| 夕やけがオレンジ色に家の上 | 3年 | 小野恵太郎 | しいたけはお人形のかさみだい | 4年 | 近藤 聡美 |
| じいちゃんの大きななすも草むらに | 3年 | 加賀 綾乃 | 雨ふれば草が光るよ秋の道 | 4年 | 坂井 日葵 |
| 入道雲モクモク白いプードルだ | 3年 | 笠原 沙文 | あつい風私のはだをとおりぬける | 4年 | 白井 乃杏 |
| かぶとむしとぶかとばぬかかんがえる | 3年 | 片山 智貴 | かきごおり口に広がる夏の空 | 4年 | 高橋 心優 |
| くさぶえのおとがびびくなよるのそら | 3年 | 加部 叶恵 | 福島のがしそーめん竹の味 | 4年 | 田中友笑和 |
| 暑い日もドッチボールはかかせない | 3年 | 北村つむぎ | おりてまた駅のベンチでラムネ飲む | 4年 | 中村 幸太 |
| 桜さくみんな一級あがる朝 | 3年 | 金 舜珠 | 足湯して秋のちようちよも飛んできた | 4年 | 西村 健一 |
| そうめんが体の中ですべりだい | 3年 | 木村 成 | 雲の間に光ささやく夏の空 | 4年 | 松永 琴美 |
| どこにいる一人いないぞさくらんぼ | 3年 | 越川 詩音 | かかし建て人間代わりになれるかな | 4年 | 峯村亜麻仁 |
| つちのなかせみはまだかとのぞきこむ | 3年 | 小室 結愛 | 秋の海なみだといっしょに流れてく | 4年 | 結城 凜桜 |
| ふうりんとなこといっしょにひるねする | 3年 | 佐伯 穂果 | 衣替えこれはあそこであれはそこ | 5年 | 天野水優子 |
| かぶとむしメスはしょくよくおせいだ | 3年 | 酒井 凜 | 夏祭りチョコバナナ手におどりだす | 5年 | 井戸 聖哉 |
| ことしこそぜったいみるぞあまのがわ | 3年 | 竹田早桜子 | ハイキング風に押されて大仏へ | 5年 | 加藤 光 |
| ひまわりのめいろをあるくいもうとと | 3年 | 田部井咲歩 | なつやすみどこかで誰かが泣いている | 5年 | 北野 裕貴 |
| 梅雨の花雨つぶぼつん光る花 | 3年 | 南條 友輔 | 太鼓の音僕の心を衣替え | 5年 | 沓澤 拓 |
| ゆきだるまどつちが多く回せるか | 3年 | 野邊 宙音 | 遠泳や浜でエイコラさけぶ声 | 5年 | 後藤 拓人 |
| 夏休みかぜがふくたびいい笑顔 | 3年 | 山岡優佳理 | 花火はねさいて散ってく花びらだ | 5年 | 酒井璃桜音 |
| 九才のあらしの中のたんじょう日 | 3年 | 吉田 柚 | 夏まつりカメのあかちゃんひろったよ | 5年 | 塩川 善 |
| カブト虫昔のサムライ男前 | 3年 | 依田 泰基 | 朝づけのきゅうりをかじると元気です | 5年 | 白山みおん |
| 海開き一番のりに海入る | 4年 | 阿部 琉生 | 春がすみ緑黄緑目にうつる | 5年 | 鈴木 梓 |
| はやおきでつかまえたんだカブトムシ | 4年 | ウリアム文昌 | 夏の川投げた小石が水を切る | 5年 | 田中 友梧 |
| 台風よ学校休みにしておくれ | 4年 | 内沼 誠治 | 母よりも私に優しいせん風機 | 5年 | 永原 凜 |
| ちいさいつきえたらたいへんスケチブク | 4年 | オニールミランダ | かきごおり食べて見せ合う青い舌 | 5年 | 布浦 幹子 |

入 選

| | | | | | |
|-------------------|----|-------|-------------------|----|-------|
| 大仏へ新緑の中進み行く | 5年 | 廣田 美雨 | 夏休みとうとうきたか大変だ | 6年 | 渡部心太郎 |
| 青森の夜空輝くたちねぶた | 5年 | 法師濱心結 | | | |
| きばせんでうえにのれるかしんばいだ | 5年 | 三宅 亮 | 神奈川県 | | |
| 久しぶりきゅうりの馬でさいかいだ | 5年 | 横山 若菜 | かようびのあさはがぬけたうれしいね | 1年 | 小磯 新大 |
| 大夏木風に体をくすぐられ | 5年 | 若槻まなみ | ひまわりがなつにびかびかわらつてる | 1年 | 佐藤 由弥 |
| 円周率のように終らぬ宿題だ | 6年 | 北岡 滯奈 | なん日もパパといられる夏休み | 2年 | 青山 夏穂 |
| 夏深し体になじむ打法かな | 6年 | 青柳 幸樹 | けんじゅうを買ってもらった夏まつり | 2年 | 秋山 奏音 |
| ヒマワリが先頭となり原に立つ | 6年 | 雨宮 瑚子 | でん車からじいじのいえが見えてきた | 2年 | 島田 悠也 |
| 夏祭り明るい屋台が立ち並ぶ | 6年 | 海老原 雅 | 夏のくもおよぐわたしをながめてる | 2年 | 渡邊 風紗 |
| 夏の川父がとびこむ波が立つ | 6年 | 大山 りせ | いきつぎをすればするほど水をのむ | 3年 | 山田 匠海 |
| 梅雨明けは空の涙が枯れる時 | 6年 | 加藤ほの香 | むらさきのあじさいかがやくビルの道 | 4年 | 柏木絵理子 |
| 炎天下ソーラーパネルもあつくなる | 6年 | 川井 晴子 | なすの実がたくさんなつて飛び上がる | 4年 | 樽角 泰青 |
| 腕に蚊の大三角のできた夜 | 6年 | 川島 希愛 | 江の島でやつと河童になれた夏 | 5年 | 岩崎佑利乃 |
| 秋の風悲しい風がいつもふく | 6年 | 黒澤 優奈 | 学校に行きたがつてるランドセル | 5年 | 小此木美乃 |
| 田舎でね風鈴鳴くとおちつくな | 6年 | 鷺谷 樹生 | 夏休み家の中には小ばえいる | 5年 | 久保田和樹 |
| 春寒し三度こわれたランドセル | 6年 | 佐藤 桃香 | 道東の陽炎追ってどこまでも | 5年 | 齋藤ほのみ |
| さつまいも中をあけたらお月さま | 6年 | 根岸 望美 | 雪だるま一人悲しく立っている | 5年 | 大洞 桜子 |
| 山眠る一緒の布団で動物と | 6年 | 堀内 佑 | さとうきびいつかあの背を越えたいな | 5年 | 稗田 璃子 |
| 夏風はぼうしのぬい目を抜けていく | 6年 | 本多 瑞生 | かつお節たこやきの上夏祭り | 5年 | 町田 望音 |
| 朝食のパンと比べる秋の腕 | 6年 | 松平 彩花 | ドバイの地金市場には星盛り | 5年 | 松永 留杏 |
| 夏のばくふを聞きたまえカブトムシ | 6年 | 安村 竜晟 | 夏の日は夜空に消える花みたい | 6年 | 浅井 美紅 |
| 映画館には空気の布団がある | 6年 | 山口 望 | ひやけして友達顔別人だ | 6年 | 大谷 哲太 |
| あと二キロそう言われたら走り出す | 6年 | 山崎 滯 | 若葉の木こけのしづくにうつる影 | 6年 | 田辺 照恵 |
| 一人だけ歩いているのにぎやかだ | 6年 | 吉田 晴太 | | | |

入 選 富山県

ひかつてるトマトがならぶさらのうた 1年 辻 由紀乃
 せんとうのゆげがもくもくそとほ雪 2年 奥村 涼平
 なえうえるお水はいっぱいあげますよ 2年 傳田 忠
 行しんはまたやり直し春の風 3年 小熊 慧太
 春の風ほくもアシカもたかくとぶ 3年 北野らいや
 頭から足のさきまで水遊び 3年 高田 和武
 一人でねクッキー作る冬の午後 3年 中 碧泉
 声出して母と雪かきすすめてる 3年 長田なごみ
 かたたたき五分で十円春の夜 3年 林 倫子
 もうはなをつまんでないよ水の中 3年 般若 海鳳
 風りんのチリンと宿題あと少し 3年 広岡 柚希
 九九がまた止まってしまふ冬休み 3年 古川 聖
 おには外パラリと豆の音がする 3年 山崎 真鈴
 ストープの前をとりあうかゆくなる 4年 後藤 菜桜
 リフティング百回できた夏が来た 5年 前田 裕生

石川県

かぶとむしきりかぶのうえすもうする 1年 古澤 奏多
 あきのみずさかなみじたくいそがしい 2年 広田ゆうな
 ひまわりの見つめる先に笑う君 5年 達 愛紘
 手に乗せて梨のあまさを思い買う 5年 福井 隆介
 自転車のかみなびかせる爽やかさ 5年 干場 珠李
 家の猫蟬をくわえてやって来る 6年 池田 凜

福井県

ほしきれいきらきらひかるねがいごと 1年 石垣 利桜
 あさがおさんたねをもちあげちからもち 1年 川口 聖人
 さつまいもはっぱがいっぱいありますよ 1年 義野 里桜
 とうさんたらじおたいそうてをつなぎ 1年 高山 陽太
 さようならたのしかつたねすいかわり 1年 山口 真央
 かぐやひめ月に今でもいるのかな 3年 川口 日葵
 一メートルプールの中では十メートル 3年 酒井 こお
 暗い夜蛍が闇夜を照らし出す 6年 松山 泰己

長野県

カブト虫スイカの上でやすんでる 3年 林 煌一郎
 学校のキュウリを食べた太かった 3年 藤田のどか
 何何何? 台風かき消す友の声 5年 西澤 凜
 あじさいが葉から地面へ汗たらす 5年 端 新太
 風景に緑がふえる立夏かな 6年 鶴田 彩乃
 夏休み終わった後の映画館 6年 保坂 彩

岐阜県

くわがたのせなかのかたちたてみたい 1年 杉江 篤季
 おりひめはそれからわたしをみているよ 1年 前畑 有加
 かみなりだそらでせんたくしてるかな 1年 横田 栞奈
 げんばくで町のすべてがとばされた 2年 安宅 智哉
 そとあそびあせだくなのはほくひとり 2年 大野 未来

春の日にばらばら雨がふってくる
 2年 かたきりひなた
 らくだやまらくだみたいだ夏の空
 3年 長濱 誠治
 滝の音すべてを消して流れてく
 4年 岩田 虎士
 五月空ひこうき雲が重なった
 4年 河村 朋亮
 花ふぶき休み時間を知らせませ
 4年 三宅 英暉
 イチヨウの葉虫たちはおる葉のふとん
 5年 中島 大介
 稲刈りのギギギギギと音が鳴る
 5年 青木 都航
 真っ黒な空にとけこむ花火かな
 5年 今井 瑞樹
 花火とは登っては散るものなのよ
 5年 大島 葉月
 せみの声残りの課題追いつめる
 5年 加藤 瑚々
 そとみればまちにひろがるなつのいろ
 5年 武井 心暖
 あきあかね光るぶたいでパーティーだ
 5年 中原 直寛
 れいぞうこドアをあけても夢はなし
 5年 藤井 悠牙
 かき氷口を開けたらみどり色
 5年 吉村 優希
 雨ガエル合唱しているほくが指揮
 6年 河端羽瑠夢
 夏の寺昔のにおいまだ残る
 6年 神代 一輝

愛知県

かぶとむしおとうとみたいちからもち
 1年 坂部 遥香
 チューリップいっぱいあるよ水やろう
 3年 安藝 将真
 木のしたでつつたつていたはりねずみ
 3年 飯田 美雪
 かぶとむしよるのよりみちぼくのとき
 3年 石上 優斗
 けむしさんくつつかないで桜の木
 3年 瀬戸さくら
 せみの声頭にひびく夏休み
 4年 今井 慶太

五月晴空のキャンバスえがく雲
 5年 太田 咲希
 せんぷうきつけたら猫があつまるよ
 5年 笹田夕姫乃

三重県

太陽がライオンみたいでぞつとする
 5年 浅野 琴音
 ほたるさんちいさいあかりもちあるく
 6年 小川 彩花
 キャンプの日リュック忘れて大さわぎ
 6年 田中 陽也
 ひめくりはめくりたくないなつやすみ
 6年 山中 彩華

滋賀県

あさがおでいろみずつくつてじゅーすやさん
 1年 岩田 篤彦
 さきゅうをねのぼるわたしはありじごく
 4年 井上 琉璃
 うちの庭家庭菜園はじめたよ
 4年 白子 奈琉
 夕闇に香りで気付いた月下美人
 6年 伊藤 杏華
 手で汗をぬぐう回数減ってきた
 6年 奥元 春菜

京都府

暑い日にゴーグルつけてパンダだね
 4年 西田丈之助
 星たちのきげんの良いとき流星群
 6年 藤原あやの

大阪府

春の歌ひびかせながら歌うんだ
 3年 中島満美子

入選
兵庫県

あぶらぜみはねがすべすべしていたよ
スカートのフリルみたいださるすべり
夏の海サファイアみたいさわりたい

鳥取県

とまとのみはたけのなかのしんごうき
つばめがねおはなししてるまどのそと
あさがおがはっぱの中からか出した
春の野は花 いっぱいの美容院
焼きたてのパンの香りだ春の風
運動会カメラに残るその笑顔

広島県

はかまいりだいじなひとにあいにいく
かぶとむしぼくがおきるとねているよ
なつのうみゆらゆらひかるふらだんす
かぶとむしつのがおれてもおとこのこ
なつやすみひとりぼっちのらんどせる
ひよどりがとまとねらつてやつてきた
なつまつりみんなのあしがはねている
ぼくのかおひやけたあとおんだがお
つかれてもまだまだあそぶなつやすみ
ぼんおどりそらのおじいちゃんよんでくる

新しい一年生にやさしくね

はるのかぜあたたかやわらかいきもち
アサガオはまいあさひらくとけいだね
プールでねぼくのからだはオセロだよ
ゆかたきてよるをたのしむおんなのこ
夏のうみはぬるい海だなどこでもあつい
ひかっいたらかみなりがなるなんだから
かみなりはとおくにおちるこわくない
あきの風きんもくせいと手をつなぐ
プールでねいるかめぎすげのびした
おじぎそうチョンとさわればペコリンコ
夏野さいすずしいかおりで人をよぶ
げたの音きけばきくほど夏ちかづく
ぼくのあせたくさん出るよ人つてすごい
野球場見ている人もあせをかく
いねのせがぼくに近づきおじぎする
風がふくゆられてかえるなきだした
夏休み外がきらきら光ってる
あついで日に金魚のなかまになりたいな
夕やけの空はピンクだフラミンゴ
天気よほう夕立ちなんか聞いてない
あさどりのトウモロコシはミルクあじ
かぶと虫五百円をはこべるか
すいかわりわたしが最ごにわってやる

| | | |
|----|-------|-------|
| 2年 | 宮崎 愛里 | 沖本 健悟 |
| 2年 | 山崎 愛弓 | 桑名 晏寿 |
| 3年 | 寺本 大地 | 高橋 絵史 |
| 1年 | 中嶋 悠介 | 富田 鷹翔 |
| 1年 | 藤田 彩花 | 中村 彩里 |
| 2年 | 木原 光葵 | 西山 啓太 |
| 5年 | 有田 寧音 | 濱長 大雅 |
| 5年 | 牛尾明日香 | 原田 成大 |
| 6年 | 原 鈴香 | 樋村 橙子 |
| 5歳 | 栗川 梓乃 | 矢野星輝瑠 |
| 1年 | 宇野 太陽 | 朝野 結衣 |
| 1年 | 折田 悠希 | 生田 莉央 |
| 1年 | 唐木田悠人 | 池田 百菜 |
| 1年 | 佐々木珠緒 | 王 東 灝 |
| 1年 | 土井 悠哩 | 大谷 秀人 |
| 1年 | 長野 龍瑛 | 川下 乙希 |
| 1年 | 松森 遥万 | 桐林 邑 |
| 1年 | 森広 充皇 | 坂本 亜衣 |
| 1年 | 吉光 悠翔 | 下宮 心瑛 |
| | | 下間 春一 |
| | | 白井 晴菜 |
| | | 瀬川 洋輔 |
| | | 滝沢 謙 |
| | | 田中 碧羽 |

入選

| | | | | | |
|--------------------|----|--------|---------------------|----|-------|
| かきごおりなだれがおきるエベレスト | 3年 | 田中 優治 | ひまわりが空をながめて休けい中 | 5年 | 奥迫 愛裡 |
| おとうとききゅうりをもいでたべるあさ | 3年 | 辻坊 樹 | 日焼けしてぼうず頭がいたすぎる | 5年 | 北村侑之輔 |
| 海にきて泳いでみたらどろ水だ | 3年 | 平野 竜惺 | あじさいや水てきかかえ波の音 | 5年 | 河本 清伸 |
| すいかわりすいかわれずにぼうおれた | 3年 | 向井 美尋 | ほたるたち葉っぱのうらでライトつけ | 5年 | 小西 紘人 |
| 勝ってやる運動会がほくをかえ | 4年 | 井元 大輝 | あじさいのぬくもりかんじる六月だ | 5年 | 新名花桜里 |
| アルタイルねがいをたくす未来へと | 4年 | 潮 權宜 | 風りんが風をそおとつかまえた | 5年 | 助信 采音 |
| 若葉風かなしい心もっていけ | 4年 | 神森 咲春 | ふみいるとすぐそこにいる夏の虫 | 5年 | 鈴川 愛依 |
| すいかをねたべたらうんこに種発見 | 4年 | 佐藤 友哉 | にじ色がまどから入るシャボン玉 | 5年 | 立花 碧羽 |
| 犬と母せんぶうきの前動かない | 4年 | 田辺 颯乙 | 家の 中 雨 音 だけ で 曲 作 る | 5年 | 二瀬 未唯 |
| 夏まつり金魚とわたしのにらめっこ | 4年 | 中富こゆき | ゆめをおき思い出おけよ花火たち | 5年 | 平林 剛 |
| 対決だにゆうどう雲にかなわな | 4年 | 中本晃太郎 | 夏の空星座と花火の二重奏 | 5年 | 細川 竣也 |
| 休みまでまだまだ遠いひやそうめん | 4年 | 中谷 美空 | 空高く入道雲が壁作る | 5年 | 三木 晴登 |
| 氷菓子わたしの帰り待っている | 4年 | 前田 佳純 | 夏野菜虫が付いたら食べごろだ | 5年 | 水戸 静香 |
| ベルセウス一秒につめるねがいごと | 4年 | 前田 麗乃 | にじの橋妖精運ぶ金のつぼ | 5年 | 三好 桜子 |
| やきいもはけむりをつつみめしがれ | 4年 | 増田向日葵 | かぜのおとくさもつられてそよそよと | 6年 | 井手口陽一 |
| なつのうみあわといっしょにもぐったよ | 4年 | まつさきかな | 海の中キラキラ光っておよぐんだ | 6年 | 井上 浩明 |
| ゆめの中きれいな音色すず虫の | 4年 | 松島 莉里 | 夜になる虫の音色でいいねむり | 6年 | 岩根 佳佑 |
| む者人形ざらりと光るその刀 | 4年 | 水野 翔太 | 雲の峰何があるかな向こう側 | 6年 | 大隣 僚佳 |
| ミニトマトまっかなかおであつそうだ | 4年 | 吉本 玲菜 | 日に焼けて体全体土の色 | 6年 | 梶村 亮太 |
| 運動会流したあせは勝利へと | 5年 | 穂丸 歩夢 | あめんぼがきれいな空を渡りゆく | 6年 | 金子 萌 |
| 川遊びかにといっしょに横歩き | 5年 | 圓東 瞳 | 春になるトキ色の雨ふらす時 | 6年 | 金田 颯太 |
| つばめの巣とつぜん消えた子どもたち | 5年 | 緒方 誠士 | チューリップ次見る時は中学生 | 6年 | 木原 瑠渚 |
| ゆかたきて横顔そろえて花火みる | 5年 | 岡村紗也加 | 夏休み笑った日々が思い出だ | 6年 | 酒井 姫来 |
| かえりみちよびよせているかげろうが | 5年 | 岡本 悠花 | 真っ黒なありの体を日は照らし | 6年 | 篠原 葵衣 |

選入

| | | | | | | |
|--------------------|----|-------|-----|--------------------|----|-------|
| 打ち水で気付いた時には芸術家 | 6年 | 新良貴朱里 | 愛媛県 | あたらしいおうちがたったわかばかせ | 1年 | 曾根 葵 |
| セミが見る夏の青空七日間 | 6年 | 鈴川 陸実 | | にめえとるありのこうしんすみかまで | 1年 | 平家 歎祐 |
| ふく風が衣がえだと伝えてる | 6年 | 世良 萌 | | おてだまがいつかいできたなつちかし | 1年 | 渡邊 海翔 |
| ひまわりがメガホンかかげさげんてる | 6年 | 高橋 紗菜 | | お日さまがみんなのかなしみふつとばす | 2年 | 池田 萌花 |
| ドキドキだ花火が上がりひと安心 | 6年 | 館上 和季 | | たいふうにせなかをおされゆうきだす | 2年 | 熊田 葵 |
| いいにおい小さい花火がおちていく | 6年 | 津川さくら | | スイカわりとびちるしるにわらうほく | 2年 | 村上 司 |
| 夏の風教室通りあいさつを | 6年 | 津川美実乃 | | 日記ちよう思い出はみ出る夏休み | 2年 | 山田 昌季 |
| 台風のりレーがはじまりおのおさわぎ | 6年 | 寺尾 智也 | | はしの上さるがのぞき見梅雨ぐもり | 3年 | 井上 加一 |
| 夏の風じみにすずしいでもあついで | 6年 | 寺尾 誠 | | 夏の海なみがばしゃばしゃちってくる | 3年 | 長田 実優 |
| 風とまり草の中から夜の音 | 6年 | 錦織 慈照 | | うでまくりのぞむところだすいかわり | 3年 | 桧垣 怜也 |
| すず虫が夜についてかたってる | 6年 | 古瀬 桐也 | | つうがくる赤白黄色バラの道 | 3年 | 渡邊 陸 |
| 母の日は何をわたすか重要だ | 6年 | 松本 朱音 | | む口だね線香花火する時は | 4年 | 石原 樹 |
| えんてんか強い流れに身をまかせ | 6年 | 三宅 一輝 | | かき氷みんなの舌がパレットだ | 4年 | 大宮瑚々音 |
| ゆきだるまゆうれいになつてはるをよぶ | 6年 | 村上 優月 | | ぼんおどり夜の風と友だちと | 4年 | 河原日向乃 |
| たくさんのほたるがてらすぼくの道 | 6年 | 森原 颯哉 | | 夏の風風景ならすいい音色 | 4年 | 嶋田 健志 |
| 山口県 | | | | カプトムシゆつくりうごくたいようと | 4年 | 都築 由弥 |
| とまとがねはやくたべてといっている | 1年 | 池田 悠真 | | 春うらら背のびするなりのだかなり | 5年 | 小林 菜々 |
| 徳島県 | | | | またカレーもう何度目か夏休み | 5年 | 本城 芽生 |
| なつまつりはじめてさいふつかったよ | 1年 | 美馬 孔希 | | 弟の朝顔きれいにさいている | 5年 | 矢口 由悟 |
| 香川県 | | | | 雨上がり地面におちた夏の月 | 6年 | 岡本 渚沙 |
| じいちゃんとはあちゃんが好き夏休み | 4歳 | 合田英怜奈 | | そよ風が終わりを知らせる夏休み | 6年 | 篠原 七星 |
| | | | | おいしいしいね私色のかき氷 | 6年 | 丹 恵陽 |
| | | | | 妹の目に映るのは川トンボ | 6年 | 西田なるみ |

高知県

| | | |
|-------------------|----|-------|
| せんぷうきみんなのあせがとんでいく | 2年 | 市川天瑞佳 |
| なつのふるふかふかタオルからだふく | 2年 | 岡村 優 |
| ランドセル春はおもたいわっせっせ | 2年 | 小川 準人 |
| めざましがうるさいふゆはすぐにけす | 2年 | 片岡 透吾 |
| こいのぼりうみの水はねしょっぱそう | 2年 | 田原 由隆 |
| さむい日は学校いってもさむいんだ | 2年 | 戸梶 沙南 |
| じてんしゃがほん気をだしてはしる春 | 2年 | 吉田 瑛太 |
| たこあげが風にふかれて天国へ | 3年 | 安岡 妃那 |
| ほくの声せみの声にもまけられぬ | 4年 | 伊藤 巧 |
| かき氷あせをすいとるまほうだよ | 4年 | 大野 夢徠 |
| ひやけどめ水にはいると水はじく | 4年 | 田所 頌平 |
| 春風にのつてみたいなほくたちも | 4年 | 山下 煌生 |
| パレットの絵の具がへった夏休み | 5年 | 池 香保 |
| えんぴつに汗がしみてる夏休み | 5年 | 林 優明 |
| 赤トンボ太陽よりももえている | 6年 | 中山 太陽 |

福岡県

| | | |
|-------------------|----|-------|
| びつしよりとどうぎの色を変えるあせ | 4年 | 土橋 玲 |
| 背がのびて世界が変わる夏休み | 6年 | 友田 湊 |
| 夏休み汗も時間もだらだらと | 6年 | 森下 三蔵 |
| 夕立を図書館にいて見上げてる | 6年 | 山口 優花 |

佐賀県

| | | |
|-------------------|----|-------|
| なつやさいかレーの中でおよいでる | 2年 | 三原 悠晟 |
| 夏休みあたらしい歯がはえてきた | 2年 | 渡邊航太郎 |
| 面ぶりゆうたいこをならしきけぶんだ | 3年 | 池田 梨奈 |
| くわがたがほくのかげだしにひと休み | 3年 | 小池 啓翔 |
| 真っ黒けほくかかげだか分らない | 3年 | 佐々木基騎 |
| はつだせきひざががくがくしていたな | 3年 | 岳 春杜 |
| なつくさやかぜをよんでるくろいねこ | 4年 | 尾崎 心愛 |
| 雨がやむたびにあらわる雀の子 | 6年 | 大谷 光 |

長崎県

| | | |
|--------------------|----|------------|
| かきごおりおくちのなかがこおってる | 1年 | 川端 駿斗 |
| なつやすみばいおぱーくでばーべきゅう | 1年 | もりぞりょうえい |
| なつ休み大きなたいをつつてやる | 2年 | 楠元 翔 |
| えんがわでかぞくよりそうかせのそば | 2年 | 松尾 伊織 |
| スイカわりどこかどこかときがす足 | 3年 | おざきみく |
| へびのいろあおくさとともにかわるいろ | 3年 | グッドデザインリーキ |
| 食べものやのみものおどり夏まつり | 3年 | 近どうめぐる |
| どんぐりははやくまわってほげしいよ | 3年 | 酒匂 楓太 |
| ラムネのむひゃつとするよ元気だぜ | 3年 | すえながれん |
| あついでよる夜空に星がでてきたよ | 3年 | すみとく星 |
| さくらもちみんなでたべてそとにでる | 3年 | ひさのともき |
| たいようがいっぱいさして海へ行く | 3年 | 古木 笑璃 |
| しんしんとさむさにたえるネコたちよ | 3年 | 村上 砂彩 |

木の上にくわがたがいたでもにげた
 緑陰と自分の陰をくらべっこ
 しおひがりいろんな物がでてきたよ
 う

花火見る首に手を当てまばたきわすれ
 お母さんいつもの日傘夏が来た
 梅雨が明けかえるの合唱閉店だ
 大群のとんぼのおくに夕焼けだ
 稲かりで汗と一緒に米かおり

三角形星がきれいに自己しようかい
 何回も水スライダーしちやったよ

中村けんしん
 宮崎こゆき

花火をみみな笑顔もはじけだす

柴田 春花

かき氷頭に一本すじとおる

清水 遼斗

パリパリとせみのぬげがら夢の中

堤 麗羽

うってみよ勇気をぼうにすいかわり

立石 紗弥

パラソルの色目にいたいあつきはま

豊島 美咲

熊本県

弟の朝顔きれいに咲いたかな

中島 夏穂

選ぶのはサラサラタイプの日焼け止め

谷 未知可

大分県

息白し口の中から雪が出る

宮子 来望

金魚ばちあつという間に水が減る

長野 真子

鹿児島県

あたたかい風がふくとね子どもの日

松下三日月

夏祭りどれにしようかからあげだ

上村望々華

通学路新茶がかおるいつもの道

江平美美佳

俳句

中学生の部

学年順都道府県別の掲載です

選者のことば

俳句力！

◆◆◆ 小島 健

みなさん、熱心なご応募ありがとうございます！ よくがんばりましたね。みなさんの今でなければ詠めない俳句に出あえて、本当にうれしかったよ。思わずふきだす愉快な句、胸がキュンとなる初々しい恋の句、温かい家族への思い、自然を大切に詠んだ句、感覚的でみずみずしい詩情の句、などなど。その旺盛な創作意欲に、大きな拍手！

なんとと言っても、そのやわらかい感性による自由な発想と、大胆な表現にびっくり！ 次の句は中学生の作品です。

盆おどり亡きばあちゃんもおどってる

台風がお詫びにくれた青い空

走ってるこの感覚が夏なんだ

さげびてえあの蟬みたいに狂いてえ

人間の情、自然、感覚がユニークな詩として詠まれ、魂の叫びすらも聞こえてくるではありませんか！

俳句は世界中で一番短い詩で、世界にはこる文学です。五七五のリズムは日本人の体質に合い、季語は日本の美しい四季の自然や温かい人間性、そして、笑いをも包み込んでくれます。こんな魅力的な俳句を、うんと愛してこれからも詠み続けてほしいなあ。

俳句には自分と他人をなぐさめ、はげます大きな力があります。この「俳句力」で、これからの人生の荒波も乗りきってくださいね。終わりにひとこと。生きていく上で大切なことは、何ごとも「明るく楽しく！」。さあ、明るく楽しく、前向きに進もうね。



小島 健

こじまけん

昭和二十一年新潟県生れ。「河」同人。NHK学園専任講師。角川春樹に師事。公益社団法人俳人協会理事。著作「小島健句集」「いまさら聞けない俳句の基本Q&A」「俳句練習帖」など。俳人協会新人賞受賞。

◆ 特選 小島 健選

台風がお詫びにくれた青い空

群馬県渋川市立子持中学校 1年 片野 誠夢

大空の隅を残して大花火

新潟県佐渡市立南佐渡中学校 1年 遠藤 華

盆おどり亡きばあちゃんもおどってる

福岡県福岡県立嘉穂高等学校附属中学校 1年 小島 未夢

走ってるこの感覚が夏なんだ

愛知県豊橋市立南陽中学校 2年 平岡 咲季

「ええ、ほんとにすみませんねえ。私があばれたばかりに、皆さんにご迷惑をかけちゃって……」。ほんの気持ちです、と台風のお詫びの青空。まつ、今回は被害もないし、許してやるか。

観察力の優れた詩情のある作ですね。「大空の隅を残して」の表現は、シンプルながら説得力あり！確かに大花火でも空全体は使いきれず……。これにより、いちだんと大花火がクローズアップ。

盆おどりはもともと亡くなった人を供養^{くよう}し、なぐさめるような意味もあります。ですから、亡きおばあちゃんもいっしょにおどっていると感^{かん}じても Good！あ、ほら、おばあちゃんが笑っている！

そうなんだ！スピード感があり、長い髪が後ろへなびいているような感じがいいね。日常の口語の詠み方が読み手に親しく響きま^ます。感覚を感覚的に詠んでいて、ふしぎな魅力がある句。

作文はもうお断り夏休み

福岡県福岡県立嘉穂高等学校附属中学校 2年 奥永 大将

ずるずると我が家に居つく春炬燵

茨城県江戸川学園取手中学校 3年 稲見 桃子

雷がバツカモーンと叫んでる

群馬県長野原町立東中学校 3年 宮崎 泰地

さけびてえあの蟬みたいに狂いてえ

愛知県豊橋市立南陽中学校 3年 安間 誉和

冬の朝布団と恋に落ちたぼく

福岡県久留米市立城南中学校 3年 日吉 晨

風鈴が風の気持ち音を音にする

鹿児島県鹿児島市立吉野中学校 3年 下津濱智代

「ああ、また夏休みの宿題は作文!」中七の「もうお断り」がユーモアたっぷり! うんざりした作者の顔が浮かびます。「夏休みはもっと遊ばせて(?)」。ウーン、そうもいかないんだよねえ。

なにしろ春炬燵は往生際が悪いので有名です。いえ、春炬燵ではなく、それを利用する人々が……。擬人法を用い、春炬燵に責任を押しつけようとのねらいに、座布団十枚で高評価!

あんまり、雷が叫ぶ理由は問わないほうがよさそうですね。「雷」からは「雷親父」を連想させます。そこが作者の知恵のしほったところ? この大胆な「バツカモーン」の表現、うれしいなあ。

おお、いったい何があったのでしょうか? きっと、心にうんととまったものがあるんだな。でも、蟬迷惑? 強調の「てえ」のリフレイン(くり返し)技法が、内容に合い効果的です。

まあ、なんと恋の落ち方! 「ワツハツハツハ」と、手放して笑える健康な俳句です。学校遅れちゃうよー! もう、知らないから、勝手にいつまでも布団と恋していなさい!

これはまた、おしゃれな句。この風鈴、なかなかの詩人ですね。ああ、美しきかな、風鈴と風の友情!? フランスの作家ルナールの笑、詩情に通じる明るく楽しい句に、大きな拍手!

◆ 秀作 小島 健選

盆踊りおれのじいちゃん真ん中に

埼玉県北本市立東中学校 1年 中澤 駿吾

かたつむり雨からもうエネルギー

新潟県佐渡市立南佐渡中学校 1年 風間 美穂

青空にシユプール残すつばめかな

新潟県佐渡市立南佐渡中学校 1年 安藤 優希

教科書とかばんに入った夏休み

静岡県磐田市立磐田第一中学校 1年 神谷 天音

もうすぐで授業終わるぞ南風

静岡県磐田市立磐田第一中学校 1年 鈴木 優斗

美しき夢がつまった金魚鉢

静岡県磐田市立磐田第一中学校 1年 齋藤 耕大

かたつむりガイドレールに絵を描いた

愛知県幸田町立南部中学校 1年 三田美百合

夏祭りおいらの出番どんどこどん

三重県四日市市立港中学校 1年 堅田 真愛

春泥に心まではしずまない

大阪府東大阪市立石切中学校 1年 太居 咲音

スマツシユで暑さを全部ふき飛ばせ

山口県柳井市立柳井西中学校 1年 仁科あかり

線香花火家族の顔が点滅す

鹿児島県鹿児島市立吉野中学校 1年 有村 太一

ご近所さん今年風鈴変えました?

神奈川県関東学院中学校 2年 岩室 朋佳

弟のみやげ手の中枯れれんげ

愛媛県松山市立垣生中学校 2年 本田 文征

白木蓮咲けばますます空青し

鹿児島県鹿児島市立吉野中学校 2年 栗山 雄光

ひまわりは暑さを味方につけている

鹿児島県鹿児島市立松元中学校 2年 下水流ひかり

真ん中を独り占めするこたつ猫

鹿児島県鹿児島市立吉野中学校 2年 児玉明日美

かわいらしい苺の花の香りさく

鹿児島県始良市立重富中学校 2年 仲宗根梨々華

春の風体をそーっと通ってく

鹿児島県鹿児島市立吉野中学校 2年 新福 丈翔

かげろうを手に取りたくて走る坂

群馬県長野原町立東中学校 3年 酒井 航輝

風鈴が輝く風を連れてくる

群馬県長野原町立東中学校 3年 佐藤 美天

天の川前途多難の恋思ふ

埼玉県川越市立寺尾中学校 3年 森田 恭平

強烈なサーブスエース初夏の風

埼玉県北本市立西中学校 3年 高橋 歩

雷よおまえも腹がへったのか

愛知県幸田町立南部中学校 3年 市川 亜紀

強烈な西日で都市は赤い島

和歌山県和歌山市立貴志中学校 3年 田邊 捷人

肩触れて恋がはじまる夏祭り

島根県浜田市立第一中学校 3年 白須妃麻里

自己主張して秋風が吹いている

山口県岩国市立玖珂中学校 3年 清水 翔真

送りバント春風にゆられミスをする

愛媛県内子町立五十崎中学校 3年 久保 颯真

万緑や白蛇の如く踊る滝

熊本県熊本市立西原中学校 3年 園田 佳香

干し柿を食べる妹祖母そっくり

鹿児島県鹿児島市立吉野中学校 3年 田畑 花菜

夏休みおわって見たらチョコの肌

鹿児島県鹿児島市立谷山中学校 3年 岩下 萌乃

夏の雨怒ったように打ちつける

鹿児島県始良市立重富中学校 3年 下満あかり

夕焼雲生に疑を持つ十五歳

沖縄県北谷町立北谷中学校 3年 高宮城美咲

入選 北海道

春の雲ゆつくり動くオルゴール
 カゲロウと言う名の君は幻で
 風鈴の音は風といなくなる
 まったりと布団の中であと5分
 雪原のしずくがひかって春がくる
 雨蛙キミがくれた思い出だ
 澄んだ海逆立ちしても同じ色
 夏の雲自分と違いのんきだな

照る朝日雪輝きて海と化す
 クリスマス僕の心にはんそうこう

青森県

茜色に染まる君の横顔が
 涼風は天を翔けゆく野生馬だ
 凍える手包んでくれた優しい手
 春の風たくさんの想い運ぶもの
 向日葵に負けじと伸びるいとこの背
 自転車で風切り夏の海へ行く
 ホイツスル響き渡って夏終わる

夏の昼体軸きめて稽古する
 宮城県
 かなしいないものこ汁にあねこ虫
 たぎるあせじぶんのしおがめにしみる
 水の中見上げる空も水の色
 鯛雲焼いて食べたらおいしそう
 ゴロゴロと動かぬ僕はこたつむり
 炎天下ペンも自分もよそを見ず
 夏の日が楽器に反射し目がくらむ
 コスモスも祖父も私をおいていく
 目を閉じて聞けば切ない蟬の声
 雁を呼ぶ赤き世界も虚像かな
 日焼けした僕の素肌は麦茶のよう

岩手県

大滝に雲海ゆつくりあらわれる
 つゆあけの水辺に映るわたしたち
 楽しさは花火とともに舞い上がる
 東風あびてなお輝けり友の背や

福島県

麦茶飲み縁側座る虫博士
 夕焼けにしばし見とれる塾帰り
 母の日を忘れたおわびグミ一つ
 台風を見習わなければ進路決め

鈴木 琉斗
 中村 翼

曾我部悠心
 野館 未羽
 小野 碧良
 加野 茅里
 河島 萌佳
 松田 悠生
 会田 音夢
 寺島 愛翔

内沢 那知
 佐々木大也
 中野 侑香
 原田 嵩弘
 張山 麗
 南川 慧菜
 吉田 太陽

今松 純也
 佐々木野杏
 丹内 芽衣
 尾前 杏音

吉田 峻

佐藤 廉
 三瓶 莉央
 細川アダム
 安部 景太

つらかった夏の部活はもう来ない
 青い空ひまわり畑とツーショット 3年 五十嵐空優
 夏休み体育館から愛しき音 3年 伊藤 風葉
 夏祭り人混み合うがそれが良い音 3年 齋藤 翔
 元気な子ともに減ってくこいのぼり 3年 佐藤 拓海
 夏祭り家族みんなで太鼓台 3年 山口真莉彩
 山田 悠斗

茨城県

潮干狩り貝に負けない人の数 3年 伊藤 涼香
 目に映るゆらりゆらりと初螢 3年 小田 愛実
 青い空とけこむネモフィラどこまでも 3年 加藤 桜子
 兄暮らす新しい町はなぐもり 3年 小山 歩美
 霞立つ利根のお河岸の水の音 3年 高橋 佑輔
 雪解けの川に流れる青い道 3年 豊村 萌
 今は無き家に枯葉も残らずに 3年 松本 泰知
 赤紅葉清き小川と遊んでる 3年 山崎 悠介

栃木県

目のかゆみ今年の春も魔の季節 3年 笠倉亜優夢
 風光り雑草さえも美しく 3年 高根沢実優
 こたつの中いつも我が家は過密地帯 3年 原田 梓
 鹿たちと若葉眺めた奈良公園 3年 室井ふたば

群馬県

甲子園思いとランナーかけめぐる 1年 高原 涼子
 夜ふかしは旅行の日だけ夏休み 1年 細谷 悠衣
 秋風や夢見る前の夢心地 2年 伊藤 敦広
 いちごあめ浴衣に垂れて笑い合う 2年 早川 純礼
 炎天下部屋で想うは祖母のこと 3年 小黒 愛佳
 意味もなくお店に入る暑い夏 3年 関根 歩夢
 息継ぎをするひまもない夏の日よ 3年 堀越 奨平
 かき水頭はキーンと心はジーンと 3年 真下 若菜
 夕焼けに浮かぶ景色が希望かな 3年 柳澤 大翔

埼玉県

早朝の虫の鳴き声もう夏だ 1年 芝塚 晴葵
 夕焼を見て泣く者は幸せよ 1年 水野 敦賀
 桐一葉すずしき風を呼んでいる 1年 浅尾 友雅
 白靴のひもを結んでスイッチON 1年 新井ほの実
 祭しか聞こえぬ音が聞こえるよ 1年 岩崎 雄大
 ごきぶりよなぜ目の前に現れる 1年 衛藤 大生
 除夜の鐘家族みんなで鳴らしけり 1年 遠藤 麻衣
 朝ご飯たまたまに出てくる冷や奴 1年 片岡 丈也
 迎火をたいてじいちゃんここに来る 1年 金澤 龍太
 どんどんと体にひびく大花火 1年 上岡 麗未
 秋の風すすきの音を呼んでくる 1年 川田 響生
 寒いのにペットのうさぎとびはねる 1年 小出 栞菜

| | | | | | |
|-------------------|----|-------|------------------|----|-------|
| 台風で部活が二回無くなった | 1年 | 古暮 泰基 | 理科の時間冷房つけてと生徒たち | 3年 | 新井 結喜 |
| 鯛が鳴く夜少し涼しけり | 1年 | 後藤 若奈 | 書物ではわからぬ風鈴都の美 | 3年 | 池田 大翔 |
| 夏祭り大雨の中君がいた | 1年 | 小林 由弥 | 陽炎でゆらゆら揺らぐ君がいる | 3年 | 市村 駿太 |
| ひとすじのひかりさしこむ葉のあいだ | 1年 | 酒井 優海 | 噴水がさらさらとけておちてゆく | 3年 | 風間 喜花 |
| 妹の頭にそつと置くさくら | 1年 | 園部 美桜 | 文化祭君と行きたいけど一人 | 3年 | 河南 唯 |
| バーベキュー部活の仲間作ったご飯 | 1年 | 高野 柚斗 | 夏休み毎日風呂を洗う日々 | 3年 | 齊藤 祐哉 |
| ああめだとおもったらほくのあせ | 1年 | 谷澤 海 | 窓開けて暖かな風にこんにちは | 3年 | 志田 滯 |
| ダチヨウからウサギになりけり積乱雲 | 1年 | 中山日菜子 | 夕立ちに光り輝く金閣寺 | 3年 | 篠木 大樹 |
| お盆過ぎきれいな光晩夏光 | 1年 | 保科 柊翔 | 風の中新たな命桜咲く | 3年 | 渋谷 登 |
| なつやすみきみのとなりにいたいんだ | 1年 | 若狭 莉子 | 日の出時霜付く車に湯をかけて | 3年 | 杉田 暁 |
| ゆうやけにポツンとひかるいちばん星 | 1年 | 渡邊 花鈴 | 反射する白と青とは夏のよう | 3年 | 土澤 奏太 |
| 手のひらに握るケシゴム秋の声 | 2年 | 當麻 和輝 | 夏休み1日限りの海のおい | 3年 | 富樫 裕太 |
| 日焼した顔より黒い練習着 | 2年 | 石田 紘斗 | どんぐりが子らのぼうしに集う会 | 3年 | 中村 侑太 |
| 友達と泳いだ海は縹色 | 2年 | 加藤 千咲 | 涼しくてうとうとするが解きすすむ | 3年 | 橋本 千紗 |
| 炎天や部活の汗が雲になる | 2年 | 加藤日奈子 | カーブミラー濃い青空の鯉のぼり | 3年 | 比嘉 南 |
| いつかまた会えるといいなカブトムシ | 2年 | 北田 雄大 | ハスの葉は水面に浮かぶハートかな | 3年 | 樋口 寧生 |
| 蟬たちとクラリネットのアンサンブル | 2年 | 後藤 和香 | 金平糖指折り数え夏の味 | 3年 | 堀 帆風 |
| 若葉風吹いてる教室辞書を引く | 2年 | 佐藤芙蓉珠 | 空の橋虹は誰を渡らせる | 3年 | 松本 直子 |
| 午後練湯気が出るほど暑かった | 2年 | 瀧 裕介 | 炎天下本能寺まで歩きけり | 3年 | 目黒陽奈子 |
| 人工の雪を三百円で買ふ | 2年 | 野城 知里 | 暑くても心和んだ京言葉 | 3年 | 森村早紀子 |
| 異国から見上げる同じ青い空 | 2年 | 藤田 慶乃 | | | |
| 十五夜に食べる団子は二度うまい | 2年 | 松野 雄一 | 千葉県 | | |
| 秋葉原我が夢の場所いざ進め | 2年 | 安田 健邦 | 炎天下今日も白球追いかける | 1年 | 清水 健治 |
| 光彩の一滴走り朝が散る | 2年 | 山上 千裕 | 水たまり見て広き空あわい虹 | 1年 | 丸 夏実 |

網戸ごし空には白い雲一つ 3年 相子 瞭知 木々たちの呼吸にあわせ夏登山 1年 鈴木 諭子
 汗と涙矢のごとく過ぐ体育館 3年 今井 日和 雨香り咲く紫陽花や顔洗う 1年 西本 美咲
 春の雲ゆったり動くオルゴール 3年 碓井 梨乃 じじばばと庭でトマトを食べまくる 1年 初鹿 ルネ
 中庭にひびく歌声夏近し 3年 岡村美乃莉 あじさいの落ちるしづくに自分いる 1年 三浦 大典
 金魚すくい後ろ姿を見つめてる 3年 國廣 姫乃 青い空カンナで削るかき氷 1年 八幡 眞海
 友人と別れて溶ける氷菓かな 3年 久保 勇輝 久々に家族の食事遠花火 1年 和田 紗英
 夏の空雲一つないかなしさや 3年 佐々木徹也 我が家から見えた花火は上半分 1年 渡辺 太郎
 冬の日にきこえてくるは地の叫び 3年 白井凌太郎 ねちやダメだ分かっても昼ねする 2年 遠藤 拓海
 水泳や大会だんだんこわくなる 3年 鈴木 健斗 子供らをかためるような隙間風 2年 小野寺 雄
 マウンドで一人じゃなかった夏の空 3年 高木 大輝 山奥にふわりと広がるほたるの灯 2年 鈴木香緒里
 僕と君線香花火に寄り添う影 3年 高橋 幸太 暗闇に光る花火と光る父 2年 高山 彩花
 桜の葉ひらひら散る頃仲良しに 3年 長岡 真那 山登り滑って転んで泥だらけ 2年 田口 璃桜
 汗ながし走った夏はもうこない 3年 布施 鈴果 きもだめしかえりにみえたしろいかげ 2年 前川 秀真
 白い息しながら走る持久走 3年 蓑田 優海 夕の水逆さの夏空まぜる鯉 2年 前田 斉子
 北風や回り続ける観覧車 3年 矢吹 陸 あおいそらいつもぼくらをささえてる 2年 三橋 厚太
 花火見る向日葵のように上を向く 2年 牟田口裕介
 窓越しにぼやけた月と金魚鉢 3年 氏家 凜子
 枯山水涼しい水の音がする 3年 大内 中
 道なのか夕やけうつる海面上 3年 大島 柊
 かき氷食べて私の夏が来る 3年 大橋 明莉
 そびえ立つ木々は雲をも突き進む 3年 大森 樹里
 夏なのにピタゴラス数三四五 3年 奥尾 元太
 お台場の汚い海でも入りたい 3年 神谷日和子
 毛穴から轟きつつ湧き出すこれは大河だ 3年 川村 光平

東京都

入選

青空に背筋をピンと桐の花 1年 上田 好成
 花火みてたまやとさけぶ子ども達 1年 宇羽野結子
 春色のワンピース着てショッピング 1年 呉 莉歌
 初夏の風なめくじ歩くコンクリート 1年 大橋 颯翔
 夏休みショートカットとワンピース 1年 加賀谷 祈
 虫かごに入りきらない夏休み 1年 狩野 百音
 グランドで夕焼け色に素振りして 1年 工藤 大輝

入選

| | | | | | |
|-------------------|----|-------|----------------|----|-------|
| 終わりにゆく季節に蟬も力なく | 3年 | 岸本 彩奈 | 一呼吸汗が染み込む緑陰なり | 3年 | 渡邊 花 |
| 松葉づえつけばつくほど汗がでる | 3年 | 小林 紫野 | 星たちが元気を出せよと塾帰り | 3年 | 渡邊 桃子 |
| 夏の夜に輝く星と虫さされ | 3年 | 金野 桃子 | 神奈川県 | | |
| 大晦日何度も時計を見てしまふ | 3年 | 財津 未来 | | | |
| 人ゴミは雨ふりあとの川のように | 3年 | 篠崎 黎士 | | | |
| 眠る時も頭の中に原素記号 | 3年 | 早栗 由夏 | | | |
| 今日光る蛍は明日も光るのか | 3年 | 高田 さと | | | |
| 長き夜のカップラーメン人恋し | 3年 | 橋本 藍 | | | |
| ゲリラすぎおとなしくなるハムスター | 3年 | 橋本 真祐 | | | |
| ありがとうLINEでごめんお母さん | 3年 | 服部 愛 | | | |
| 妹のうつせみつめたガラス瓶 | 3年 | 平井 愛莉 | | | |
| セミの声何を考え生きてるの | 3年 | 平野 愛海 | | | |
| 地震かな床下ひつじ凍えてる | 3年 | 平山 優海 | | | |
| 夏空にソフトクリーム専門店 | 3年 | 堀内 静 | | | |
| うつつすらと金色ゆれる夏のみず | 3年 | 堀越隆之介 | | | |
| 傘ひとつ共に濡れよう夏の夜 | 3年 | 松井 直也 | | | |
| 夏がくる氷砂糖がとけたなら | 3年 | 宮崎理紗子 | | | |
| 日ざしより光を心にほたるらよ | 3年 | 文 希瑛 | | | |
| 大会の帰りに電車で見る浴衣 | 3年 | 森 麻奈未 | | | |
| 桃を食べアレルギー反応今年から | 3年 | 林 乃愛 | | | |
| 鼻の奥何かを感じる夏の朝 | 3年 | 山口 晋平 | | | |
| 日焼け止め塗っても塗っても黒くなる | 3年 | 吉岡 萌香 | | | |
| 扇風機何回スイッチ押しただろう | 3年 | 吉田 礼奈 | | | |
| 歌よ響けむくげの花に想いのせて | 3年 | 李 善心 | | | |
| 初恋を思い出させる桃の色 | 1年 | 吉川 乃亜 | | | |
| パレットで作れはしない海の色 | 1年 | 渡辺 風沙 | | | |
| 暑い日はポートに乗って流れよう | 2年 | 田畑 翔真 | | | |
| 暗闇で花火と子ども顔灯す | 2年 | 西田 萌夏 | | | |
| 桜舞う音さえ聞けし教室で | 2年 | 水野 洋志 | | | |
| 夏休みうさぎとかめになつていく | 2年 | 山田 聡美 | | | |
| さびしいな蟬の足りないカナダの夏 | 2年 | 吉田 風 | | | |
| 想定外角の迫力鹿の子たち | 3年 | 荒井 愛理 | | | |
| ラケットを大きくあげて見えた夏 | 3年 | 岩瀬ひより | | | |
| 夏の龍どこから見ても目が合うよ | 3年 | 上坂 幸 | | | |
| 節分に優しい顔の鬼が来る | 3年 | 海島 秋呉 | | | |
| 枝豆の双子に三つ子に独りっ子 | 3年 | 大塚 凱斗 | | | |
| 飛ばぬよに麦わら帽子手をおいた | 3年 | 大日向紫喜 | | | |
| うちわ持ちゆっくり登る京の坂 | 3年 | 岡本 愛優 | | | |
| LINE鳴り走る先には夏祭り | 3年 | 加藤 史花 | | | |
| 二月堂登りきったら夏の風 | 3年 | 釘島 未夢 | | | |
| 竹林を見上げるともう夏の空 | 3年 | 草野 智可 | | | |
| 嵐山誰がつくった蟻の道 | 3年 | 熊谷 七星 | | | |
| 声そろう君と見つけた流れ星 | 3年 | 黒田みなみ | | | |
| 京の夏仏像だけは冷たそう | 3年 | 齋藤 周 | | | |

竹林のこぼれる光シーグラス 3年 白石 匠 夜の川 螢一匹 光る水 3年 山田 楓華

鹿の子は鹿せんべいが大好きだ 3年 相馬 春樹

鹿の子のかじる私のぬいぐるみ 3年 高橋 美羽

ユリの花 弥勒菩薩は考える 3年 築井 友哉

みんなとは少し違った涙の夏 3年 寺田 有里

峰雲を背にそびえ立つ八坂塔 3年 新沼 連也

見上げると暗い所に夏の龍 3年 羽賀菜々美

水泳部 黒い背中と青い空 3年 藤枝 海琉

あめんぼう泳ぐ水面に金閣寺 3年 宮岡 舞依

先生の頭に優しあじろ笠 3年 村岡 隼仁

青空の水遊びする子供たち 3年 森田 朱音

新潟県

練習後のグラウンドで見た夏の星 2年 佐々木京真

花火して最後は皆で夜空見る 2年 山本 未来

三発で景品落とす夏祭り 3年 木下 駿

筍が一二三と頭出す 3年 齋藤 洋宜

夏の日の静かな朝に花開く 3年 鈴木 野花

すももから白い花降る初夏の庭 3年 中俣 滂美

富山県

夏空や気軽な雲が泳いでる 3年 川渕 香奈

元旦のハンドボールに笑顔あり 3年 北川 太智

入選 ひぐらしの鳴く夜歩くうしろはだあれ 3年 前田 尚樹

石川県

和太鼓を打ち響かせる炎天下 2年 中川 朋香

せせらぎの音に混じりて螢とぶ 2年 播磨 美沙

外見れば兼六園と夏の空 2年 松田 優希

福井県

光より濃い闇まねく螢かな 3年 加藤 美星

横浜の炎昼すぎし海のけだるさ 3年 木瀬 一花

万緑の道を歩くと技術館 3年 藤本 聖菜

五月雨やかいわのなかにもぐりこむ 3年 山口 太暉

山梨県

反抗期カレーのにおいで休戦だ 3年 饗場 ラム

セミの声 弥勒菩薩と差しの今 3年 飯島 尚

夏の果てセーラー服に響く波 3年 佐野 舞奈

妹とやがて花火は蚊遣火に 3年 鈴木 一步

岐阜県

新米の湯気に手をあて温まる 2年 石司梨祐輝

晴天の風にゆれる葉夏を呼ぶ 2年 平林 春菜

盆栽にてんとう虫がてんてんと 3年 石原 大湧

指差して空にはきつとこいのぼり 3年 稲垣 玲菜

入選

空蟬のようにぬけゆく我が心 3年 大野 愛季
 かき氷けんかしながら食べつくす 3年 川尻 晴菜
 梅干しをかじって自分も梅干しに 3年 河村 璃子
 汗をふき息をころして近づく子 3年 白井 孝弥
 夏めいてどこも眩しく起き上がる 3年 高田 悠太
 空の海すいすい泳ぐ鰭雲 3年 柘植 咲奈
 籠枕聞こえる音は波の音 3年 中島 麻里
 向日葵が吸いこむように見下ろすよ 3年 畑尻真優子
 北風が僕の体温うばって 3年 平岡 亮汰
 暗闇にひとりひっそりおぼけかな 3年 松井 虹輝

愛知県

部活帰り虹が出てきて仲直り 3年 平野みずき
 太陽に照らされ光る私たち 3年 望月 花菜

静岡県

日焼け止めつけても真っ黒十二歳 1年 青山 花
 紅葉散り昔の思い出木が語る 1年 神谷龍之介
 予定帳何気なく見る日焼け止め 1年 瀬崎 由乃
 かき氷とおい昔のわらい声 1年 戸田 花菜
 流水がぐるぐる回るすいかわり 1年 西岡 希梓
 春の朝目的忘れ立ち止まる 1年 橋本 咲来
 秒針がとまってしまふ猫の恋 1年 松島 葉奈
 なつかしきフェンスの切れ目運動会 1年 松永 花雪
 だがしやへ今から向かう日焼け顔 1年 山口 百南
 今日の朝霧が鳴いてるまどを見る 1年 雪島 那行
 記念フォト誰か一人は目をつぶる 2年 奥山 妃那
 スイカ割り俺の感覚真っ二つ 3年 伊達 功紀

裏庭で祖母が育てたミニトマト 1年 北村 莉子
 梅雨空に飛びこんでいくランドセル 1年 久保田莉央
 夕立ちがぼくの背中を追いかける 1年 寺境 天琉
 涼しさを運んでくれる白鳥座 1年 高橋 花菜
 輝きの川の水辺の蛍かな 1年 長坂 紗良
 書き初めの筆寒がつて字はこおる 1年 長谷 香音
 車窓から思い伝わる稲アート 1年 挟間 奏人
 海と空そのすきまから日は溶ける 1年 北條 亜純
 白い雲青空の下地球の上に 2年 石田菜々美
 八月の空に大きな恐竜だ 2年 伊藤 唯
 青い空夕立の雲かけぬきたい 2年 伊奈田翔太
 夏の夜眠れぬ夜に知恵浮かぶ 2年 且原 滉基
 冷蔵庫すばやく猫はのぞきこむ 2年 近藤 里咲
 男子校通う兄貴の春いずこ 2年 佐々木雅子
 ひさしぶり気付いてもらえぬはだの色 2年 下西 麻鶴
 幸せじわ花火に光る白寿かな 2年 白井 星真
 えだ豆の緑が光るばあちゃんち 2年 利根川弓月
 かげろうが遠くの山を揺らしてる 2年 松永 寛大
 思い出が入道雲と去っていく 2年 山本 裕子
 蟬鳴けど犬は鳴かない朝六時 3年 浅野 銀仁

入 選

| | | | | | |
|-------------------|----|-------|-------------------|----|-------|
| 夕焼けだ影と一緒に走っていく | 3年 | 浅野日奈子 | 夏の夜一気に星も街となる | 3年 | 橘 怜 |
| 汗におう部活のあとの体育館 | 3年 | 石倉 想也 | カサカサと羽音響かすアブラゼミ | 3年 | 立松 聖菜 |
| 片陰の道路に作る縞模様 | 3年 | 石橋 宗馬 | ベンチから必死に見てた友の汗 | 3年 | 地本 大晴 |
| 雨がやみほこり脱ぎ捨て扇風機 | 3年 | 伊藤 竣介 | ゴンドラの古き窓から夏の星 | 3年 | 中山 瑛紀 |
| ラツシユだメダルも車も道もそんな夏 | 3年 | 伊藤 鈴華 | くれなるの薄絹ゆらす金魚かな | 3年 | 野口 玲依 |
| 夏の夜耳に残った海の風 | 3年 | 伊藤 脩海 | 南風あびつつ話す夜の部屋 | 3年 | 坂野 歩 |
| 朝起きて外みる満開桜かな | 3年 | 伊藤 優花 | 海歩く私の隣はあなただけ | 3年 | 平松 柚乃 |
| 海風でさばいた魚骨多し | 3年 | 稲垣 健斗 | 夕焼けに天の慟哭降りそそぐ | 3年 | 古田 侑 |
| 家に着き自転車おりに汗おちる | 3年 | 今泉 颯太 | 帰り道日々薄れゆく蟬の声 | 3年 | 古橋 欧介 |
| 通学路コスモス揺れる僕の胸 | 3年 | 岩崎 由依 | さくらんぼ消えた一つは空にある | 3年 | 南山 猛 |
| 薫風と世界が一緒に一回転 | 3年 | 太田 衣袖 | 幼き子踊る桜に手を伸ばす | 3年 | 森 琴子 |
| 夏祭り一人で人混み練り歩く | 3年 | 大竹 一輝 | 増えつづく棚の教材暑い夏 | 3年 | 山下 芽衣 |
| 夏だけの交響楽団鳴きやむな | 3年 | 鬼久保拓人 | 潮かをり夏めく心をどる藍 | 3年 | 渡邊 夏美 |
| 炎天に背筋緩んだ声の君 | 3年 | 加藤 颯辰 | 三重 | | |
| 紅に染まる薄に日は埋もる | 3年 | 加藤 大智 | すんごいぞどこまでいくのへびはなび | 1年 | 石井 凜 |
| 日は高く麦茶の光増しにけり | 3年 | 神谷 弘貴 | 天の川渡って君に会いに行く | 1年 | 北橋きらり |
| そうめんを茹でる炒める胸躍る | 3年 | 川口 翼 | この炎暑白旗上げて終わるかな | 1年 | 種村 将吾 |
| 梅雨の雨雑音けして読書よし | 3年 | 河邊 広樹 | ひらひらと尾びれふるわせ虹の泡 | 2年 | 小田 果林 |
| 風呂上がり鏡くもらぬ夏が来た | 3年 | 神取 美帆 | 木の下で桜とともに咲け乙女 | 2年 | 北出凜凜子 |
| 富士山が毎日まける雲の峰 | 3年 | 畔柳 豪 | 手鞠歌おまえたちはどう歌う | 3年 | 竹内 一晃 |
| 夏の海僕の瞳を閃かす | 3年 | 小島 大輝 | 涼し部屋自ら責めど石の足 | 3年 | 廣 柊弥 |
| 盆休みおじさんたちの自慢聞く | 3年 | 近藤 輝季 | グローブのすきまから見る夏の空 | 3年 | 福井 健心 |
| 五月雨のぼろぼろと薫る午後 | 3年 | 佐野麻里亜 | | | |
| あおくるみポートこぎ出で見つけたよ | 3年 | 澤田 千穂 | | | |

入選 大阪府

| | | |
|-------------------|----|-------|
| 地をふめば梅雨を感じるくつ底に | 1年 | 小西 勇那 |
| 目がかゆい式のとちゅうも花粉症 | 1年 | 三田 啓剛 |
| なつのうみはまべにすわるかげふたつ | 1年 | 杉山 雅咲 |
| 卯月浪心一つに舟をこぐ | 1年 | 豊川いのり |
| 桜落つ落書きしたる教科書に | 2年 | 中山由紀乃 |
| 大小の春山の中本を読む | 2年 | 山本 翔大 |
| 山の上友と見たのは天の川 | 3年 | 石村 晃一 |
| ハチマキに汗がにじんでまだら模様 | 3年 | 江上 友萌 |
| 鯉食べこれが高知の海の味 | 3年 | 金森 瑛司 |
| 夏休み常に気分は雲の上 | 3年 | 高木 仁菜 |
| 僕の手がうちわだったらしいのにな | 3年 | 武知 玲 |
| 遠くから流れる水とホトトギス | 3年 | 田中 元大 |
| 冴返る背筋のばして道いそぐ | 3年 | 戸上 優花 |
| はるひやけおとめごろとうらはらに | 3年 | 西村 咲音 |
| いろいろな机と過ごす夏休み | 3年 | 西村 寿笑 |
| 風吹かず風鈴鳴らして夏もどき | 3年 | 林 美来 |
| 春の朝トスがしやす暖かさ | 3年 | 三井 有途 |
| 運動場砂漠のような暑さなり | 3年 | 山崎 新 |

兵庫県

小さな背桜とともに出発す 3年 植田彩有実

奈良県

| | | |
|-----------------|----|-------|
| 大勢で入道雲が旅行する | 1年 | 勝村 文音 |
| 山桜寂しき色を加え咲く | 1年 | 中山 黎斗 |
| 草むしり陰をさがして作業する | 1年 | 日樫 穂 |
| 日傘さし一瞬世界やみになる | 2年 | 抜井 瑞樹 |
| 新緑の中にかくるる微風かな | 2年 | 廣川 祥太 |
| 涼舞いも兼ね備えている夏神楽 | 3年 | 勝村 泰成 |
| 何も無い空の隅から赤とんぼ | 3年 | 齋藤 楓 |
| 悲しきや案山子の眼何を見る | 3年 | 副島 巧貴 |
| ガレージの素振り見守る屋根の月 | 3年 | 筒井 淳史 |
| 弟が花火こわくて耳ふさぐ | 3年 | 西岡 星南 |
| 鶯と椿の紅のアクセント | 3年 | 洞出 翼 |
| 今昔や夕の河原に赤蜻蛉 | 3年 | 守川 愛翔 |

和歌山県

| | | |
|--------------------|----|-------|
| りんごあめいとこのほっぺとおなじいろ | 3年 | 東 亜紗花 |
| 最近ね舌の味覚が変わったの | 3年 | 阪口 希 |
| 春の夜の夢ばかりなる頭かな | 3年 | 根尾未津紀 |
| 冬の朝漁師が今日も船に乗る | 3年 | 松田 尉吹 |
| 五月雨あけたら空に白い雲 | 3年 | 山本 みう |

鳥取県

きゆうり置く写真を前にあなた待つ 3年 矢田川采華

島根県

| | | | | | |
|------------------|----|-------|-------------------|----|-------|
| 地下道で帰る母待つ燕の子 | 1年 | 安部 達哉 | 暗黙をきれいに包む花火かな | 3年 | 佐久間迅人 |
| ユニフォーム戻れぬ夏のおいする | 2年 | 石田 越弥 | つくしたちのつぼりのつぼり並んでる | 3年 | 佐々木望名 |
| うらの道小さな輪つくる落葉焚き | 3年 | 石橋 章汰 | 更衣服も心も変えていく | 3年 | 重谷 杏 |
| 黄なる海迷路のごとき向日葵よ | 3年 | 上田 玲奈 | 朝日出る夏の朝から家を出る | 3年 | 砂田 琉斗 |
| 熱帯魚水面にゆらぐ泡の影 | 3年 | 奥野 裕貴 | うれしさの形している春の花 | 3年 | 清家ありす |
| 新雪をむじゃきに走る子どもかな | 3年 | 川本 卓 | 夕方にひぐらし鳴くと日が沈む | 3年 | 高木 秀也 |
| 校舎から望む景色は五月晴 | 3年 | 鹿田 実永 | 陽炎や一度限りのよき射型 | 3年 | 鳥井 勇佑 |
| リビングにほのかに香るみかんの香 | 3年 | 長谷川佳子 | 炎天の雲なき空は海のように | 3年 | 仲 翔貴 |
| プールにてみしらぬ人と対決す | 3年 | 深井 楓恋 | 息白し重いまぶたを持ち上げて | 3年 | 永渕 佳穂 |
| 蟬の声うるさいけれどほっとする | 3年 | 三原 琳果 | そらたかくもりをいろどるせみのこえ | 3年 | 西永 海都 |

広島県

| | | | | | |
|------------------|----|-------|------------------|----|-------|
| 消えてゆくわたあめのような夏休み | 1年 | 小園 京右 | 白線に手をかけ消える蟬の声 | 3年 | 野見ほのか |
| 春の風前の風より暖かい | 2年 | 大年 凱 | 雪降りて公園となる狭き庭 | 3年 | 福島 大晴 |
| 起きざまに露ふるいけりくさのしか | 2年 | 桑原 悠斗 | 祖父の手にぬくもり感じる夏祭り | 3年 | 福富 凌大 |
| 先輩に一步近づくと春がきた | 2年 | 住田 海優 | 白球を追いかける夏熱くなれ | 3年 | 藤川 暉朗 |
| けらけらと食べた秋刀魚の骨笑う | 2年 | 寺西 太郎 | 螢火や計算式のびつしりと | 3年 | 藤田 大介 |
| 眠らない夜を照らせよ朧月 | 2年 | 永田理梨夏 | 風薫る縁側で弾くアルペジオ | 3年 | 藤本 瑞巳 |
| 英雄の足跡たどる昼寝かな | 3年 | 新 日菜子 | 日焼けする上半身はHAKAのため | 3年 | 前田 海陽 |
| あじさいやさみしさ感じる僕の肌 | 3年 | 井上 竜輔 | 風薫る夏の記憶は永遠に | 3年 | 三浦 楓 |
| 初詣凍った参道万華鏡 | 3年 | 岩田 知弥 | ふうりんと風の向く向き息が合う | 3年 | 向井 桜楽 |
| 君想い向日葵の花かぞえてる | 3年 | 奥野 恭平 | 平原を一目散の狐かな | 3年 | 森田 大翔 |
| 夕やけの疾風のごとき薄かな | 3年 | 齊藤 敬宏 | 引退迫る集大成の汗疹かな | 3年 | 矢澤 圭大 |
| | | | ベランダにて星飛ぶ宇宙手に入れり | 3年 | 山根 奈々 |
| | | | 浴衣着ていつもと違う歩幅かな | 3年 | 山本 冬華 |

青葉風 私の名ある配役表 3年 和田百合花

山口県

うなぎの日変わった物は出てこない 1年 兼重 智

夏祭り今年はクジを当ててやる 2年 野村 水舜

デネブより一直線に銀やんま 2年 藤井 和真

冬夜空色んな星がおどってる 2年 山本 雄太

墓洗う石にたたずむ蜻蛉かな 3年 小川 優作

向日葵は太陽探して旅に出る 3年 河口 未夢

百合見ればあつという間にあの景色 3年 河野 芽依

日焼けしてくつ下脱いと言われた日 3年 小迫 佑

噴水のしずくにうつる青い空 3年 田中 優仁

合宿の汗ににじんだ三連符 3年 中西 安樹

かげろうや祖父の病院見舞う道 3年 平井あずさ

日焼けした君の笑顔にはっとする 3年 藤井真里菜

日焼してあの日遊んだあの場所で 3年 矢野 翔大

亡き祖母の紫陽花咲いて空仰ぐ 3年 山本 麻由

香川県

筋肉痛海行きすぎて筋肉痛 3年 有馬ひなた

さくらさく屋島の山に日がのぼる 3年 石田 光輝

夕立よ早くすぎされ光降れ 3年 井上 大地

かに歩く道の真ん中堂々と 3年 組橋 光太

かぶりつく気付けばスイカの白い部分 3年 佐々木美緒

夏過ぎて静寂まとう木々の幹 3年 高嶋 晃生

愛媛県

かき氷食べてる暇はもうないね 3年 田中 瑞穂

日がのぼる布団が僕を離さない 3年 村上 謙心

蹴りあげる君が近づく夏の空 1年 上岡 由季

窓に付く守宮も一緒に食事中 1年 岡田 結衣

かきごおり四人で二つ食べる夜 1年 菊池 空

夏の朝かたむく時計を直す僕 1年 福岡 潔

夏風やゆっくりゆらす「地球」の書 1年 外岡 凌

夏の空ばあちゃん家の長いへび 2年 大久保 葵

金魚すくい猫もじつと見つめてる 2年 大森さくら

青の空クラスの色はまだ白い 2年 小島 未蘭

夏の川静かに泳ぐ魚たち 3年 井上 慈温

花蜜柑香りは見えぬものを知る 3年 門田 渚

スイカの種ぜんぶ違って人のよう 3年 川本 暉

暑さとぶ勝利の校歌高らかに 3年 菊池 光陽

上棟の日に見つけたる蟻の城 3年 佐野未依奈

夕暮れや友に手を振る風車 3年 山田いくみ

金魚ゆれ水の舞台を踊るよう 3年 吉本 三紗

放課後に陽炎の恋思い懸け 3年 片岡 正明

高知県

四万十の涼風あびるこいのむれ 3年 中脇 美香

福岡県

走り抜く光る海まで一直線 1年 五十川 詩

ひまわりよ空より高く咲きほこれ 1年 宮本 素良

せみの声頭の中でこだまする 1年 森 響葉

風鈴の音に金魚が踊ってる 1年 山口歩乃果

朝露のブルーベリー摘む小さき手 2年 野見山倫江

吹きぬけて夏風やゆくビルの谷 3年 石垣 月

夏が来たアイスとともに生きていく 3年 石川 愛梨

五月雨にぎゅっと濃くなる葉の緑 3年 浦野 虹希

合格の願いよ届け流れ星 3年 大坪 陽一

雪景色私の息と重ねけり 3年 木村 莉紗

かきごおり食べる前から溶け始め 3年 国武 純子

風鈴がきれいな夜は空も輝く 3年 香園ことり

夏空に夢見てえがく未来地囃 3年 斉藤 有南

猛暑でも流した涙は乾かせない 3年 田村 陽太

サイダーをゆっくり飲む君夏の終わり 3年 内藤 有紗

しゃっくりに合わせて光る蛍かな 3年 中谷 優希

夕暮れやふわり窓辺に赤蜻蛉 3年 古野 桃子

オレンジの魂灯る長い夜 3年 矢野 歩季

空蟬よ主は飛んでいき君探す 3年 山口 凌空

佐賀県

大切なじいじの香りキンモクセイ 1年 上戸 星亜

プールだと喜ぶ人はいい笑顔 1年 齋藤 菜々

汗をふきしばらくたつとまたでるよ 2年 井手 大斗

風鈴の音色が部屋を包みこむ 3年 岡 朋希

ひぐらしや夜は涼しとなきながら 3年 古賀くるみ

いのちにはおやへのおもいあふれてる 3年 坂本 昌樹

鶯の鳴き声ひびく春の森 3年 田口 慶祐

太陽と紫陽花出会う日くるのかな 3年 中島 舞子

宅配便幸せ届ける燕かな 3年 野田 樹未

長崎県

すいか切る赤い太陽うまそうだ 1年 相知 若奈

あちこちで聞こえるセミとなげき声 2年 末吉 夏奈

ひまわりの顔は上向き朝が来た 3年 阿立 玲華

ダイビングつんとくる鼻夏の昼 3年 加倉 大夢

浴衣着る気持ちまでもが夏色だ 3年 佐藤 文音

三日月が歩く私のあとを追う 3年 西平 深優

今きつと未来の自分を変える夏 3年 平野 緑太

藍空に煌めく花火とその刹那 3年 松尾 賢人

恋の波ひと風ふきて夏の海 3年 吉川 塔子

熊本県

風ふくや笑い声のよう風鈴が 3年 歌野日陽里

万緑の大地唸るもなお青し 3年 村上 颯

入選

選 大分県

入 雨上がり傘の下からのぞく青

2年 柳井 萌瑛

せせらぎに黒き鋼や川とんぼ

2年 岩田泰一郎

お年玉まず仏壇に供えけり

2年 小倉 真奈

天豆と共に伸びてけ私の背

2年 小倉 美陽

鉛筆の音と合唱 蟬の声

2年 清水麻里奈

風鈴のガラスに溶けこむ空の色

2年 新富 望未

あの空に飛びこみたいな授業中

2年 玉利華奈乃

屋久島のにおい 充滿時計草

2年 西元 りな

スイカ割り僕もしたいと思つたよ

2年 福田 楓

りんごあめ君の背中に今はじける

2年 松元 詩乃

水の音聴けば心がすき通る

2年 松元 駿

川の上陽に照らされるとんぼかな

2年 宮田 和希

霜おりてそつと手をとる親子かな

2年 森 陽香

常夏のここなつの実と見た夕日

2年 山田 愛友

草いきれ家の中まで暑くなる

2年 山田 星空

かぶと虫夢へ向かつて一直線

3年 有田 大晟

ほうせんかふくらむ種は夢いっぱい

3年 上野 笑花

夏の空かすかに響く課題曲

3年 梅田 梨瑚

ドッカンと春の合図だ桜島

3年 大蔵 絢

秋空に見らの声咲く運動会

3年 大重 音々

かげろうと一緒に歩く夏の旅

3年 木村 心美

暇な日は叔父のもとへと墓参り

3年 河野 芽依

くわがたのつのが一本おれちゃった

3年 坂ノ上宗都

白靴が黒くなるまで走り抜く

3年 迫 慧奈

暑い夏これからもっと暑くなる

夏空にずっしりのっかる入道雲

3年 伊達賀奈子

長ざいふゆかたのそでが重いこと

3年 崎村 伊吹

鹿児島県

残暑見舞い離れて暮らす父にこっそり

1年 上園 佳奈

きみがみるさきにはにじのはしかかる

1年 岡本 里美

田植えする祖母の背中をおいかけて

1年 久島 凜羽

夏の声いろいろ混ざって大じゅう滞

1年 久保 春菜

空見たら雪降ってきたきせきだな

1年 逆瀬川航希

歌留多取り取られてたまるか愛の札

1年 鮫島 佳汰

菜の花や人の笑顔を見て笑う

1年 末永 陽菜

かかしにもお茶を一ばいあげたいな

1年 畝地 奏汰

星たちが助け合ってるオリオン座

1年 瀬戸口史音

さんぼんのたけのこきょうだいどれかあに

1年 徳永 拓真

たくわえてせみのぬげがらになるんだ

1年 西久保陽向

春の朝桜並木が燃えている

1年 野間美優姫

すいか割りはずれて砂が飛びちった

1年 野村 岳叶

ずるずるとそうめんすする日々続く

1年 福田 梨乃

一度だけ十三さいの夏休み

1年 松井きらり

トンボ達行きかう空の交差点

1年 森 智英理

暑い夏これからもっと暑くなる

2年 秋元葵華子

向日葵に祖父の笑顔を浮かべけり
 ポップスに無理やり合わせ盆踊り
 ひまわりが私のように育ってく
 遊んでる僕の近くに積乱雲
 部屋の窓静かに見つめる秋時雨
 暗闇に一つの光生きる星
 風鈴の音きき祖母が顔あげる
 蟬の声背景にして古文読む
 幸せは林檎丸ごと食べるとき
 この夏は一生一度の忘れもの
 金メダルせみも参加し大歓声
 夏の空共に見上げる友がいる

3年 田辺 瑠花
 3年 椿 功太郎
 3年 東條紅ノ実
 3年 中村 耀斗
 3年 西 優毅
 3年 信国 駿介
 3年 前田 彩萌
 3年 松元 優奈
 3年 松山 愛奈
 3年 宮田 海斗
 3年 山中梨華子
 3年 横手 千夏

沖縄県

妹の小さきほほとすももかな
 さくらんぼ双子の兄にあこがれる
 一日の疲れがたまり海月かな
 カルタ取り札を取れずに歳をとる
 窓ガラス顔つけねむる熱帯夜
 先生もあきれほどのせみの声
 The summer climate. It kills me from inside. I want water.
 ぜんざいの味の向こうに母の顔
 暑い夏うちわ一つで生きのびる

3年 岩橋 駿
 3年 神谷 光輝
 3年 崎原 共生
 3年 角南 範孟
 3年 高木 泰斗
 3年 町田 裕
 3年 与儀 優理
 3年 與古田美子

アメリカ

見守ってしずかな家をとかげたち
 せみの音はどこへにげても聞こえます

2年 嶋田 恵
 2年 山崎 りお

● 審査について ●

今年度のNHK全国短歌・俳句大会ジュニアの部には、多くの作品のご応募がありました。

短歌大会には、三一七校から、一九、四八四首（幼児・小学生四、三〇五首、中学生二五、一七九首）。俳句大会には、四六三校から四五、六一六句（幼児一九三句、小学生二四、〇七九句、中学生二一、三四四句）もの投稿をいただきました。

第一次審査を、九月二十二日、二十三日それぞれにNHK学園にて行いました。その結果の入選作品を本選に送りました。

短歌では、大松達知先生、栗木京子先生、俳句では、神野紗希先生、小島健先生が、選考にあたりました。

学校全体で取り組まれ、応募率が高く、入選率が高い学校・団体へ学校大賞、学校優秀賞を、また、小規模校等で独自の取り組みが見られた学校へ特別賞をお贈りいたしました。

短歌、俳句ともに、選者特選、秀作入賞作品には賞状をお贈りいたします。

平成二十九年一月吉日

NHK全国短歌・俳句大会ジュニアの部事務局

一次審査会選者名 (五十音順)

短歌

浦河 奈々(歌林の会)

関谷 啓子(短歌人)

中島 裕介(未来)

嶺野 恵(未来)

小林 成子(未来)

田中 愛子(コスモス)

平賀富美子(織)

山内 頌子(塔)

俳句

石嵩 岳(嘉祥・樵・雪解)

田口 茉於(若竹)

津高里永子(小熊座)

野口 る理

宮崎 斗士(海程)

川田由美子(海程・俳句十代)

高勢 祥子(街)

鴉田 智哉(オルガン)

橋本 直(豈・鬼)

森下 秋露(澤)

受賞作品が決まるまで

①作品募集



②一次審査



③本選



入選決定

④最終選考会



特別賞決定

⑤発表 (大会当日)

● 学校の取組み ●

学校からの応募票に記載いただいた「学校の取組み」から抜粋させていただきます。

☆歌人斉藤茂吉の故郷として上山市を挙げて短歌に取り組んでいます。講師の先生をお招きして短歌教室を開いています。

(上山市立南小学校 武田千晶)

☆国語の単元「言葉を選んで、短歌を作ろう」において、橘曙寛の「たのしみは」の短歌をまねして、たのしみは始まり、時で結ぶ短歌を作る予定です。

(伊勢崎市立あずま北小学校 新藤陽子)

☆国語の授業で学習した後、行事などの感想や気づきを三十一文字で表現しています。また、クラスや学年で百人一首カルタ大会を開いています。また、数年前よりクラブ活動でも百人一首を楽しんでいます。

(カリタス小学校 柳澤淳子)

☆全校児童が一人一冊和歌ノートを持っていて、日常生活の中の感動を和歌にしています。

(浜松市立県居小学校 岡本綾子)

☆本校では昨年以上学年が短歌を地元の歌人に学ぶ機会があったことから、児童が短歌に大変興味を持つようになりました。今年度は短歌クラブも発足し、ますます楽しみなながら

短歌を詠んでいます。(鳥取市立美和小学校 小松由果)

☆二年の単元にあわせて国語の授業で短歌を作り、句会風歌会で選評しました。その際に学んだこと、仲間の作品から得たことを生かして、夏休みに作った短歌を今回応募しました。(江東区立深川第五中学校 渡辺美佳)

☆国語の授業で中一から中三まで扱っています。イメージをふくらませるために絵を描き短冊にしたものを文化祭で発表します。(富士見丘中学校 森 有希)

☆「輝く学校づくり」の一環として「心みがき・言葉のみがき」に力を入れ「俳句・短歌」に取り組んでいます。(東海市立加木屋中学校 長谷川香織里)

☆昨年の三月にはEテレの「Shall We 短歌」のコーナーに二・三年生が出演させていただきありがとうございました。中村憲吉の生誕地として短歌を文化として継承させたいと月一首の創作を続けています。

(三次市立布野中学校 青木麻由美)

☆全校児童が「俳句手帳」を持ち、いつでも俳句を書き込めるようにしています。また、俳句クラブでは地域から外部講師が入り指導を受けています。

(八峰町立峰浜小学校 赤塚麻由)

☆全校で俳句づくりに取り組む伝統があります。季節を背景に自分の生活を俳句に表現できるよう年間を通して学習し

ています。(会津若松市立二箕小学校 山岸裕美)

☆花崎北小学校では月に一度全校で俳句作りに取り組んでいます。一年生で作る「子ども歳時記」のミニ本は、進級する時に持ち上がり、六年生になってもどの子ども大事にしています。そのミニ本を片手に感じた季節の俳句作りに取り組んでいます。(加須市立花崎北小学校 熊田 萌)

☆俳句ノートを全員持っていて、自分で心を感じた時に一句書くことにしています。毎月その中から一句を選んで学校だよりで紹介したり、校長室、公民館に掲示しています。去年は一人平均68句詠みました。

(所沢市立小手指小学校 島田 諭)

☆児童の豊かな言語活動の一つとして全クラスで俳句作成に取り組みました。(狭山市立御狩場小学校 野口幸夫)

☆深読みをしよう〴〵をテーマに俳句を通して人の心・気持ちを考えてきました。五年生の頃に比べて、単語や言葉のつながりから様々なことを想像できるようになりました。それと同時に優しい気持ちを表現できる子が増えました。俳句と子どもの力です。(足立区立中川北小学校 土田翔之)

☆全学年の国語科に詩歌の時間を設けて、俳句や短歌の観賞および創作を行っています。また行事の後や長い休み中に心に感じたことを短いことばで表す活動を続けています。

(麻生学園小学校 福丸美紀)

☆「週に一回は俳句か短歌を作ろう」と年頭に考えましたが、実際には月に一回NHKEテレ「俳句さく咲く！」に応募するのがメインになりました。

(葛飾区立金町中学校 古川 博)
☆夏休み恒例の全教室生取り組みの課題。近年は季語をうまく取り入れることができました。

(巻サミト教室 村木詩枝)
☆一年間を通して、一週間で五句、年間で200句以上つくるところにしています。また小中合同俳句学習会を年に二回、校内俳句大会を七回実施しています。

(福山市立広瀬中学校 遠藤健一)

☆全クラスで月一回の句会、学期に一冊俳句集の作成。年に一回たてわり吟行を実施しています。

(文京区立明化小学校 木村由貴)
☆国語の学習の発展として全校で俳句作りに取り組んでいます。月に一度季節の俳句を作り掲示するとともに年に四回和(なごみ)俳句賞として各学年二点の優秀な作品を選出して校内に提示し観賞の機会を設けています。

(東広島市立三ツ城小学校 山口麻美)
☆伝統文化学習の時間に(年一時間)取組んでいます。冬には図書委員会が主催の校内短歌俳句大会を行っています。

(ぎんがの郷小学校 山本洋子)

平成28年度NHK全国短歌・俳句大会

ジュニアの部参加校名・団体一覧

(都道府県内順不同)

北海道

札幌市立しらかば台小学校 (短歌・俳句)
 美唄市立中央小学校 (短歌)

小樽市立潮見台小学校 (俳句)
 小樽市立最上小学校 (俳句)

中標津町立中標津東小学校 (俳句)
 遠別町立遠別小学校 (俳句)

洞爺湖町立虻田中学校 (短歌)
 伊達町立達南中学校 (短歌)

札幌光星中学校 (短歌・俳句)
 札幌市立明園中学校 (短歌・俳句)

青森県

八戸市立長者小学校 (短歌)
 八戸市立竹館小学校 (短歌・俳句)

平川市立金田小学校 (短歌・俳句)
 六戸町立六戸小学校 (短歌・俳句)

青森市立浪打中学校 (短歌・俳句)
 八戸市立江陽中学校 (短歌)

三沢市立堀口中学校 (短歌)
 三沢市立第二中学校 (俳句)

岩手県

岩手大学教育学部附属小学校 (短歌・俳句)
 一関市立川崎小学校 (俳句)

盛岡市立仙北中学校 (俳句)
 釜石市立唐丹中学校 (短歌・俳句)

宮古市立宮古西中学校 (短歌)
 宮古市立重茂中学校 (短歌)
 岩手町立一方井中学校 (短歌・俳句)

洋野町立宿戸中学校

西和賀町立沢内中学校 (短歌・俳句)

宮城県

聖ドミニコ学院小学校 (俳句)
 仙台白百合学園小学校 (短歌)

利府町立利府第三小学校 (俳句)
 東松島市立矢本第一中学校 (短歌)

仙台市立高森中学校 (短歌)
 栗原市立栗原西中学校 (短歌)

岩沼市立岩沼中学校 (短歌)
 古川学園中学校 (短歌)

仙台市立六郷中学校 (俳句)
 大館市立有浦小学校 (俳句)

由利本荘市立西目小学校 (俳句)
 八峰町立峰浜小学校 (俳句)

秋田市立城東中学校 (短歌)
 湯沢市立皆瀬中学校 (俳句)

東成瀬村立東成瀬中学校 (短歌)
 潟上市立天王中学校 (俳句)

大館市立東中学校 (俳句)

山形県

白鷹会 愛真こども園 (俳句)
 白鷹会 よつばこども園 (俳句)

米沢市立六郷小学校 (短歌・俳句)
 上山市立南小学校 (短歌)

福島県

桜の聖母学院小学校 (短歌・俳句)
 会津若松市立一箕小学校 (俳句)

会津若松市立城西小学校 (俳句)
 福島市立立子山中学校 (短歌)

福島市立西信中学校 (短歌・俳句)
 須賀川市立第一中学校 (短歌)

塙町立塙中学校 (短歌)
 平田村立ひらた清風中学校 (短歌)

会津若松市立一箕中学校 (短歌・俳句)
 喜多方市立第一中学校 (短歌・俳句)

昭和村立昭和中学校 (短歌)
 いわき市立中央台南中学校 (短歌)
 いわき市立玉川中学校 (短歌)

茨城県

下妻市立高道祖小学校 (短歌)
 緑丘学園水戸英宏小学校 (短歌)

潮来市立牛堀小学校 (短歌・俳句)
 行方市立麻生小学校 (短歌)

リリーベール小学校 (短歌・俳句)
 常陸太田市立郡戸小学校 (短歌)

常陸大宮市立山方小学校 (短歌・俳句)
 稲敷市立古渡小学校 (俳句)

龍ヶ崎市立大宮小学校 (俳句)
 水戸市立吉沢小学校 (俳句)

水戸英宏小学校 (俳句)
 行方市立玉造中学校 (短歌・俳句)

江戸川学園取手中学校 (俳句)
 行方市立玉造中学校 (俳句)

鹿嶋市立高松中学校 (俳句)

栃木県

宇都宮短期大学附属中学校 (短歌)
市貝町立市貝中学校 (短歌・俳句)
大田原市立野崎中学校 (俳句)

群馬県

神流町立万場小学校 (短歌)
前橋市立月田小学校 (短歌)
伊勢崎市立あずま北小学校 (短歌・俳句)
藤岡市立鬼石中学校 (短歌・俳句)
藤岡市立東中学校 (短歌・俳句)
藤岡市立西中学校 (短歌・俳句)
長野原町立東中学校 (短歌・俳句)

埼玉県

さいたま市立田島小学校 (短歌・俳句)
春日部市立中野小学校 (短歌・俳句)
久喜市立三箇小学校 (短歌・俳句)
加須市立鴻荃小学校 (短歌・俳句)
羽生市立新郷第二小学校 (短歌・俳句)
羽生市立羽生南小学校 (短歌・俳句)
西武学園文理小学校 (短歌・俳句)
所沢市立小手指小学校 (短歌・俳句)
春日部市立小測小学校 (俳句)
宮代町立笠原小学校 (俳句)
宮代町立百間小学校 (俳句)
加須市立花崎北小学校 (俳句)
加須市立高柳小学校 (俳句)

狭山市立御狩場小学校 (俳句)

所沢市立富岡小学校 (俳句)
所沢市立北秋津小学校 (俳句)
本庄市立藤田小学校 (俳句)
川口市立八幡木中学校 (短歌)
春日部市立豊野中学校 (短歌・俳句)
春日部市立江戸川中学校 (短歌・俳句)
星野学園中学校 (短歌・俳句)
川越市立寺尾中学校 (短歌・俳句)
川越市立高階中学校 (短歌)
朝霞市立朝霞第三中学校 (短歌・俳句)
和光市立第二中学校 (短歌)
新座市立第六中学校 (俳句)
入間市立向原中学校 (短歌・俳句)
入間市立東金子中学校 (短歌)
所沢市立向陽中学校 (短歌・俳句)
桶川市立桶川東中学校 (短歌・俳句)
さいたま市立宮原中学校 (俳句)
三郷市立早稲田中学校 (俳句)
北本市立東中学校 (俳句)
北本市立西中学校 (俳句)
深谷市立上柴中学校 (俳句)

千葉県

花見川さくら学園 (俳句)
千葉市立扇田小学校 (短歌)
我孫子市立並木小学校 (短歌)
船橋市立法典西小学校 (短歌・俳句)
船橋市立法典東小学校 (短歌)
鎌ヶ谷市立中部小学校 (短歌・俳句)

柏市立豊小学校 (短歌・俳句)

佐倉市立小竹小学校 (短歌)
成田市立本城小学校 (短歌・俳句)
八街市立八街北小学校 (短歌・俳句)
八街市立八街東小学校 (短歌・俳句)
市原市立国府小学校 (短歌)
市原市立鶴舞小学校 (俳句)
木更津市立請西小学校 (短歌・俳句)
袖ヶ浦市立蔵波小学校 (短歌・俳句)
木更津市立南清小学校 (俳句)
君津市立北子安小学校 (俳句)
千葉市立花園中学校 (短歌)
専修大学松戸中学校 (短歌・俳句)
成田市立西中学校 (短歌)
市原市立国分寺台西中学校 (短歌)
市原市立ちはら台南中学校 (短歌・俳句)
市原市立三和中学校 (短歌・俳句)
木更津市立木更津第一中学校 (短歌)
茂原市立富士見中学校 (短歌・俳句)

東京都

学校法人みのり幼稚園 (俳句)
中央区立月島第一小学校 (短歌・俳句)
葛飾区立新宿小学校 (短歌・俳句)
渋谷区立神南小学校 (短歌)
新宿区立愛日小学校 (短歌・俳句)
杉並区立高井戸第四小学校 (短歌)
練馬区立旭町小学校 (短歌・俳句)
三鷹市立井口小学校 (短歌・俳句)
調布市立滝坂小学校 (俳句)

八王子市立鹿島小学校 (短歌・俳句)

千代田区立千代田小学校 (俳句)
文京区立明化小学校 (俳句)
荒川区立第四峡田小学校 (俳句)
足立区立中川北小学校 (俳句)
葛飾区立こすげ小学校 (俳句)
東京朝鮮第五初中級学校 (俳句)
江戸川区立西一之江小学校 (俳句)
江東区立豊洲小学校 (俳句)
品川区立京陽小学校 (俳句)
渋谷区立神宮前小学校 (俳句)
トキワ松学園小学校 (俳句)
中野区立中野神明小学校 (俳句)
新宿区立戸塚第一小学校 (俳句)
豊島区立西巢鴨小学校 (俳句)
練馬区立旭町小学校 (短歌・俳句)
調布市立若葉小学校 (俳句)
調布市立第三小学校 (俳句)
日野市立仲田小学校 (俳句)
大南学園第七小学校 (俳句)
八丈町立富士中学校 (短歌)
共立女子中学校 (短歌)
台東区駒形中学校 (短歌)
東京朝鮮第一初中級学校 (短歌・俳句)
足立区立入谷南中学校 (短歌)
共栄学園中学校 (短歌・俳句)
葛飾区立金町中学校 (短歌・俳句)
東京朝鮮第五初中級学校 (短歌・俳句)
江東区立深川第五中学校 (短歌・俳句)
大田区立糎谷中学校 (短歌)

| | | | |
|------------------|-------------|----------------------|-----------------|
| 大田区立大森第六中学校 | 二宮町立二宮中学校 | 福井県 | 関ヶ原町立関ヶ原小学校 |
| (短歌 俳句) | (短歌) | 福井市岡保小学校 | (短歌 俳句) |
| 大田区立矢口中学校 | 横滨市立日野南中学校 | (俳句) | 岐阜市立三輪北小学校 |
| (短歌) | (俳句) | 永平寺町立吉野小学校 吉野児童クラブ | (俳句) |
| 富士見丘中学校 | 横滨市立西金沢中学校 | (俳句) | 関市立洞戸小学校 |
| (短歌 俳句) | (俳句) | 永平寺町立御陵小学校 | (俳句) |
| 世田谷区立千歳中学校 | 横滨市立岩井原中学校 | (俳句) | 関市立下有知小学校 |
| (短歌) | (俳句) | 永平寺町立上志比小学校 上志比児童クラブ | (俳句) |
| 中野区立第三中学校 | 公文国際学園中等部 | (俳句) | 関市立倉知小学校 |
| (短歌 俳句) | (短歌 俳句) | 敦賀市立赤崎小学校 | (俳句) |
| 海城中学校 | 横滨市立豊田中学校 | (俳句) | 郡上市立那留小学校 |
| (短歌) | (俳句) | 鯖江市立中央中学校 | (短歌 俳句) |
| 豊月岡女子学園中学校 | 新潟県 | 敦賀市立東浦中学校 | 各務原市立那加第一小学校 |
| (短歌) | 出雲崎町立出雲崎中学校 | (短歌) | (俳句) |
| 東洋学芸大学附属国際中等教育学校 | 卷サミト教室 | 山梨県 | 美濃加茂市立太田小学校 |
| (短歌) | (俳句) | 甲府市立東中学校 | (短歌 俳句) |
| 三鷹市立第一中学校 | 南魚沼市立五十沢中学校 | 駿台甲府中学校 | 坂祝町立坂祝小学校 |
| (短歌 俳句) | (短歌 俳句) | 南アルプス子どもの村中学校 | (俳句) |
| 調布市立第五中学校 | 新潟市立白南中学校 | (俳句) | 可児市立今渡北小学校 |
| (短歌 俳句) | (短歌) | 掛斐川町立掛斐川中学校 | (俳句) |
| 国立市立国立第一中学校 | 佐渡市立南佐渡中学校 | 郡上市立大和中学校 | 帝京大学可児小学校 |
| (短歌 俳句) | (短歌 俳句) | 長野県 | (俳句) |
| 多摩市立鶴牧中学校 | 富山県 | 長野市立南部小学校 | 下呂市立尾崎小学校 |
| (短歌 俳句) | 高岡市立伏木小学校 | (短歌 俳句) | (俳句) |
| 江戸川区立瑞江第三中学校 | 高岡市立東五位小学校 | 高森町立高森南小学校 | 惠那市立串原小学校 |
| (俳句) | (俳句) | 小布施町立栗方丘小学校 | (俳句) |
| 目黒区立第七中学校 | 南砺市立上平小学校 | 千曲市立更級小学校 | 美濃加茂市立西中学校 |
| (俳句) | (俳句) | 松川町立松川中央小学校 | (短歌 俳句) |
| 杉並区立西宮中学校 | 高岡市立国吉中学校 | 岐阜県 | 高山市立東山中学校 |
| (俳句) | (短歌) | 本巢市立席田小学校 | (短歌 俳句) |
| 豊島岡女子学園中学校 | 滑川市立滑川中学校 | 本巢市立真桑小学校 | 神戸町立神戸中学校 |
| (短歌 俳句) | (短歌) | 郡上市立大和南小学校 | (短歌) |
| 神奈川 | 南砺市立井口中学校 | 郡上市立大和北小学校 | 下呂市立立東可児中学校 |
| 洗足学園小学校 | 富山市立和合中学校 | 郡上市立大和第一北小学校 | (短歌 俳句) |
| (短歌) | (俳句) | 郡上市立大和北小学校 | 瑞浪市立日吉中学校 |
| カリタス小学校 | 石川県 | 郡上市立大和南小学校 | 大垣市立赤坂中学校 |
| (短歌 俳句) | 中能登町立鹿島小学校 | 郡上市立大和南小学校 | (俳句) |
| 横滨市立北方小学校 | 七尾市立中島小学校 | 郡上市立大和南小学校 | 惠那市立串原中学校 |
| (短歌) | (俳句) | 郡上市立大和南小学校 | (俳句) |
| 横滨市立鶴ヶ峯小学校 | 金沢市立小将町中学校 | 郡上市立大和南小学校 | 静岡県 |
| (俳句) | (短歌 俳句) | 郡上市立大和南小学校 | 静岡大学教育学部附属浜松小学校 |
| 横滨市立東品濃小学校 | 北陸学院中学校 | 郡上市立大和南小学校 | 浜松市立泉居小学校 |
| (俳句) | (短歌) | 郡上市立大和南小学校 | (短歌) |
| 川崎市立臨港中学校 | 宝達志水町立宝達中学校 | 郡上市立大和南小学校 | 不二聖心女子学院中学校 |
| (短歌) | (短歌) | 郡上市立大和南小学校 | (短歌) |
| 川崎市立麻生中学校 | 七尾市立田鶴浜中学校 | 羽島市立中央小学校 | 静岡市立清水興津中学校 |
| (短歌) | (俳句) | (短歌) | (短歌 俳句) |
| 関東学院中学校 | | | |
| (短歌 俳句) | | | |
| 公文国際学中等部 | | | |
| (短歌) | | | |
| 横滨市立上郷中学校 | | | |
| (短歌) | | | |
| 平塚市立大野中学校 | | | |
| (短歌) | | | |

浜松市立南陽中学校 (短歌・俳句)
磐田市立磐田第一中学校 (俳句)

愛知県

名古屋市立小坂小学校 (短歌)
東海市教育委員会 社会教育課 (短歌)
新城市立新城小学校 (俳句)
岡崎市立矢作南小学校 (俳句)
岡崎市立恵田小学校 (俳句)
西尾市立西野町小学校 (俳句)
名古屋市立老松小学校 (俳句)
豊橋市立青陵中学校 (短歌・俳句)
豊橋市立南陽中学校 (短歌・俳句)
幸田町立南部中学校 (短歌・俳句)
安城市立東山中学校 (短歌)
刈谷市立刈谷東中学校 (短歌・俳句)
名古屋市立鳴海中学校 (短歌)
東海学園東海中学校 (短歌・俳句)
名古屋市立桜丘中学校 (短歌)
椛山女学園中学校 (短歌・俳句)
名古屋市立駒形中学校 (短歌)
名古屋市立萩山中学校 (俳句)
名古屋市立津賀田中学校 (短歌・俳句)
星城中学校 (短歌・俳句)
東海市立加木屋中学校 (短歌・俳句)
名古屋市立白木中学校 (短歌)
豊橋市立牟呂中学校 (俳句)
名古屋市立森孝中学校 (俳句)
名古屋市立駒方中学校 (短歌・俳句)
長久手市立北中学校 (俳句)

三重県

鈴鹿市立一ノ宮小学校 (短歌)
龜山市立白川小学校 (短歌・俳句)

四日市市立港中学校 (俳句)
松阪市立殿町中学校 (短歌・俳句)
龜山市立関中学校 (短歌)

松阪市立との町中学校 (俳句)
伊勢市立城田中学校 (俳句)

滋賀県

大津市立唐崎小学校 (短歌・俳句)
大津市立青山中学校 (短歌)

京都府

ノートルダム学院小学校 (短歌・俳句)
京都聖母学院小学校 (俳句)

大阪府

大阪市立森之宮小学校 (俳句)
大阪市立大正中央中学校 (短歌・俳句)
大阪市立宮原中学校 (俳句)
大阪市立緑中学校 (俳句)
東大阪市立石切中学校 (俳句)

兵庫県

小林聖心女子学院小学校 (短歌・俳句)
明石市立明石小学校 (短歌・俳句)

市川町立鴨居小学校 (短歌)
市川町立鶴居小学校 (短歌)

神戸市立鈴鹿台中学校 (短歌)

神戸市立鈴蘭台中学校 (短歌・俳句)

奈良県

帝塚山学園帝塚山小学校 (短歌)
三郷町立三郷北小学校 (短歌)

香芝市立香芝東中学校 (短歌)
宇陀市立室生中学校 (俳句)
大和高田市立高田西中学校 (俳句)

和歌山

和歌山市立貴志中学校 (俳句)

鳥取県

鳥取市立神戸小学校 (短歌・俳句)
鳥取市立美和小学校 (短歌・俳句)
八頭町立安部小学校 (俳句)
日野町立日野中学校 (俳句)

島根県

飯南町立頓原中学校 (短歌・俳句)
安来私立広瀬中学校 (短歌)
浜田市立第一中学校 (短歌・俳句)
益田市立匹見中学校 (短歌・俳句)
奥出雲町立仁多中学校 (俳句)
出雲市立湖陵中学校 (俳句)
浜田市立三隅中学校 (俳句)

岡山県

倉敷市立老松小学校 (短歌)
倉敷市立連島南小学校 (短歌)

倉敷市立連島南小学校 (短歌)

広島県

(株)東京学習社
ぎんがの郷小学校 (短歌・俳句)
府中市立栗生小学校 (短歌・俳句)
庄原市立東小学校 (短歌)
庄原市立比和小学校 (俳句)
三次市立作木小学校 (短歌・俳句)
庄原市立北小学校 (短歌)
庄原市立東城小学校 (俳句)
庄原市立粟田小学校 (短歌)
福山市立御幸小学校 (俳句)
尾道市立吉和小学校 (俳句)
広島三育学院大和小学校 (俳句)
安田学園安田小学校 (俳句)
鶴学園なぎさ公園小学校 (俳句)
東広島市立三ツ城小学校 (俳句)
東広島市立西志和小学校 (俳句)
東広島市立西寺小学校 (俳句)
東広島市立平岩小学校 (俳句)
東広島市立西志和小学校 (俳句)
東広島市立乃美尾小学校 (俳句)
福山市立千年中学校 (短歌・俳句)
福山市立精華中学校 (短歌)
三原市立宮浦中学校 (短歌・俳句)
庄原市立比和中学校 (短歌・俳句)
三次市立布野中学校 (短歌)
庄原市立東城中学校 (短歌・俳句)
広島なぎさ中学校 (俳句)
広島市立翠町中学校 (短歌)

倉敷市立乙島小学校 (短歌)

広島県

(株)東京学習社 (俳句)
ぎんがの郷小学校 (短歌・俳句)
府中市立栗生小学校 (短歌・俳句)
庄原市立東小学校 (短歌)
庄原市立比和小学校 (俳句)
三次市立作木小学校 (短歌・俳句)
庄原市立北小学校 (短歌)
庄原市立東城小学校 (俳句)
庄原市立粟田小学校 (短歌)
福山市立御幸小学校 (俳句)
尾道市立吉和小学校 (俳句)
広島三育学院大和小学校 (俳句)
安田学園安田小学校 (俳句)
鶴学園なぎさ公園小学校 (俳句)
東広島市立三ツ城小学校 (俳句)
東広島市立西志和小学校 (俳句)
東広島市立西寺小学校 (俳句)
東広島市立平岩小学校 (俳句)
東広島市立西志和小学校 (俳句)
東広島市立乃美尾小学校 (俳句)
福山市立千年中学校 (短歌・俳句)
福山市立精華中学校 (短歌)
三原市立宮浦中学校 (短歌・俳句)
庄原市立比和中学校 (短歌・俳句)
三次市立布野中学校 (短歌)
庄原市立東城中学校 (短歌・俳句)
広島なぎさ中学校 (俳句)
広島市立翠町中学校 (短歌)

広島市立楠那中学校 (短歌)

呉市立豊浜中学校 (短歌)

海田町立海田西中学校 (短歌・俳句)

呉市立阿賀中学校 (短歌・俳句)

呉青山中学高等学校 (短歌)

大竹市立玖波中学校 (短歌)

福山市立広瀬中学校 (俳句)

北広島町立豊平中学校 (俳句)

広島市立五日市中学校 (俳句)

広島県立広島中学校 (俳句)

山口県

岩国市立之お小学校 (俳句)

岩国市立川下中学校 (短歌・俳句)

柳井市立柳井中学校 (短歌・俳句)

周南市立菊川中学校 (短歌)

周南市立桜田中学校 (短歌)

周南市立和田中学校 (短歌)

美祇市立豊田前中学校 (短歌・俳句)

山口市立阿知須中学校 (短歌)

柳井市立柳井西中学校 (俳句)

岩国市立玖珂中学校 (俳句)

田布施町立田布施中学校 (俳句)

徳島県

牟岐町立牟岐小学校 (俳句)

香川県

高松市立古高松中学校 (短歌・俳句)

香川県立高松北中学校 (短歌・俳句)

高松市立屋島中学校 (俳句)

愛媛県

今治市立立花小学校 (短歌・俳句)

宇和島市立高光小学校 (短歌)

松山市立湯山小学校 (俳句)

八幡浜市立日土小学校 (俳句)

伊方町立九町小学校 (俳句)

西予市立多田小学校 (俳句)

鬼北町立近永小学校 (俳句)

鬼北町立近永小学校 (俳句)

松山市立立岩小学校 (俳句)

松山市立垣生中学校 (短歌・俳句)

内子町立五十崎中学校 (短歌・俳句)

伊方町立伊方中学校 (短歌・俳句)

愛南町立内海中学校 (短歌)

高知県

土佐市立高岡第一小学校 (短歌・俳句)

南国市立久礼田小学校 (短歌)

高知市立朝倉小学校 (短歌)

佐川町立佐川中学校 (俳句)

四万十町立北ノ川中学校 (俳句)

福岡県

朝倉市立秋月小学校 (短歌)

麻生学園小学校 (短歌・俳句)

宮若市立若宮西小学校 (俳句)

北九州市立曾根中学校 (短歌・俳句)

福岡教育大学附属小倉中学校 (短歌・俳句)

西南女学院中学校 (短歌・俳句)

大野城市立大野東中学校 (短歌・俳句)

嘉穂高等学校附属中学校 (短歌)

行橋市立長峡中学校 (短歌)

久留米市立城南中学校 (短歌・俳句)

大牟田市立田隈中学校 (短歌)

粕屋町立粕屋東中学校 (俳句)

福岡県立嘉穂高等学校附属中学校 (短歌・俳句)

柳川市立蒲池中学校 (俳句)

佐賀県

鳥栖市立弥生が丘小学校 (短歌・俳句)

鹿島市立古枝小学校 (短歌・俳句)

佐賀県立武雄青陵中学校 (短歌)

嬉野市立嬉野中学校 (短歌・俳句)

伊万里市立南波多中学校 (短歌・俳句)

伊万里市立青嶺中学校 (短歌)

白石町立福富中学校 (短歌)

佐賀市立城北中学校 (短歌・俳句)

太良町立多良中学校 (短歌・俳句)

神埼市立脊振中学校 (俳句)

太良町立多良中学校 (俳句)

長崎県

長崎市立西北小学校 (俳句)

中村グループ (俳句)

諫早市立真城中学校 (短歌・俳句)

平戸市立田平中学校 (短歌・俳句)

長崎市立岩屋中学校 (俳句)

熊本県

大津町立美咲野小学校 (俳句)

熊本市立西原中学校 (短歌・俳句)

大分県

津久見市立青江小学校 (短歌・俳句)

大分市立明治小学校 (俳句)

大分市立判田中学校 (短歌)

佐伯市立直川中学校 (短歌・俳句)

宮崎県

日向市立坪谷小学校 (短歌)

鵬翔中学校 (短歌・俳句)

鹿児島

南九州市立福良小学校 (短歌・俳句)

日置市立湯田小学校 (短歌・俳句)

始良市立永原小学校 (短歌・俳句)

霧島市立中津川小学校 (短歌・俳句)

霧島市立牧之原小学校 (俳句)

曾於市立高岡小学校 (短歌・俳句)

南九州市立大丸小学校 (俳句)

鹿児島市立鴨池中学校 (短歌)

鹿児島市立谷山中学校 (短歌・俳句)

鹿児島市立喜入中学校 (短歌・俳句)

鹿児島市立緑丘中学校 (短歌・俳句)

鹿児島市立吉野中学校 (短歌・俳句)

龍郷町立龍南中学校 (短歌)

いちき串木野市立市来中学校 (短歌・俳句)

鹿児島市立松元中学校 (短歌・俳句)

始良市立重富中学校
(短歌・俳句)

鹿児島市立緑丘中学校
(俳句)

長島町立平尾中学校
(俳句)

沖縄県

北谷町立北谷中学校
(俳句)

うるま市立あげな中学校
(俳句)

海外

ワシントン日本語学校
(短歌・俳句)

平成28年度
●NHK全国短歌・俳句大会—ジュニアの部—
入選作品集

平成29年1月21日 発行

編集／発行 NHK全国短歌・俳句大会事務局
〒186-8001 東京都国立市富士見台2-36-2 NHK学園内
電話 042-572-3151(代) ホームページ <http://www.n-gaku.jp>
印刷／明誠企画株式会社

© 2017 NHK・NHK学園

表紙デザイン／菊地信義
表紙写真／高木哲夫「ファンタジー（宇宙）」

NHK 番組情報



平成29年1月8日(日)スタート! 総合テレビ 日曜午後8時 BSプレミアム 日曜午後6時 再放送 総合テレビ 土曜午後1時5分



Eテレ

日曜日 午前6:00~6:25
火曜日 午後3:00~3:25 (再)

短歌選者



坂井 修一



小島 なお



伊藤 一彦



司会 剣 幸



Eテレ

日曜日 午前6:35~7:00
水曜日 午後3:00~3:25 (再)

俳句選者



正木 ゆう子



堀本 裕樹



夏井 いつき



司会 岸本 葉子

毎月第4日曜は初心者向け短歌・俳句番組をお送りしています。



Eテレ

第4日曜 午前6:00~6:25
翌週火曜 午後3:00~3:25 (再)

選者: 栗木 京子 出演: スピードワゴン、小島 よしお ほか



Eテレ

第4日曜 午前6:35~7:00
翌週水曜 午後3:00~3:25 (再)

選者: 小島 健 出演: NON STYLE、ミッツ・マングローブ ほか





N学で

マイスタイル OK!!

N学の
ここが魅力!

NHK学園は「新しい学び」を提供する、伝統ある広域通信制高等学校です。
創立54周年！ 卒業生は、73,000人余りとなりました。

- ① インターネットを利用した、最先端の双方向学習で「わかる・できる」を実感。
- ② テレビ・ラジオの「NHK高校講座」が授業。インターネットの利用で何度でもくり返し学習できるから、自分のペースで学べます。
- ③ 不登校生徒のための「ネット学習Doitコース」は文部科学省指定。N学でしかできない独自のカリキュラムで3年間で卒業できます。
- ④ 面接指導会場は、全国に40か所。日本全国から入学できます。入学のための筆記試験はありません。
- ⑤ 海外在住のまま高校を卒業できる「ネット学習海外コース」があり、世界中から入学できます。
- ⑥ 前籍校の修得単位をいかして転入学・編入学ができます。高い進学実績も特長です。
- ⑦ 東京本校は週3日登校して、キャンパスライフを充実させる「登校コース」があります。
- ⑧ 学費も安心！保護者の経済的負担も少なくできます。



●出願期間

(ベーシックコース、
ネット学習コース、
ネット学習Do itコース)

平成29年度

| | |
|---------|-----------|
| 新入学(推薦) | 1/16～1/24 |
| 新入学(一般) | 1/25～4/30 |
| 編入学 | 1/25～4/30 |
| 転入学 | 3/1～随時 |

※詳しくはお問い合わせ下さい。
※登校コースは募集要項をご請求下さい。

●学校説明会・個別相談会

全国各地で開催予定。詳しくはホームページまたは、お電話にてご確認下さい。

まずはお電話を!

広域通信制・単位制
普通科



0120-4514-24

NHK学園高等学校

〒186-8001 東京都国立市富士見台2-36-2 (東京本校)

●資料請求・入学相談・説明会のお問い合わせ先

☎ 0120-4514-24 FAX:042-572-3332

ホームページ www.n-gaku.jp/sch

※入学案内と願書はホームページからダウンロードもできます。

はじめての短歌講座

●受講期間／6か月 ●添削／5回

短歌が作れる工夫満載のテキストと問題集！

短歌の基本を5回に分けてわかりやすく解説したテキストで段階的に学びます。

ノート形式のレポートで5回分の添削記録が一冊に！

添削講師は、前回までの作品やのアドバイスをふまえて、わかりやすく添削しますので、進度が一目でわかります。

※より力をつける **入門コース** **実作コース**、

「かなづかい」や「文法」を学ぶ **短歌 文法のツボ** もあります。



はじめての俳句講座

●受講期間／6か月 ●添削／5回

わかりやすいドリル式テキスト

テキスト『俳句必携』で五七五のリズムや季語、歳時記のことなど、俳句の基本が章ごとにわかりやすく整理されています。

間違いやすいポイントを重点的に指導！

音数の数え方や季語の分類など、間違いやすい点をレポート課題を通じてアドバイスします。

※より力をつける **入門コース** **実作コース**、

「かなづかい」や「文法」を学ぶ **俳句 文法のツボ** もあります。



基本から学ぶ。わかりやすいテキストと練習問題で無理なくマスター。

学校の授業に役立てる 自分の趣味を増やすなどNHK学園がお手伝いします。

詳しい案内書を無料でお送りします。

☎ 0120-06-8881

NHK学園

〒186-8001 東京都国立市富士見台2-36-2 6B18係

ホームページ <http://www.n-gaku.jp/life> FAX.042-574-1006 TEL.042-572-3151(代)

希望講座名
郵便番号
住所氏名
電話番号

☎郵便はがき
〒186-8001
国立市富士見台
NHK学園
6B18係

第二十八回 伊藤園お〜お茶新俳句大賞募集集中

第二十七回 文部科学大臣賞

ただいまの 静かに響く 金魚鉢

埼玉県鶴ヶ島市 吉村英竜(15歳)

テーマ
テーマは自由。自分を感じたこと、思ったことを季語や定型にこだわることなく、五・七・五のリズムにのせてのびのびと表現してください。

応募部門
小学生の部(幼児含む)／中学生の部／高校生の部
一般の部A(40歳未満)／一般の部B(40歳以上)／英語俳句の部

賞と賞品
日本語俳句より文部科学大臣賞1名様(賞金50万円、副賞)、各部門より大賞1名計6名様(賞金20万円、副賞を含む)入賞者2,000名様様の作品を「お〜お茶」パッケージに掲載します。その他、佳作5,000名様。

応募条件
● 応募作品は本人が創作した未発表のものに限ります
● 日本語、英語を合わせてお一人様最大6句まで。
● 応募作品は返却いたしません。また入選作品の発表や出版に関する著作権は、二次利用を含め、伊藤園に帰属するものとします。

応募方法
ハガキ、FAX(A4サイズ)、インターネット(伊藤園ホームページ)のいずれかの方法で、ご応募いただけます。
「応募部門と作臣」郵便番号「住所」氏名「年齢」電話番号「Eメールアドレス」所属されている場合のみ「句会、学校名」を明記してください。

応募締切
平成29年2月28日(火) 当日消印／送信有効

※個人情報取り扱いについて 応募いただいた方の個人情報、応募者ご本人、または応募者ご本人が中学生以下の場合はその保護者の許可なく業務委託先以外の第三者に個人情報を開示することはありません。入賞・入選作品につきましては発表のために、作者名、年齢、都道府県、市郡区町村名を公表させていただきます。

応募宛先

「伊藤園お〜お茶新俳句大賞」係
ハガキ 〒102-8553 東京都千代田区紀尾井町3-1-23
FAX 03-13326315668
インターネット <http://www.itoen.co.jp>
インターネット <http://www.itoen.co.jp>
※審査の過程で審査員が作品を拝見させていただきます。
※審査に際しての郵送料は応募者様の負担となります。

発表

伊藤園ホームページなどにて発表(平成29年7月7日予定)。
審査結果を郵送もしくはメールでお知らせいたします。(7月上旬予定)。
文部科学大臣賞から佳作特別賞までの入賞者2,000名様様の作品は、「お〜お茶」パッケージに掲載し、お届けいたします。

主催：伊藤園新俳句大賞実行委員会
後援：文部科学省、現代俳句協会、日本学生俳句協会、国際俳句交流協会、NHK学園、NHK文化センター、朝日カルチャーセンター、朝日JTB、交流文化塾、毎日文化センター、よみうりカルチャー、公財 日本国際教育支援協会、日本教育新聞社

お問い合わせ先：伊藤園新俳句大賞事務局
TEL 03-13326414050
10時〜18時(土日祝日・年末年始を除く)



空容器の散乱防止・リサイクルにご協力ください。

お〜お茶新俳句大賞審査員の方々です。

※敬称略 五十音順

- | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------------------|--------------|-----------------|---------------|--------------|------------------|--------------|------------------------|--------------|---------------|
| 英語俳句の部 | | | | | 日本語俳句の部 | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 星野恒彦 (俳人) | エイトラン・アライ (日本古典文学研究者) | 吉行和子 (女優) | 村治佳織 (ギタリスト) | 宮部みゆき (作家) | 黒田杏子 (俳人) | 金田一秀徳 (日本語学者) | 金子兜太 (俳人) | いとうせいこう (作家・クリエイター) | 安西 篤 (俳人) | 浅井慎平 (写真家) |

平成28年度(第18回) **NHK** *Junior*
全国短歌俳句大会
NHK Zenkoku Tanka Haiku taikai
入選作品集

平成28年度(第18回)NHK全国短歌俳句大会 ジュニアの部

日時: 2017年1月21・22日 午後1時~4時10分

会場: NHKホール

主催: NHK・NHK学園

後援: 文化庁・東京都

〈短歌〉現代歌人協会・日本歌人クラブ

〈俳句〉公益社団法人俳人協会・現代俳句協会・

公益社団法人日本伝統俳句協会・国際俳句交流協会

協力: NHKエデュケーショナル・NHK出版

協賛: 伊藤園